

あいちトリエンナーレ2010 アンケート結果等資料



平成23年3月

目 次

第1章 はじめに	(4) コメント抜粋 ……………	75
1-1 概要 ……………	1	
1-2 調査内容 ……………	1	
第2章 来場者等アンケート結果		
2-1 一般来場者（国際美術展）		
(1) 感想 ……………	2	
(2) トリエンナーレの効果 ……………	5	
(3) 再来訪の意向 ……………	7	
(4) 運営 ……………	9	
(5) 回遊状況 ……………	10	
(6) 属性別の評価 ……………	16	
(7) 属性 ……………	33	
(8) コメント抜粋 ……………	43	
2-2 劇場公演		
(1) 感想 ……………	44	
(2) 属性 ……………	44	
(3) コメント抜粋 ……………	49	
2-3 まちなかパフォーマンス		
(1) 感想 ……………	50	
(2) 属性 ……………	50	
(3) コメント抜粋 ……………	54	
2-4 子ども来場者（国際美術展）		
(1) 感想 ……………	55	
(2) 再来訪の意向 ……………	57	
(3) 属性 ……………	57	
(4) コメント抜粋 ……………	61	
2-5 キッズトリエンナーレ		
(1) 感想 ……………	62	
(2) 創作活動に対する認識 ……………	62	
(3) 再来訪の意向 ……………	63	
(4) 属性 ……………	64	
(5) コメント抜粋 ……………	68	
2-6 長者町関係者（会場提供者等）		
(1) 従前・現在の賛成意向 ……………	69	
(2) 評価 ……………	70	
(3) 運営 ……………	74	
	2-7 祝祭ウィーク共催事業	
	(1) 評価 ……………	76
	(2) 運営 ……………	77
	(3) 次回の参加意向 ……………	78
	(4) コメント抜粋 ……………	79
	2-8 ボランティア	
	(1) 感想 ……………	80
	(2) 運営 ……………	82
	(3) 望ましい活動時間 ……………	86
	(4) 待遇 ……………	87
	(5) 次回の参加意向 ……………	88
	(6) 属性 ……………	89
	(7) コメント抜粋 ……………	94
	2-9 パートナーシップ事業	
	(1) 効果等 ……………	95
	(2) 属性 ……………	97
	(3) コメント抜粋 ……………	97
	2-10 芸術系教育機関	
	(1) 評価 ……………	98
	(2) 属性 ……………	102
	(3) コメント抜粋 ……………	102
	2-11 県内ギャラリー	
	(1) 評価 ……………	103
	(2) 属性 ……………	107
	(3) コメント抜粋 ……………	107
	2-12 中部芸術文化記者クラブ加盟記 者	
	(1) 評価 ……………	108
	(2) コメント抜粋 ……………	109
	2-13 県内の小・中・高等学校、特別支 援学校等	
	(1) 学校向け教育プログラム ……	110
	(2) 現代アーティストの派遣 ……	112
	(3) 送付したパンフレット ……	113
	(4) 属性 ……………	115
	(5) コメント抜粋 ……………	118

第3章 経済波及効果	
3-1 算出方法の概要	120
3-2 算出結果	123
第4章 パブリシティ効果等	
4-1 算出方法の概要	124
4-2 パブリシティ効果の算出結果…	124
4-3 Webでの取り扱い状況	124
第5章 有識者ヒアリングの結果	
.....	126
巻末資料 アンケート調査票	
.....	137

第1章 はじめに

1-1 概要

2013年に開催を予定する第2回あいちトリエンナーレをより良いものとするためには、あいちトリエンナーレ2010の成果の検証が必要である。

このため緊急雇用創出事業基金事業の中で、会期中に来場者へのアンケートを行い、また会期後に、文化芸術関係機関等へのアンケート、経済波及効果及びパブリシティ効果の算出、有識者へのヒアリングといった調査を行った。

本書は、あいちトリエンナーレ2010開催報告書の81ページ以降で抜粋として掲載した調査結果の全体である。ただし、アンケートの自由記載欄におけるコメントは量が多く、また一部に回答者を特定できる内容が含まれるため、抜粋とした。

調査は、愛知県が下記により委託して実施した。

(1) 委託先 あいちトリエンナーレ2013企画概要検討用基礎資料作成業務共同体

(株式会社エヌエイチケイプラネット中部支社・株式会社日建設計総研名古屋オフィス)

(2) 実施期間 平成22年8月21日から平成23年1月31日

1-2 調査内容

		調査項目	該当ページ
第2章	2-1	国際美術展来場者(一般3,781)	2
	2-2	劇場公演鑑賞者(920)	44
	2-3	まちなかパフォーマンス鑑賞者(279)	50
	2-4	国際美術展来場者(子ども1,269)	55
	2-5	キッズトリエンナーレ参加者(604)	62
	2-6	長者町関係者(会場提供者等)(23 / 49)	69
	2-7	祝祭ウィーク共催事業参加団体等(10 / 16)	76
	2-8	ボランティア(330 / 1,616)	80
	2-9	パートナーシップ事業参加団体(124 / 495)	95
	2-10	全国の芸術系教育機関(11 / 47)	98
	2-11	県内ギャラリー(31 / 92)	103
	2-12	中部芸術文化記者クラブ加盟記者(3 / 24)	108
	2-13	県内小・中・高等学校、特別支援学校等(1,030 / 1,606)	110
第3章		経済波及効果	120
第4章		パブリシティ効果	124
第5章		国際的な芸術祭の芸術監督等経験者、大学教授等へのヒアリング	126

第2章 来場者等アンケート結果

2-1 一般来場者（国際美術展）

実施時期	8月22日～10月31日
調査対象	国際美術展への来場者（高校生以上）
配布・回収方法	主要4会場（※）において配布し、同4会場とATカフェに設置した回収箱及び郵送により回収。また、同内容をホームページ上に掲載し、ホームページからも回答できるようにした。
回収数	3,781

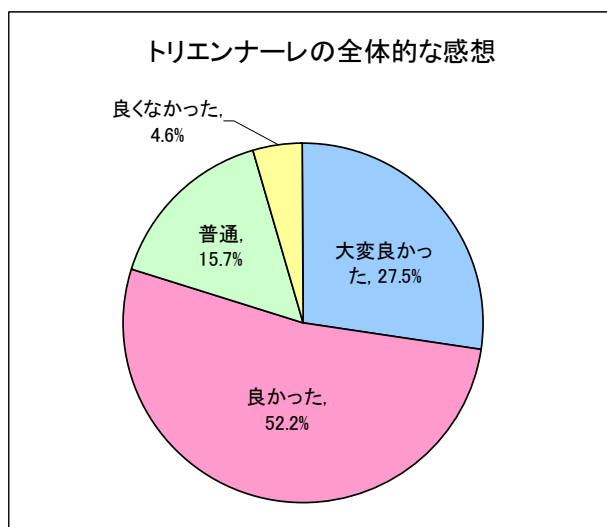
※主要4会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場

（1）感想

全体的な感想

	数	比率
大変良かった	986	27.5%
良かった	1,868	52.2%
普通	563	15.7%
良くなかった	164	4.6%
合計	3,581	100.0%

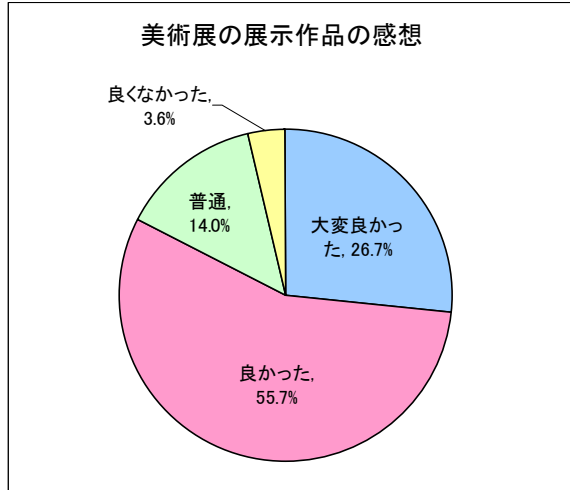
※未回答200



美術展の展示作品の感想

	数	比率
大変良かった	983	26.7%
良かった	2,049	55.7%
普通	516	14.0%
良くなかった	132	3.6%
合計	3,680	100.0%

※未回答101



ギャラリーG やまちなかでのパフォーマンス・アーツについて感想

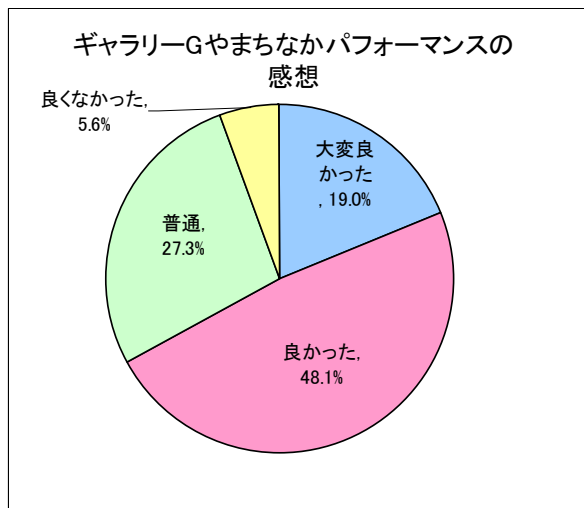
	数	比率
大変良かった	358	10.5%
良かった	905	26.4%
普通	515	15.0%
良くなかった	106	3.1%
まだ見ていない	1,540	45.0%
合計	3,424	100.0%

※未回答357

・まだ見ていないを除く

	数	比率
大変良かった	358	19.0%
良かった	905	48.1%
普通	515	27.3%
良くなかった	106	5.6%
合計	1,884	100.0%

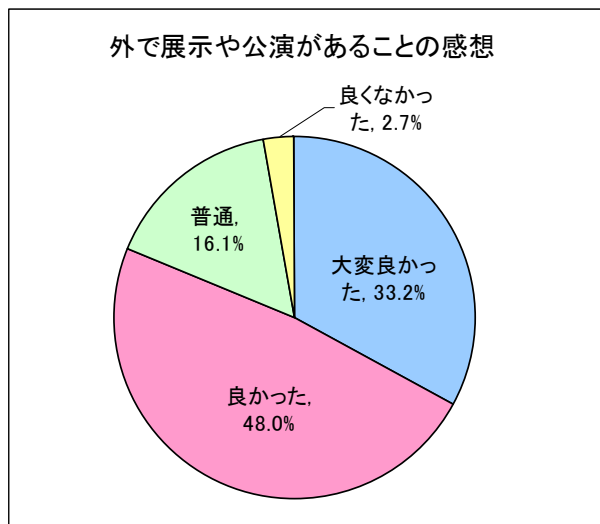
※未回答357



美術館や劇場の外で展示や公演があることについての感想

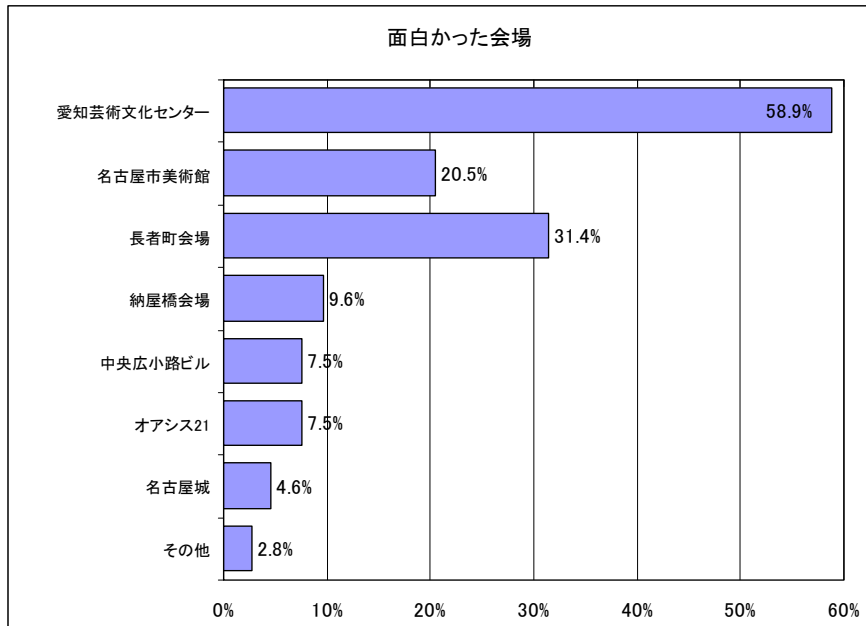
	数	比率
大変良かった	1,145	33.2%
良かった	1,659	48.0%
普通	555	16.1%
良くなかった	93	2.7%
合計	3,452	100.0%

※未回答329



面白かった会場 (複数回答可)

	数	比率
愛知芸術文化センター	1,998	58.9%
名古屋市美術館	695	20.5%
長者町会場	1,065	31.4%
納屋橋会場	327	9.6%
中央広小路ビル	256	7.5%
オアシス21	256	7.5%
名古屋城	156	4.6%
その他	94	2.8%
合計	4,847	

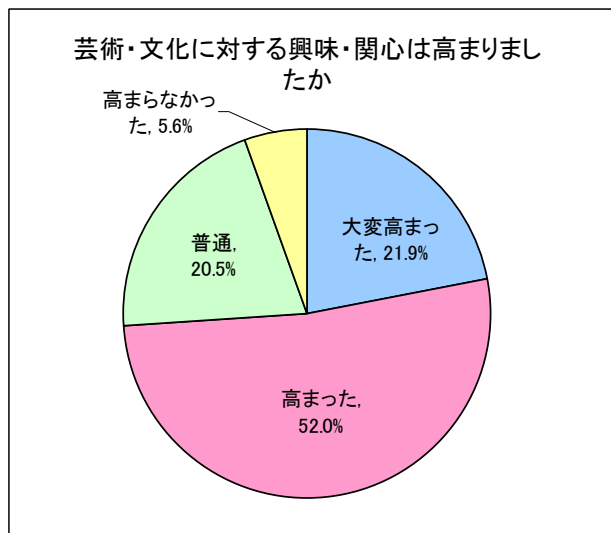


(2) トリエンナーレの効果

芸術・文化に対する興味・認識は高まったか

	数	比率
大変高まった	790	21.9%
高まった	1,871	52.0%
普通	738	20.5%
高まらなかった	201	5.6%
合計	3,600	100.0%

※未回答181

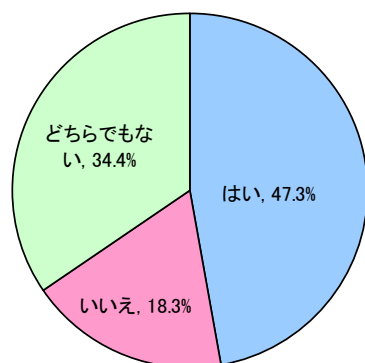


栄・伏見周辺の魅力が再発見できたか

	数	比率
はい	1,621	47.3%
いいえ	626	18.3%
どちらでもない	1,180	34.4%
合計	3,427	100.0%

※未回答354

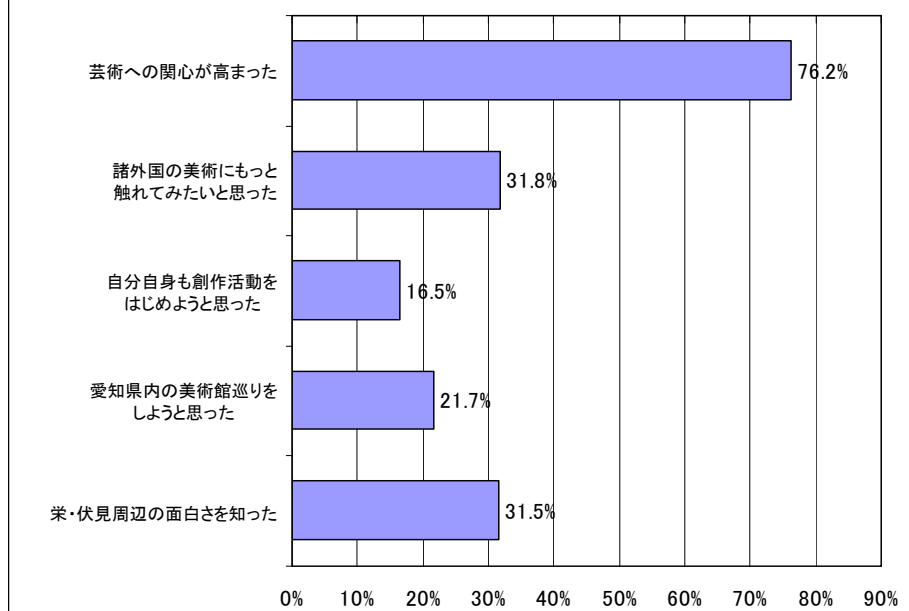
栄・伏見周辺の魅力が再発見できましたか



あなた自身にとってのあいちトリエンナーレの効果 (複数回答可)

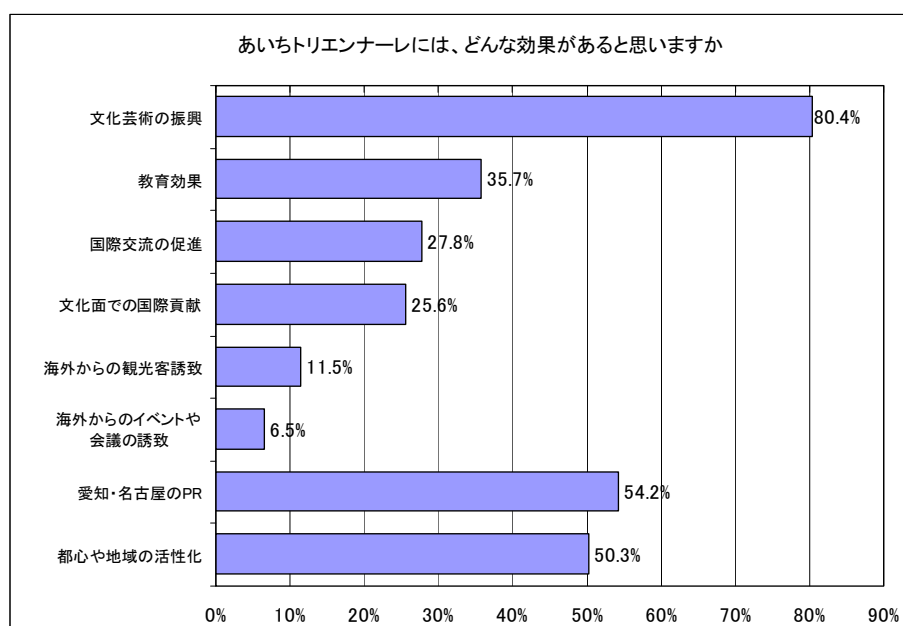
	数	比率
芸術への関心が高まった	2,262	76.2%
諸外国の美術にもっと触れてみたいと思った	943	31.8%
自分自身も創作活動をはじめようと思った	489	16.5%
愛知県内の美術館巡りをしようと思った	643	21.7%
栄・伏見周辺の面白さを知った	934	31.5%
合計	5,271	

あなた自身にとって、トリエンナーレはどんな効果があったと思いますか



あいちトリエンナーレの効果（複数回答可）

	数	比率
文化芸術の振興	2,658	80.4%
教育効果	1,181	35.7%
国際交流の促進	918	27.8%
文化面での国際貢献	848	25.6%
海外からの観光客誘致	379	11.5%
海外からのイベントや会議の誘致	214	6.5%
愛知・名古屋のPR	1,794	54.2%
都心や地域の活性化	1,662	50.3%
合計	9,654	

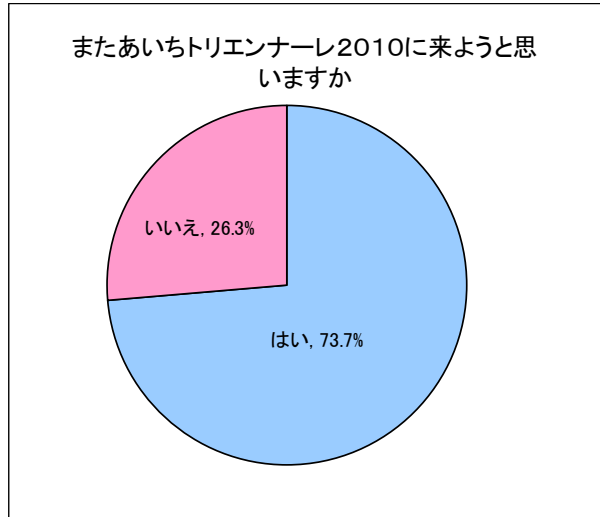


（3）再来訪の意向

また今度あいちトリエンナーレ 2010 に来ようと思うか

	数	比率
はい	2,613	73.7%
いいえ	932	26.3%
合計	3,545	100.0%

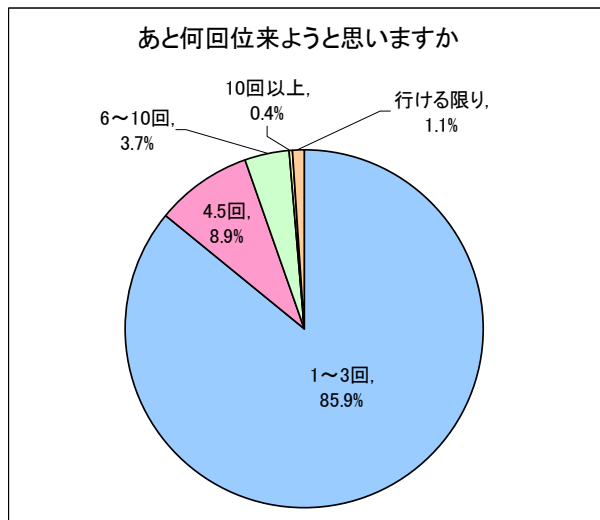
※未回答236



あと何回位来ようと思うか

	数	比率
1～3回	1,970	85.9%
4.5回	205	8.9%
6～10回	85	3.7%
10回以上	9	0.4%
行ける限り	26	1.1%
合計	2,295	100.0%

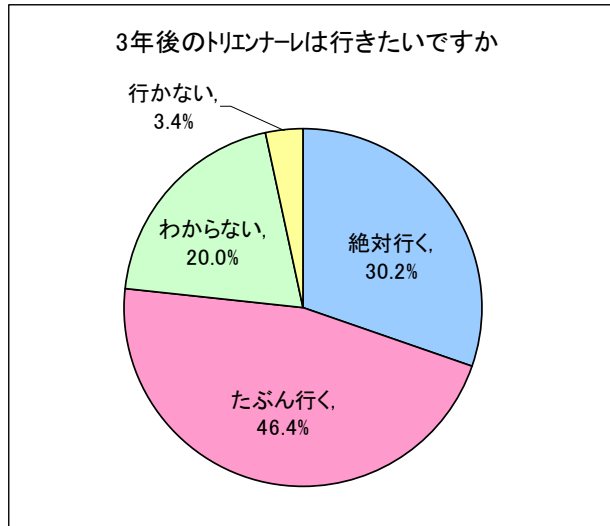
※未回答318



次回3年後のあいちトリエンナーレに行きたいか

	数	比率
絶対行く	1,044	30.2%
たぶん行く	1,606	46.4%
わからない	691	20.0%
行かない	117	3.4%
合計	3,458	100.0%

※未回答323

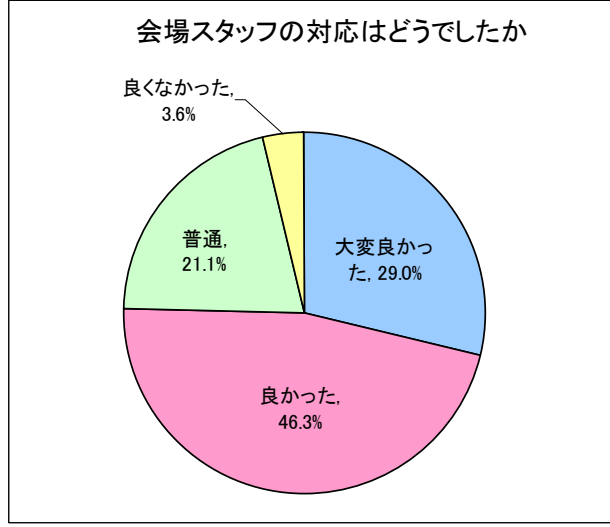


(4) 運営

会場スタッフの対応

	数	比率
大変良かった	1,051	29.0%
良かった	1,681	46.3%
普通	764	21.1%
良くなかった	132	3.6%
合計	3,628	100.0%

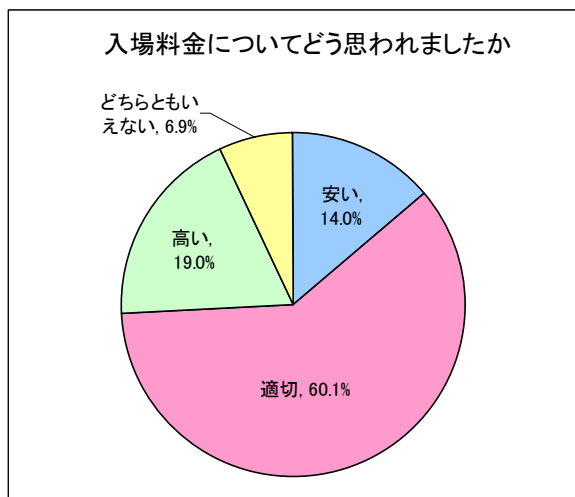
※未回答153



入場料金

	数	比率
安い	504	14.0%
適切	2,169	60.1%
高い	685	19.0%
どちらともいえない	248	6.9%
合計	3,606	100.0%

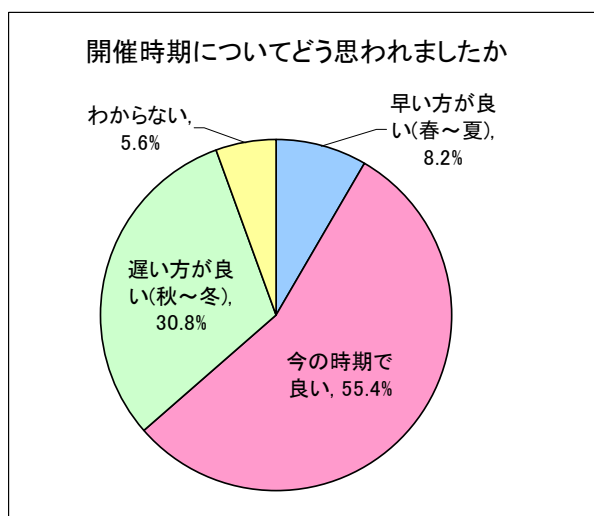
※未回答175



開催時期

	数	比率
早い方が良い(春～夏)	297	8.2%
今の時期で良い	1,991	55.4%
遅い方が良い(秋～冬)	1,108	30.8%
わからない	201	5.6%
合計	3,597	100.0%

※未回答184



(5) 回遊状況

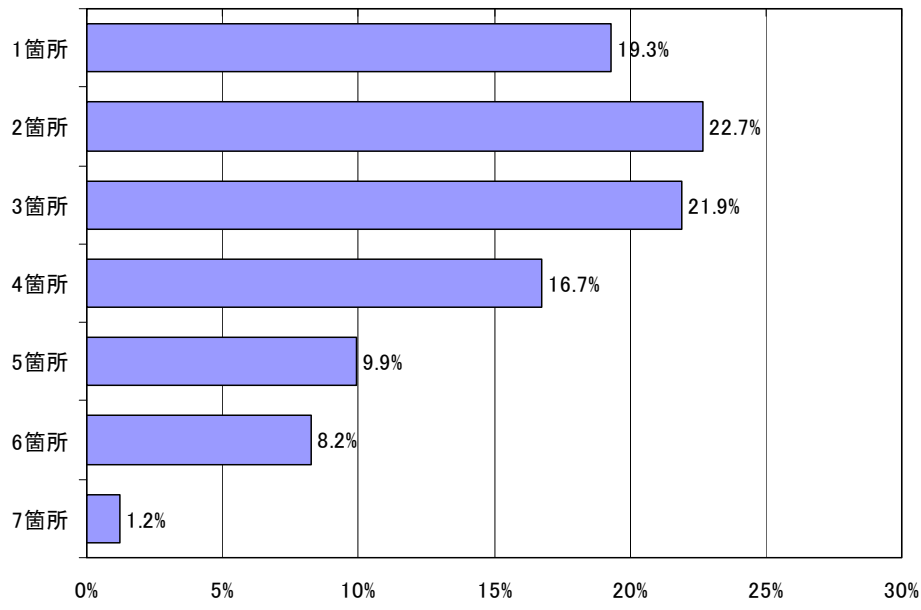
会場及び周辺で立ち寄った場所と滞在時間

■ 立ち寄り箇所数

	数	比率
1箇所	581	19.3%
2箇所	683	22.7%
3箇所	659	21.9%
4箇所	504	16.7%
5箇所	298	9.9%
6箇所	248	8.2%
7箇所	36	1.2%
合計	3,009	100.0%

※未回答772

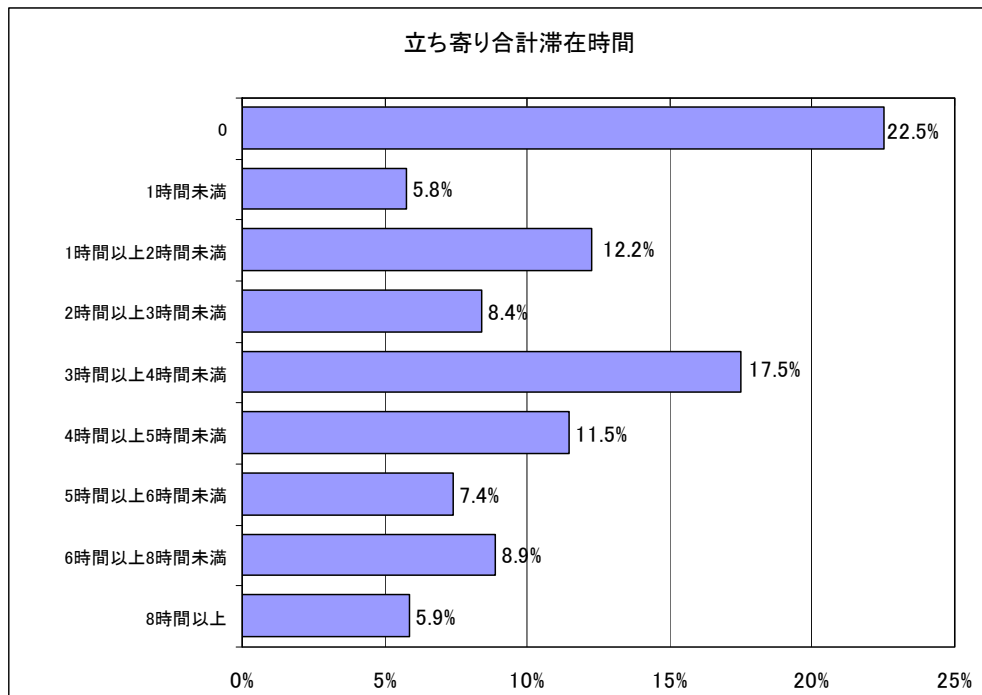
立ち寄り箇所数



■ 立ち寄り場所

場所	数
愛知芸術文化センター	2,008
飲食店	1,325
長者町	1,055
名古屋市美術館	988
オアシス21	712
納屋橋	554
中央広小路ビル	205
AT café	143
コンビニ	148
高島屋	127
松坂屋	128
名古屋駅	125
三越	120
ラシック	113
ホテル	84
名古屋城	71
栄地下街	61
パルコ	56
セントラルパーク	44
名鉄百貨店	43
東急ハンズ	37
本屋	39
丸栄	41
大須	35
山本屋	29
NHK	31
喫茶クラウン	29
ロフト	26
ミッドランド	26
二葉ビル	27
中日ビル	27
テレビ塔	17

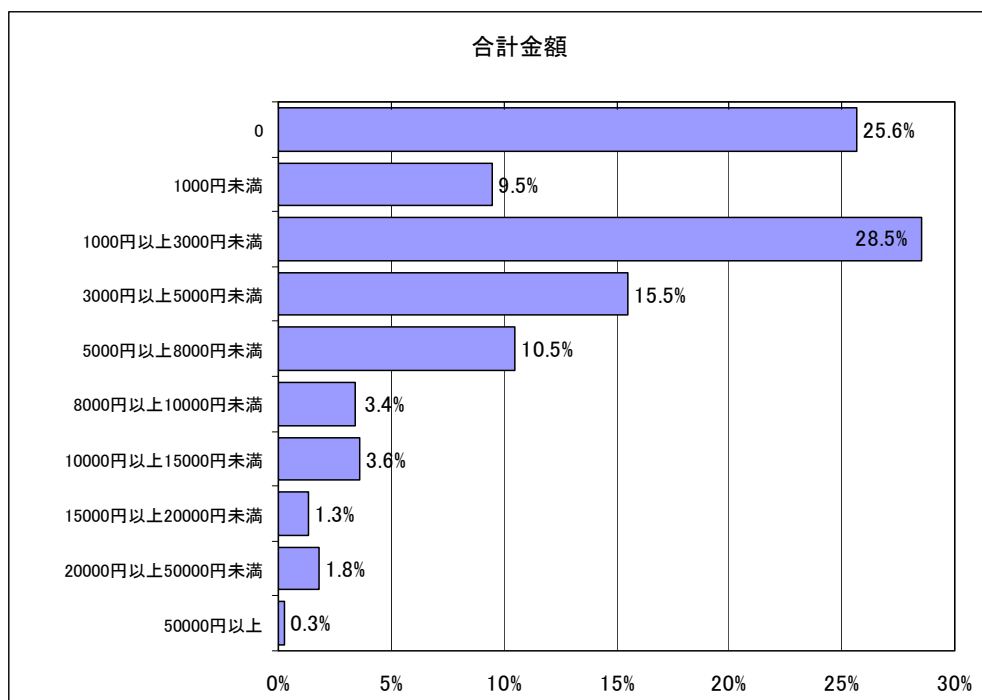
■ 立ち寄り合計滞在時間



買い物・飲食等立ち寄り先で、あなた自身が使った費用

■ 合計金額

	数	比率
0	969	25.6%
1000円未満	358	9.5%
1000円以上3000円未満	1,078	28.5%
3000円以上5000円未満	585	15.5%
5000円以上8000円未満	396	10.5%
8000円以上10000円未満	130	3.4%
10000円以上15000円未満	136	3.6%
15000円以上20000円未満	50	1.3%
20000円以上50000円未満	69	1.8%
50000円以上	10	0.3%
合計	3,781	100.0%



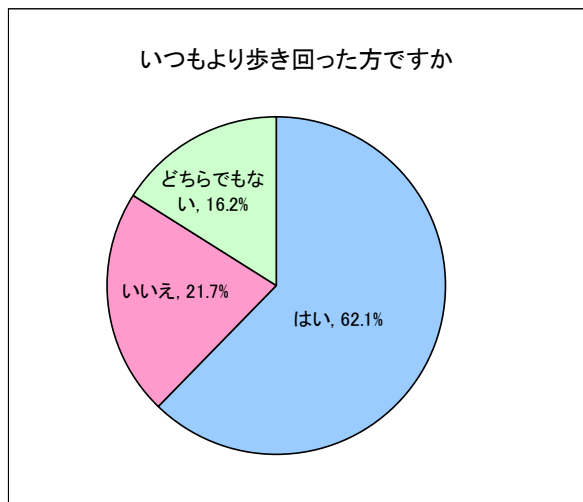
■ 消費実態

場所	サンプル数	平均金額(円)	目的			
			飲食	買い物	入場料	その他
愛知芸術文化センター	2,008	1,765	302	385	927	252
飲食店	1,325	1,387	1,281	31	0	6
長者町	1,055	1,138	408	135	119	61
名古屋市美術館	988	762	92	106	237	88
オアシス21	712	815	341	78	11	35
納屋橋	554	400	37	5	1,375	20
中央広小路ビル	205	68	22	2	3	3
AT café	143	556	131	7	3	0
コンビニ	148	419	95	52	2	2
高島屋	127	3,364	56	87	0	11
松坂屋	128	5,537	57	69	7	15
名古屋駅	125	2,366	76	41	2	21
三越	120	3,094	34	78	0	8
ラシック	113	3,633	70	38	1	5
ホテル	84	6,428	27	2	1	46
名古屋城	71	937	8	3	30	7
栄地下街	61	1,768	42	13	1	6
パルコ	56	5,310	16	37	1	1
セントラルパーク	44	1,946	31	9	0	3
名鉄百貨店	43	2,221	15	26	0	5
東急ハンズ	37	1,067	2	30	0	1
本屋	39	3,822	2	30	0	4
丸栄	41	3,741	12	27	0	4
大須	35	3,047	19	16	1	2
山本屋	29	847	28	0	0	1
NHK	31	1,384	19	2	0	5
喫茶クラウン	29	365	27	0	0	1
ロフト	26	1,545	3	15	0	3
ミッドランド	26	1,909	10	6	5	3
二葉ビル	27	5	0	0	1	0
中日ビル	27	2,305	17	6	3	3
テレビ塔	17	773	6	4	10	0

いつも遊びに来るときより、栄・伏見周辺を歩き回った方が

	数	比率
はい	2,152	62.1%
いいえ	751	21.7%
どちらでもない	561	16.2%
合計	3,464	100.0%

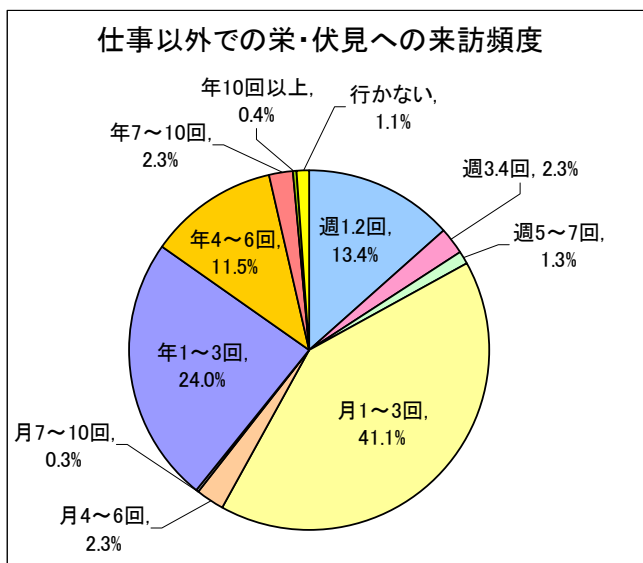
※未回答317



普段、仕事以外の買い物・飲食等で、栄・伏見周辺に来る来訪頻度

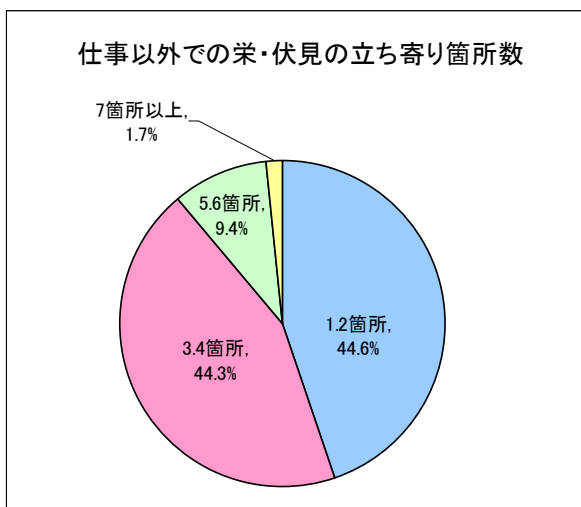
	数	比率
週1.2回	367	13.4%
週3.4回	62	2.3%
週5～7回	37	1.3%
月1～3回	1,121	41.1%
月4～6回	64	2.3%
月7～10回	7	0.3%
年1～3回	656	24.0%
年4～6回	314	11.5%
年7～10回	63	2.3%
年10回以上	10	0.4%
行かない	29	1.1%
合計	2,730	100.0%

※未回答1,004

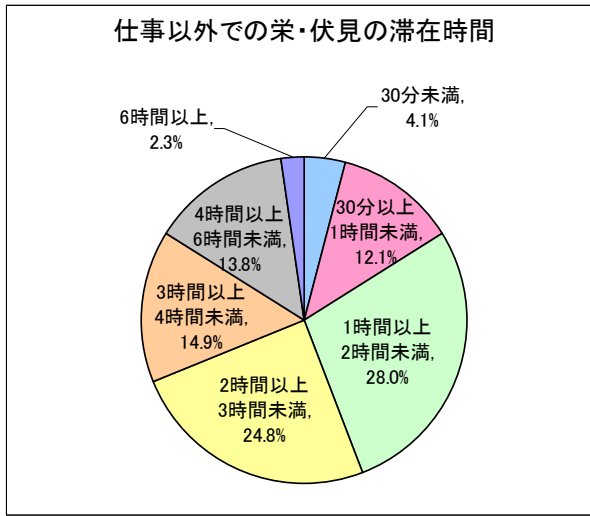


普段、仕事以外の買い物・飲食等で、栄・伏見周辺での滞在時間と立ち寄り箇所数

■ 滞在時間

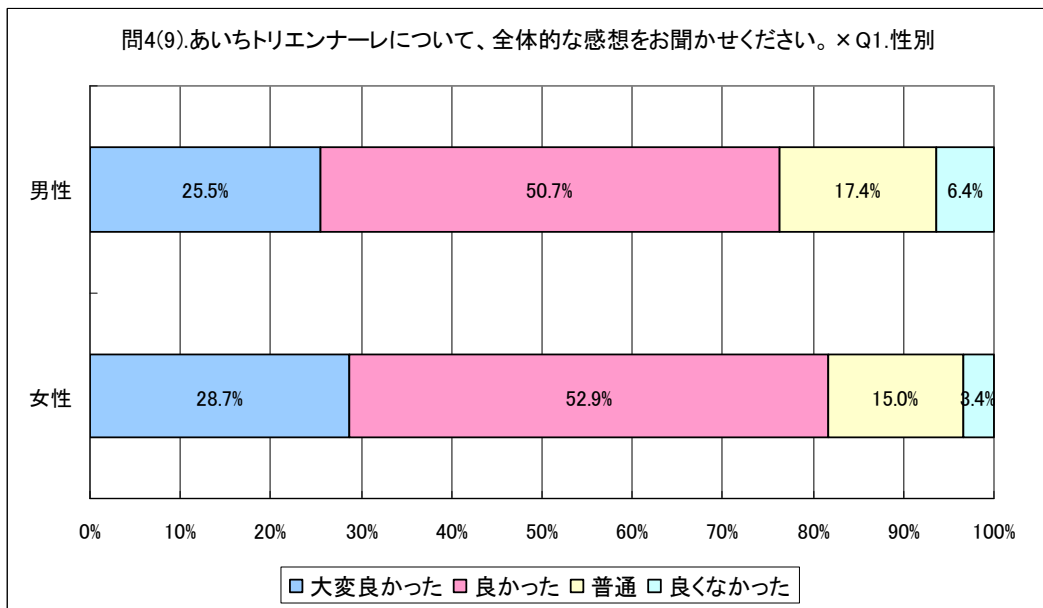


■ 立ち寄り箇所数

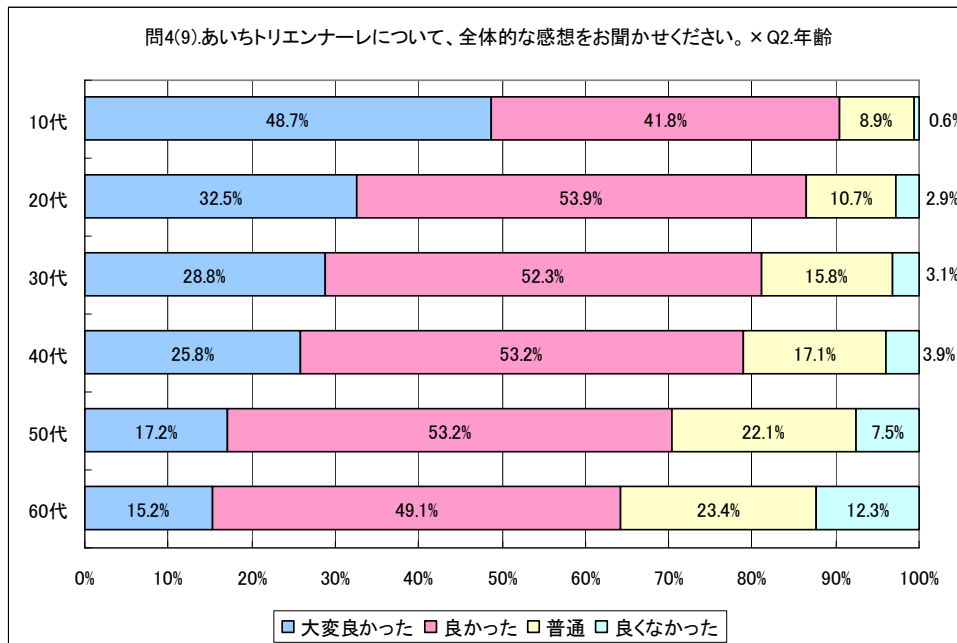


(6) 属性別の感想

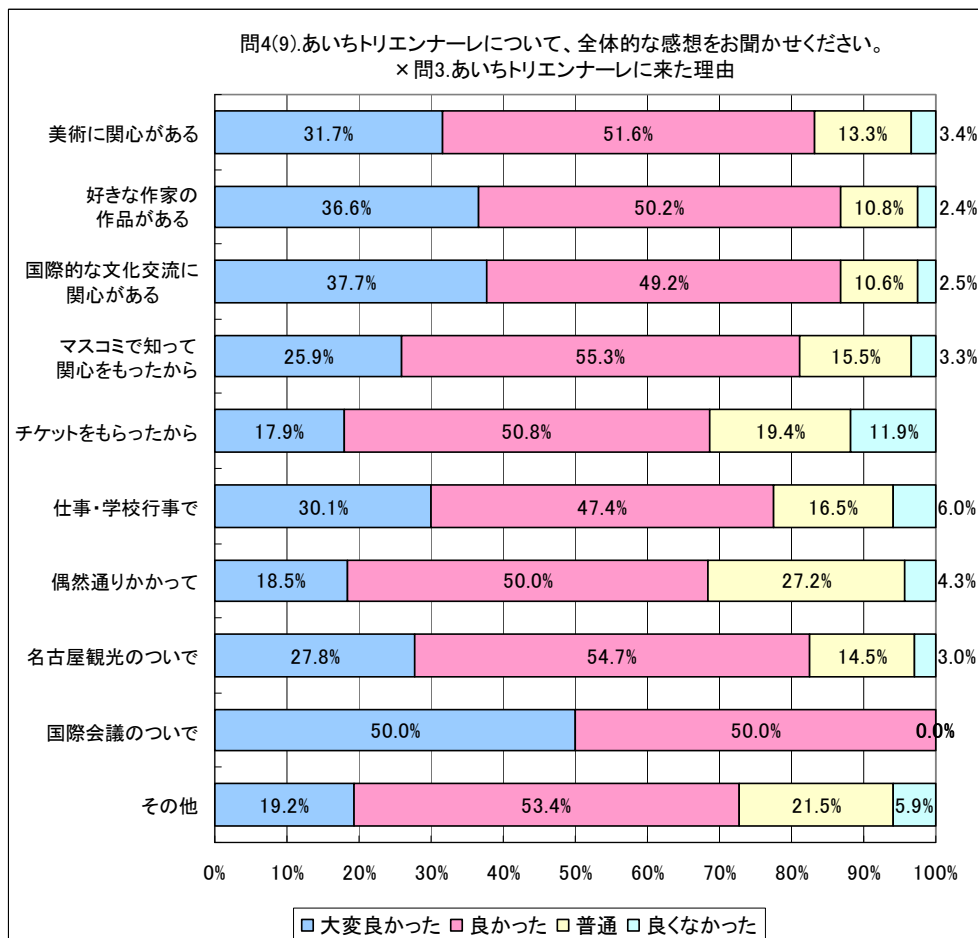
全体的な感想 × 性別



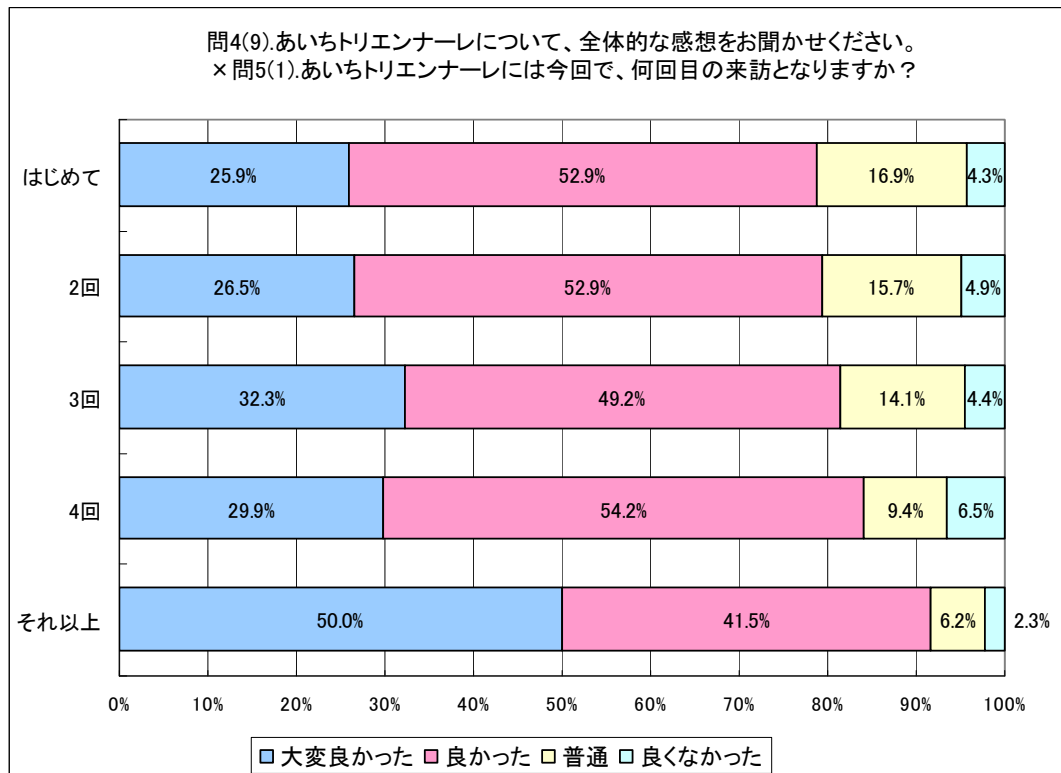
全体的な感想 × 年齢



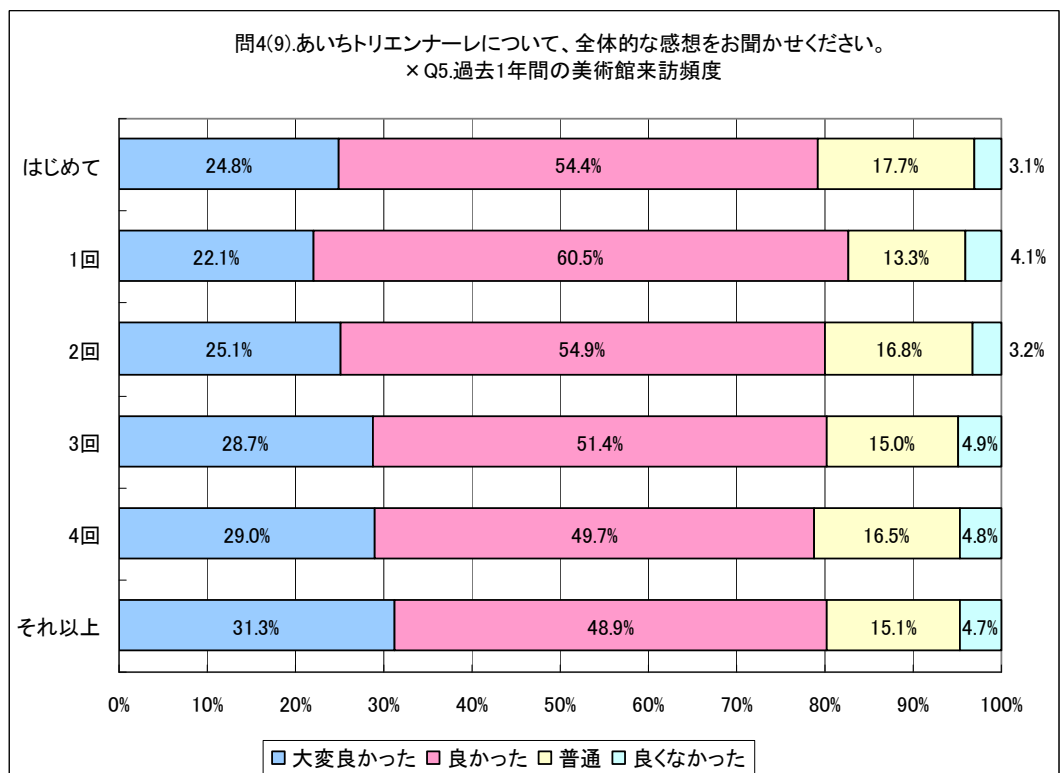
全体的な感想 × 来場理由



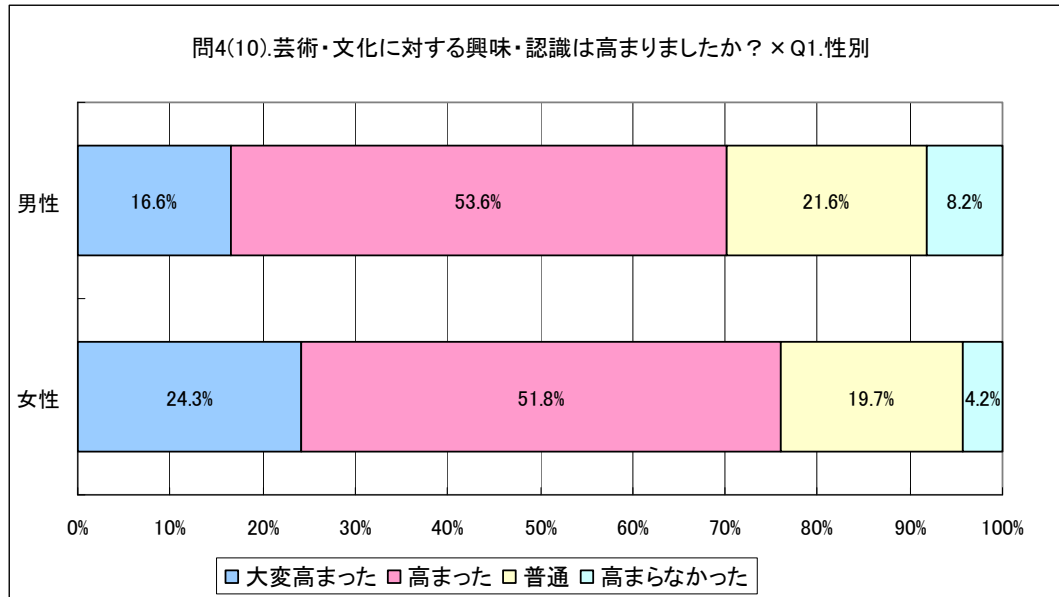
全体的な感想 × 来訪回数



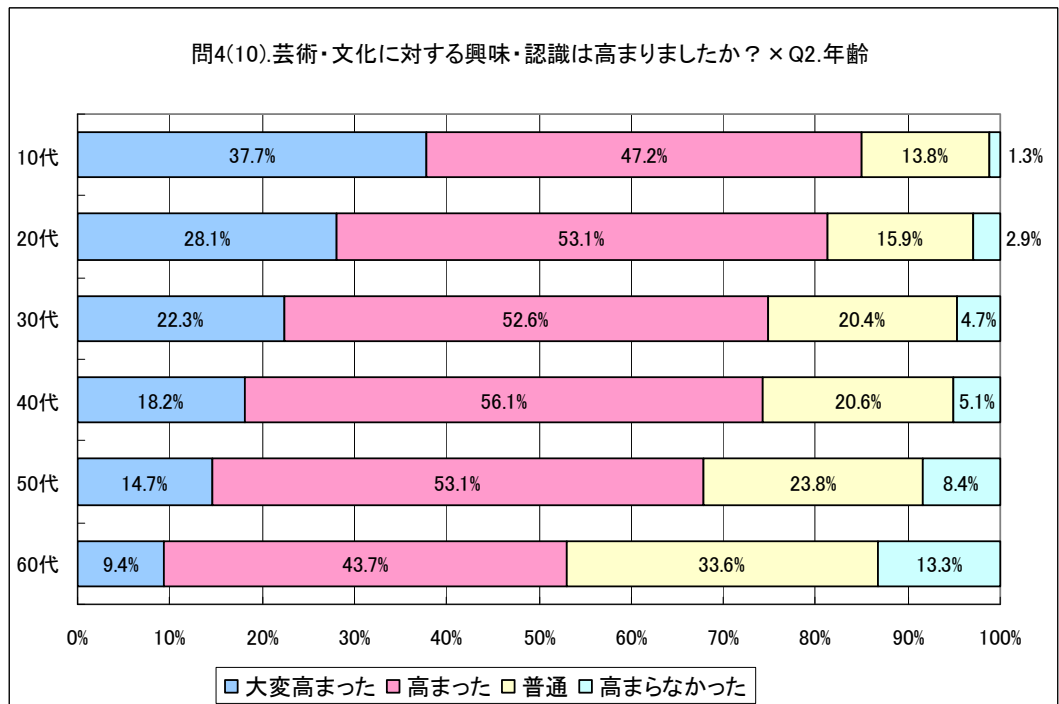
全体的な感想 × 過去1年間の美術館来訪頻度



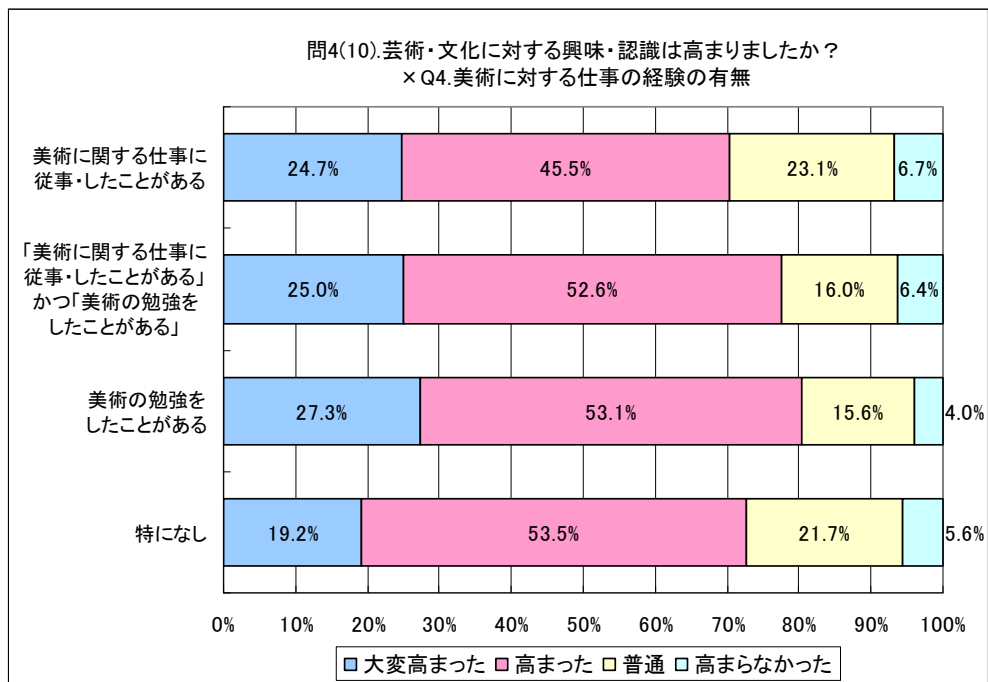
芸術・文化に対する興味・認識が高まったか × 性別



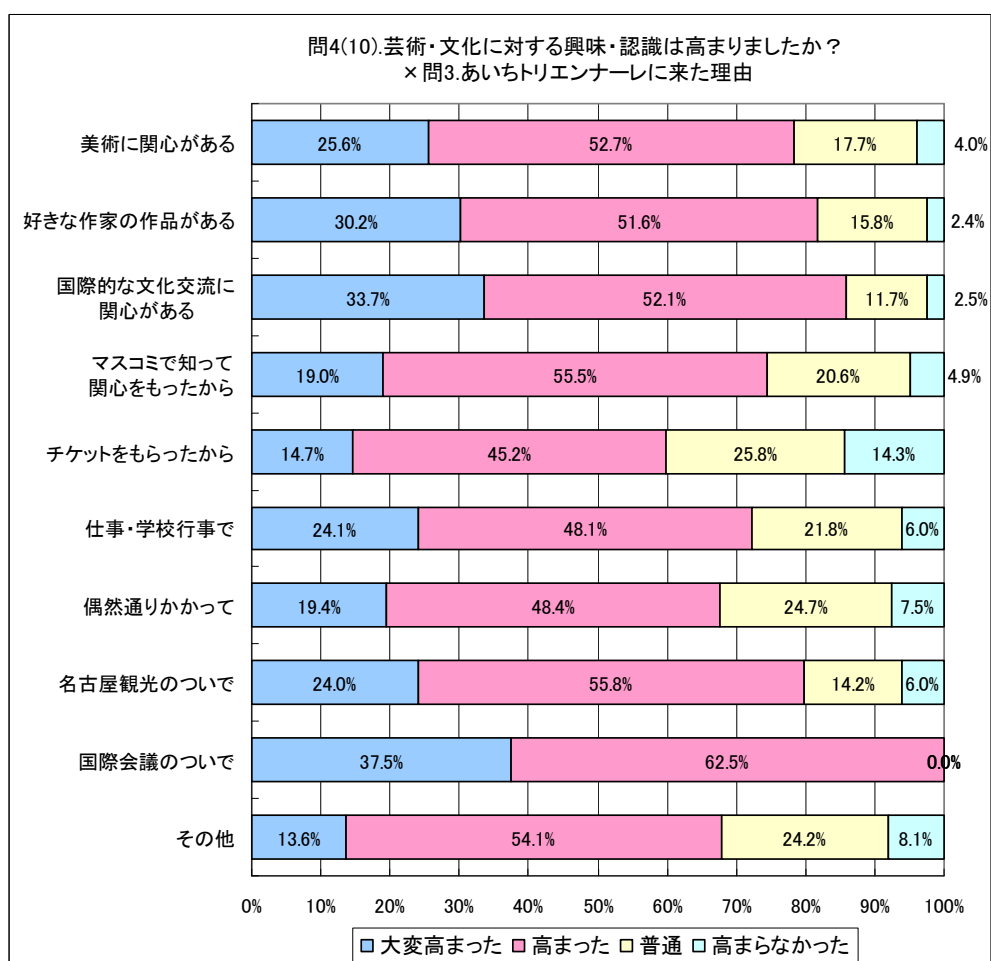
芸術・文化に対する興味・認識が高まったか × 年齢



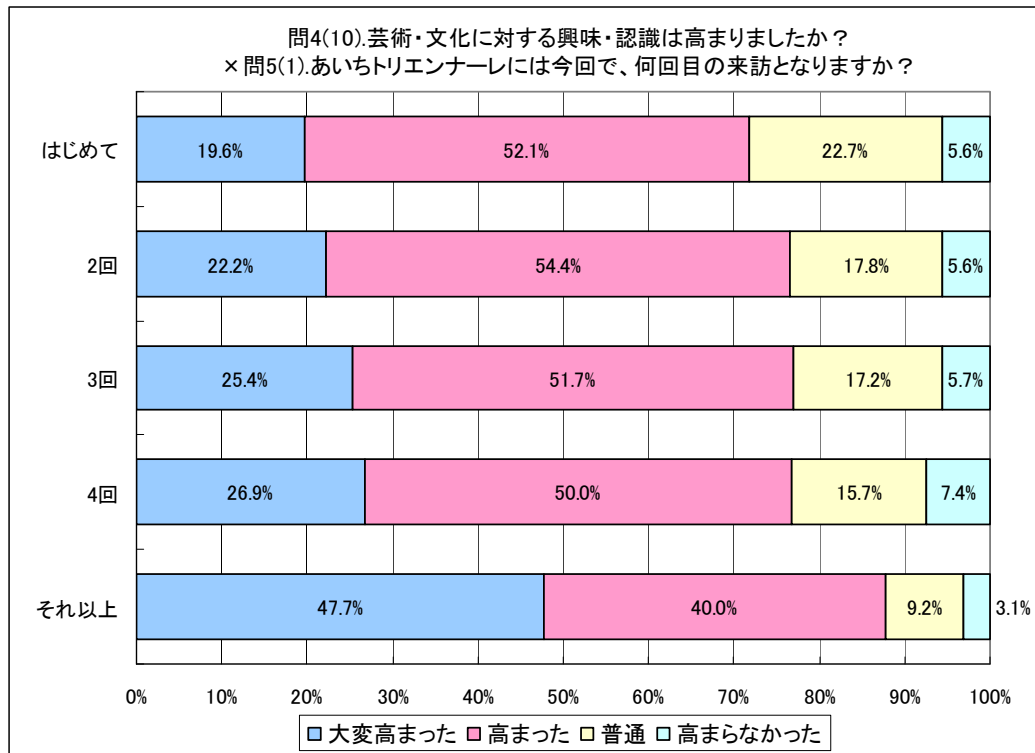
芸術・文化に対する興味・認識が高まったか × 美術に対する仕事の経験の有無



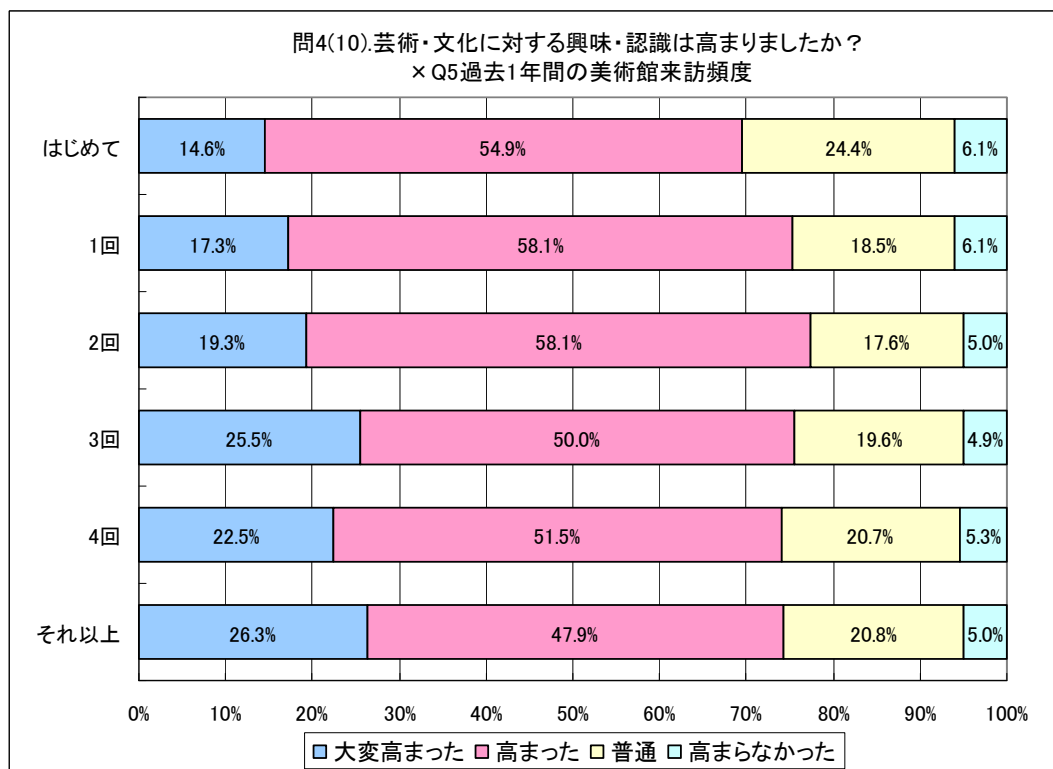
芸術・文化に対する興味・認識が高まったか × 来場理由



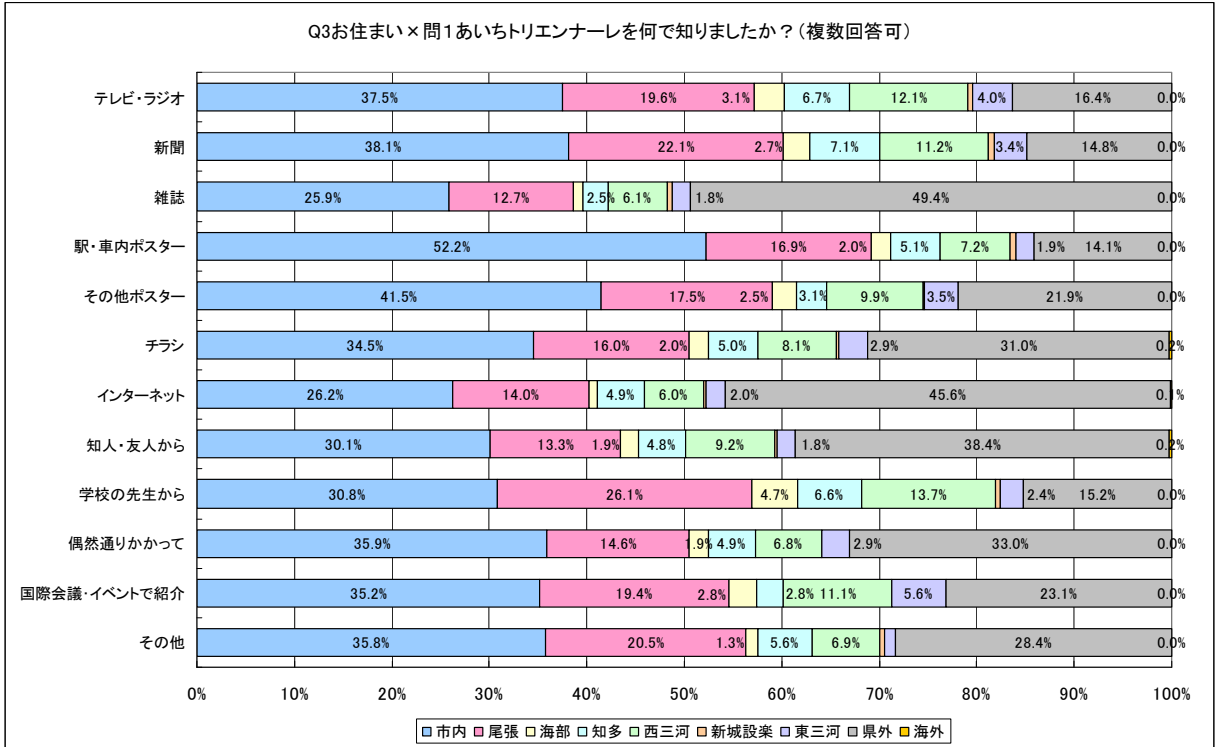
芸術・文化に対する興味・認識は高まったか × 来訪回数



芸術・文化に対する興味・認識は高まったか × 過去1年間の美術館来訪頻度

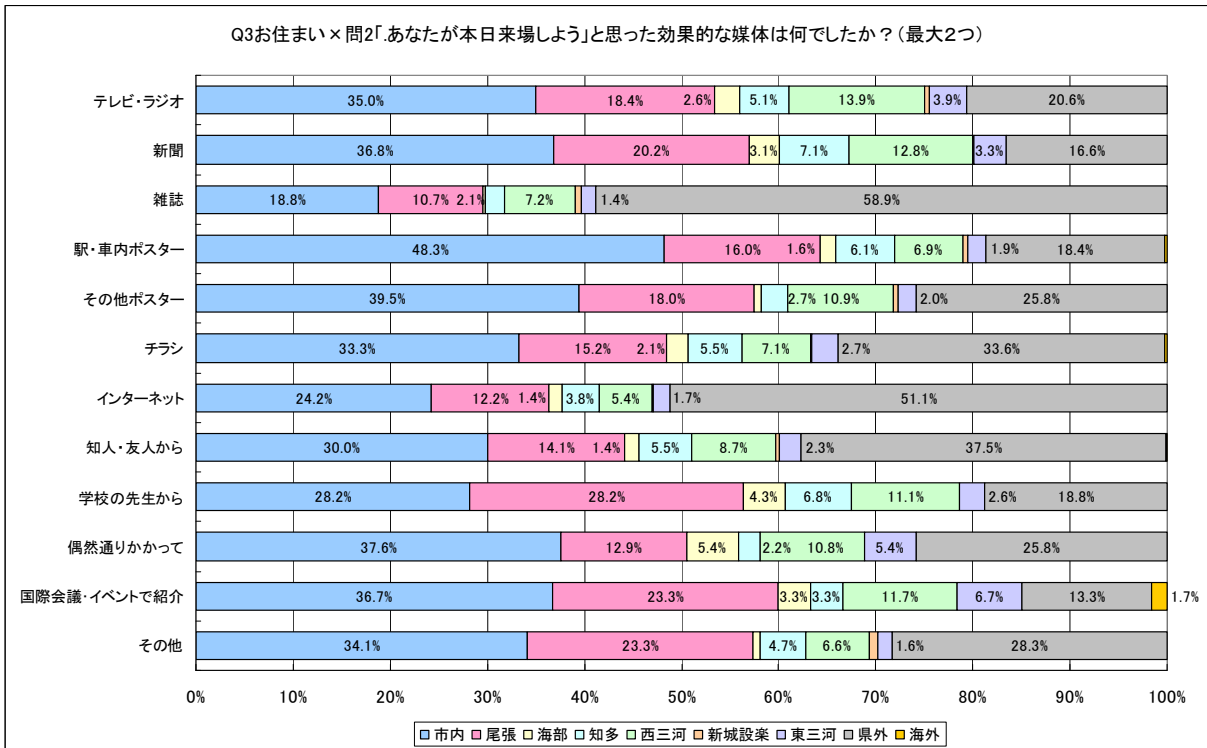


お住まい × 何で知ったか



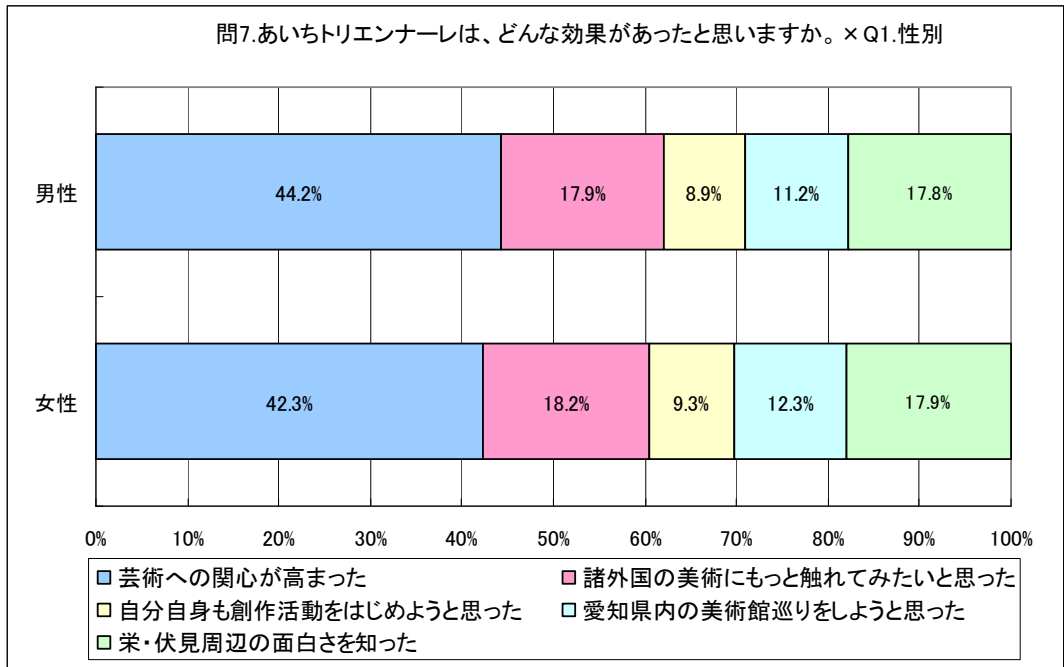
	市内	尾張	海部	知多	西三河	新城設楽	東三河	県外	海外	合計
テレビ・ラジオ	431	225	36	77	139	6	46	188	0	1148
新聞	406	235	29	76	119	6	36	158	0	1065
雑誌	175	86	7	17	41	4	12	334	0	676
駅・車内ポスター	416	135	16	41	57	5	15	112	0	797
その他ポスター	252	106	15	19	60	1	21	133	0	607
チラシ	352	163	20	51	83	2	30	316	2	1019
インターネット	184	98	6	34	42	2	14	320	1	701
知人・友人から	271	120	17	43	83	2	16	346	2	900
学校の先生から	65	55	10	14	29	1	5	32	0	211
偶然通りかかって	37	15	2	5	7	0	3	34	0	103
国際会議・イベントで紹介	38	21	3	3	12	0	6	25	0	108
その他	140	80	5	22	27	2	4	111	0	391
合計	2767	1339	166	402	699	31	208	2109	5	7726

お住まい × 来場しようと思った効果的媒体

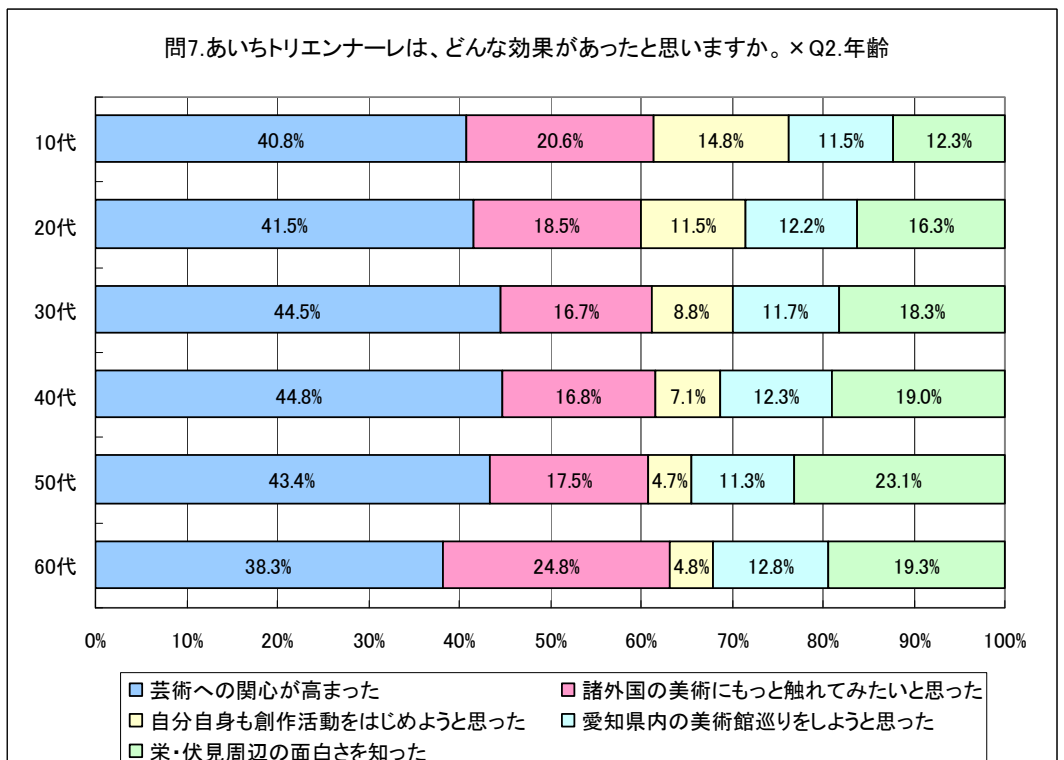


	市内	尾張	海部	知多	西三河	新城設楽	東三河	県外	海外	合計
テレビ・ラジオ	324	171	24	47	129	5	36	191	0	927
新聞	248	136	21	48	86	1	22	112	0	674
雑誌	91	52	1	10	35	3	7	285	0	484
駅・車内ポスター	181	60	6	23	26	2	7	69	1	375
その他ポスター	101	46	2	7	28	1	5	66	0	256
チラシ	234	107	15	39	50	1	19	236	2	703
インターネット	139	70	8	22	31	1	10	294	0	575
知人・友人から	208	98	10	38	60	2	16	260	1	693
学校の先生から	33	33	5	8	13	0	3	22	0	117
偶然通りかかって	35	12	5	2	10	0	5	24	0	93
国際会議・イベントで紹介	22	14	2	2	7	0	4	8	1	60
その他	88	60	2	12	17	2	4	73	0	258
合計	1704	859	101	258	492	18	138	1640	5	5215

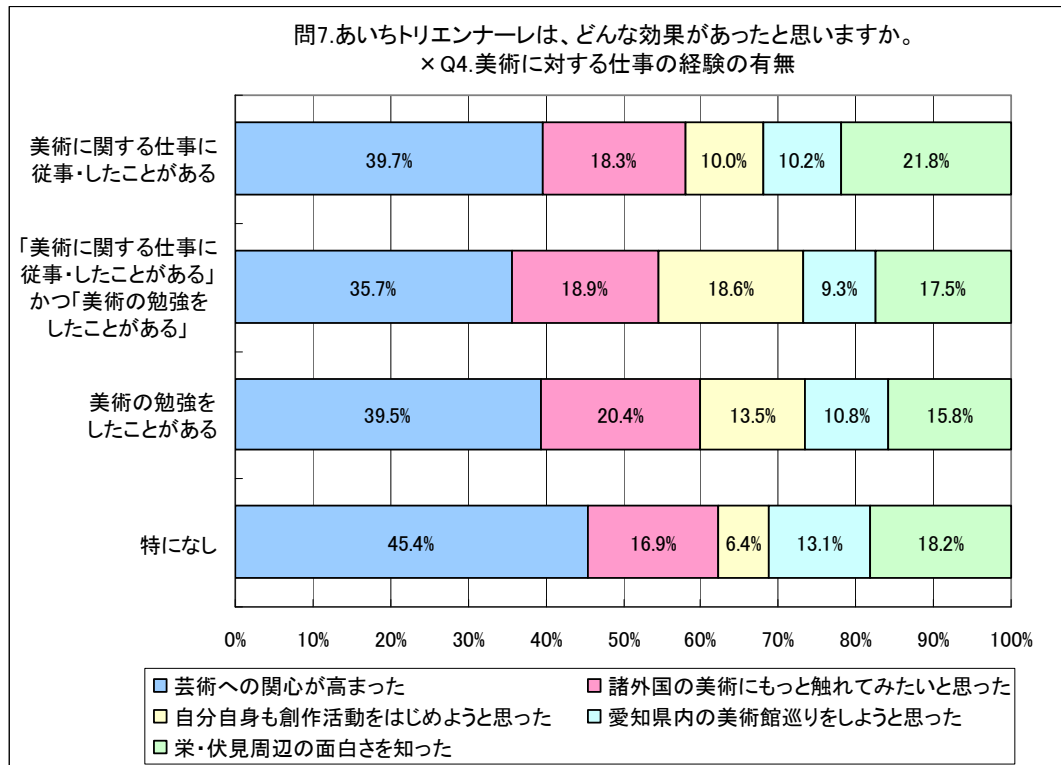
来場者自身へのトリエンナーレの効果 × 性別

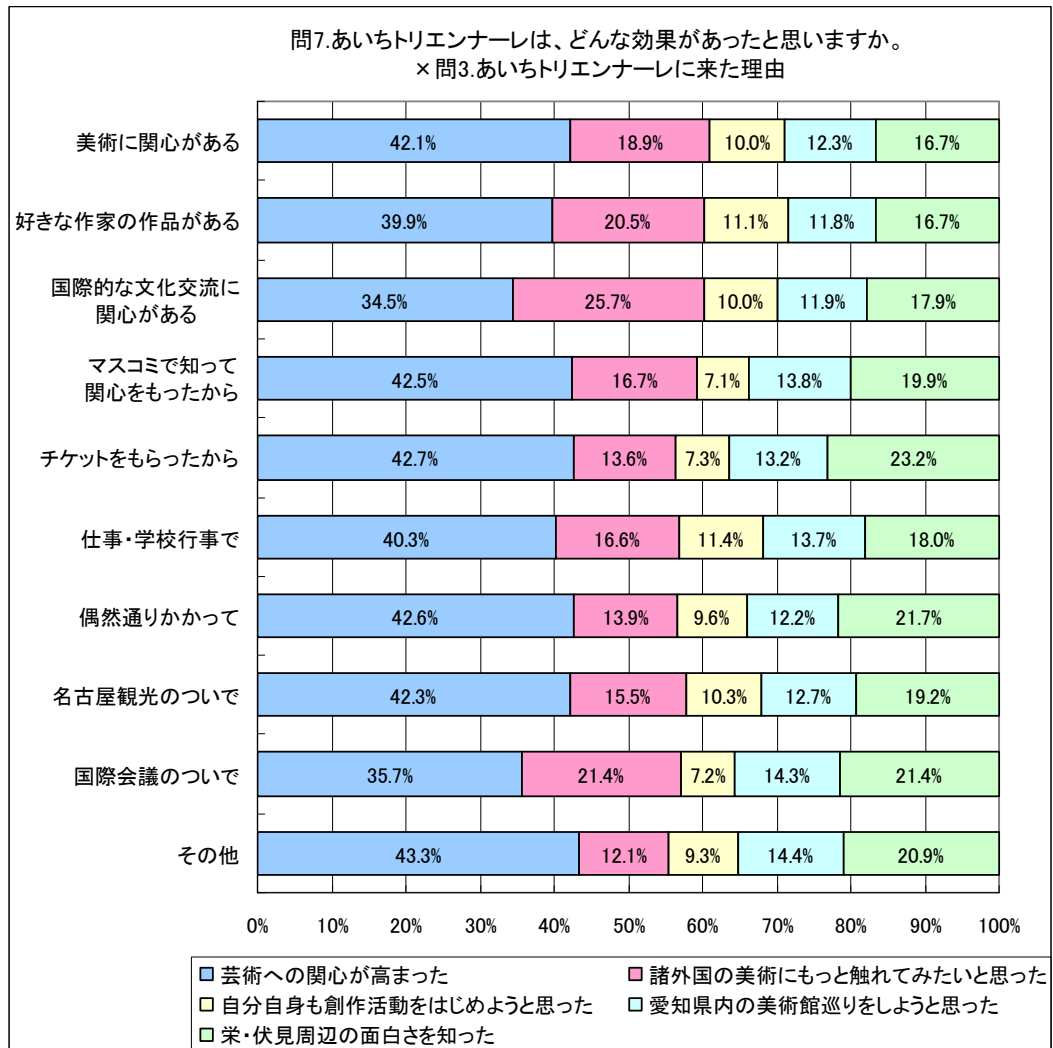


来場者自身へのトリエンナーレの効果 × 年齢

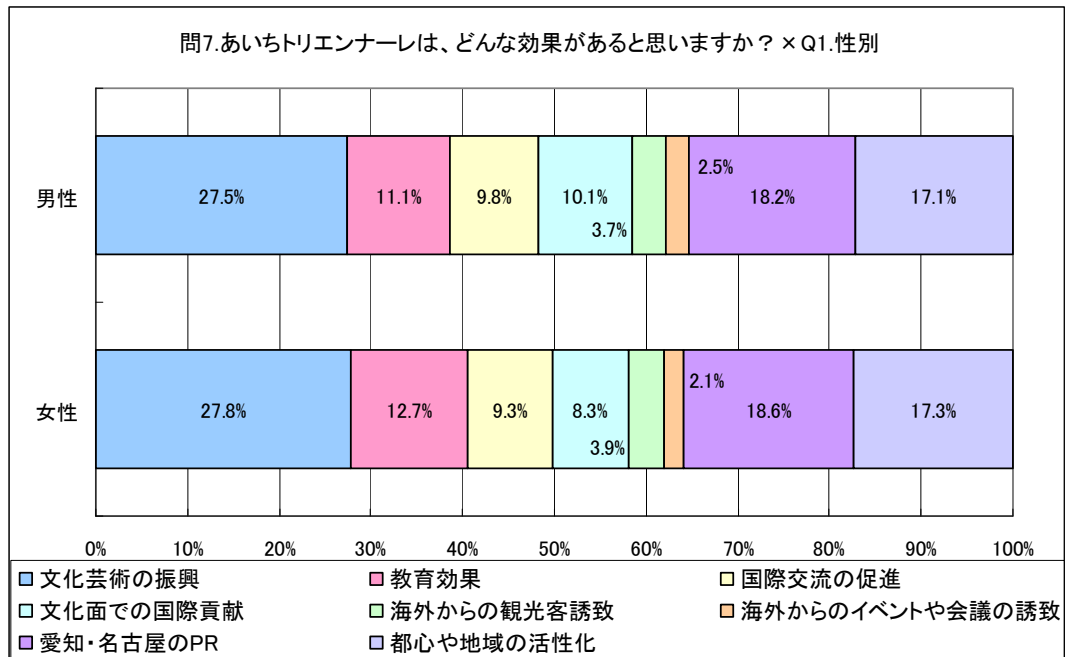


来場者自身へのトリエンナーレの効果 × 美術に関する仕事の経験の有無

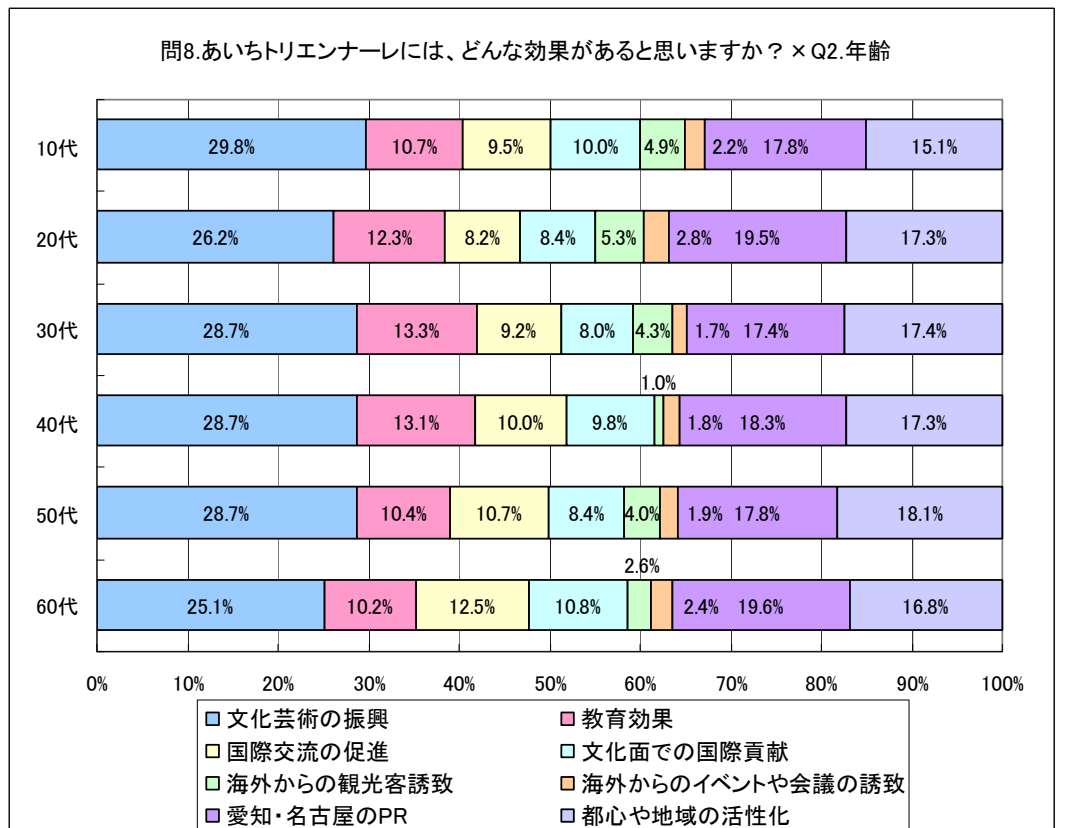




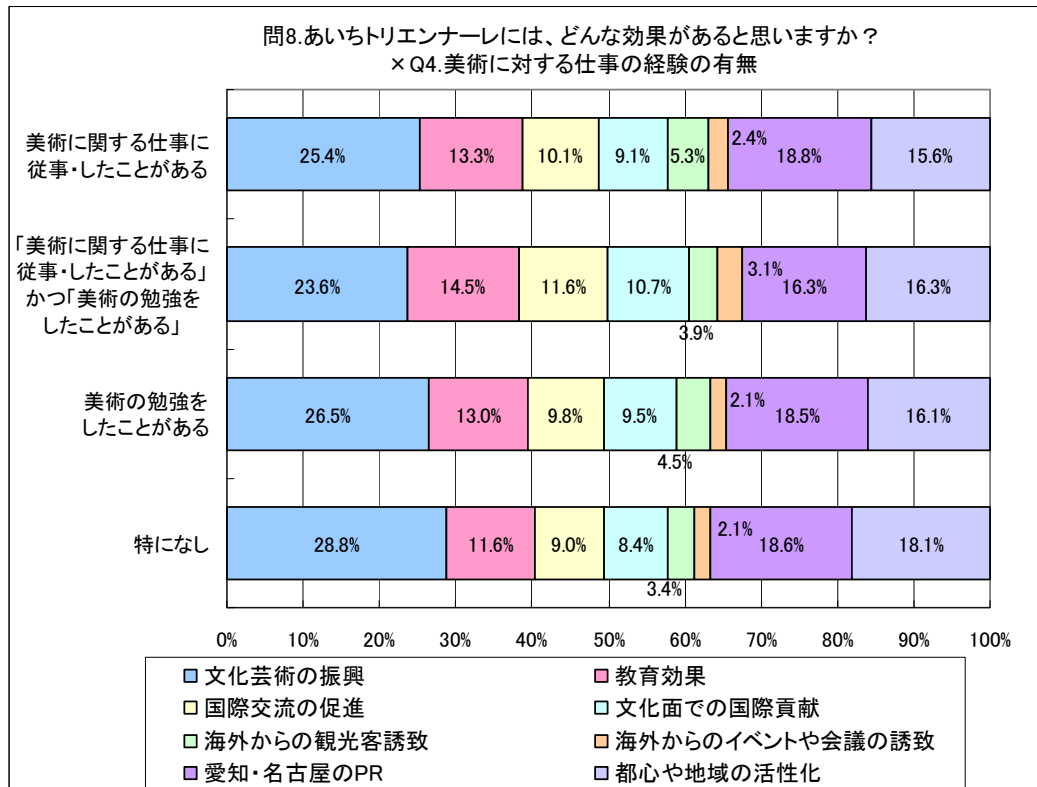
トリエンナーレの効果 × 来場理由



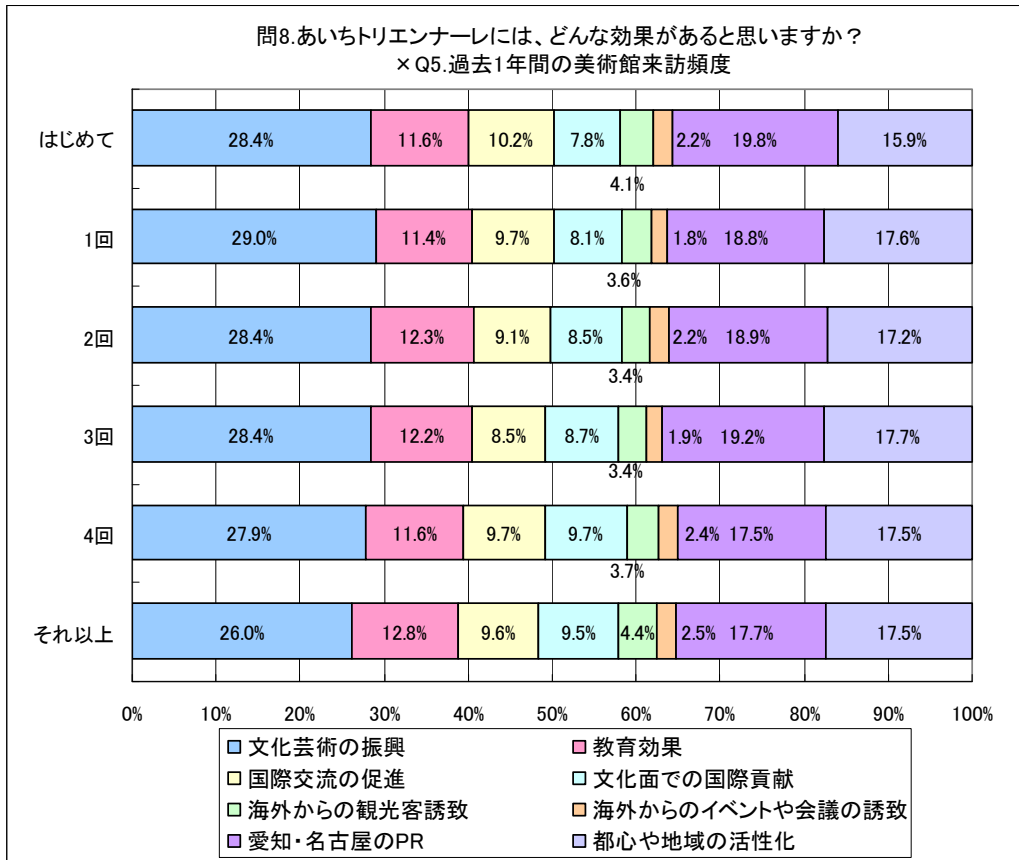
トリエンナーレの効果 × 年齢



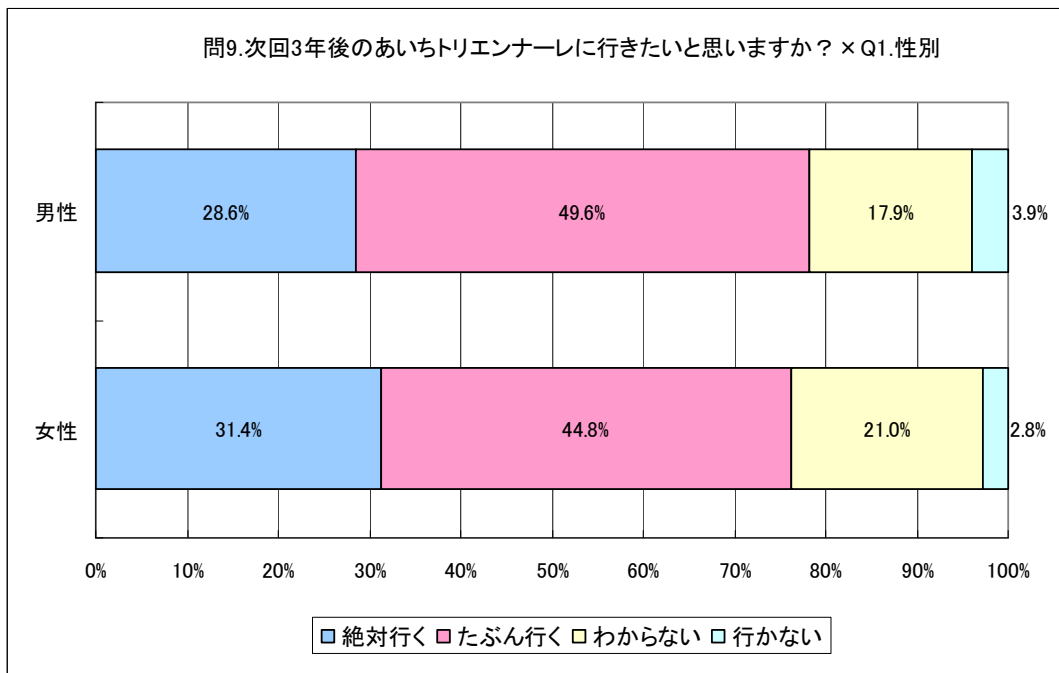
トリエンナーレの効果 × 美術に関する仕事の経験の有無



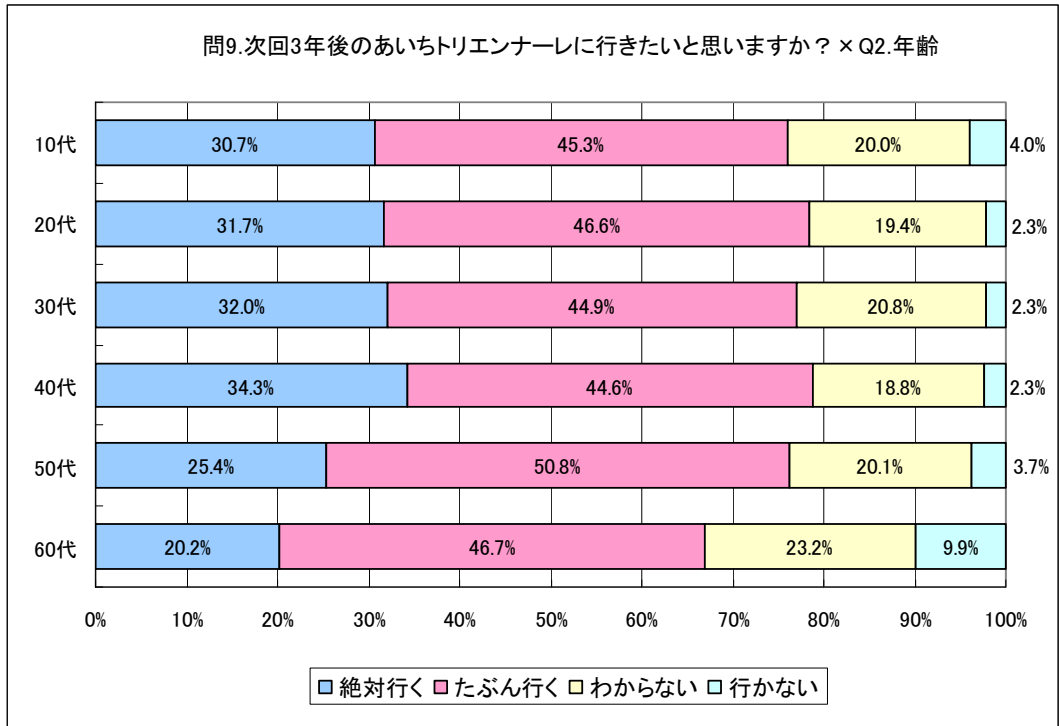
トリエンナーレの効果 × 過去1年間の美術館来訪頻度



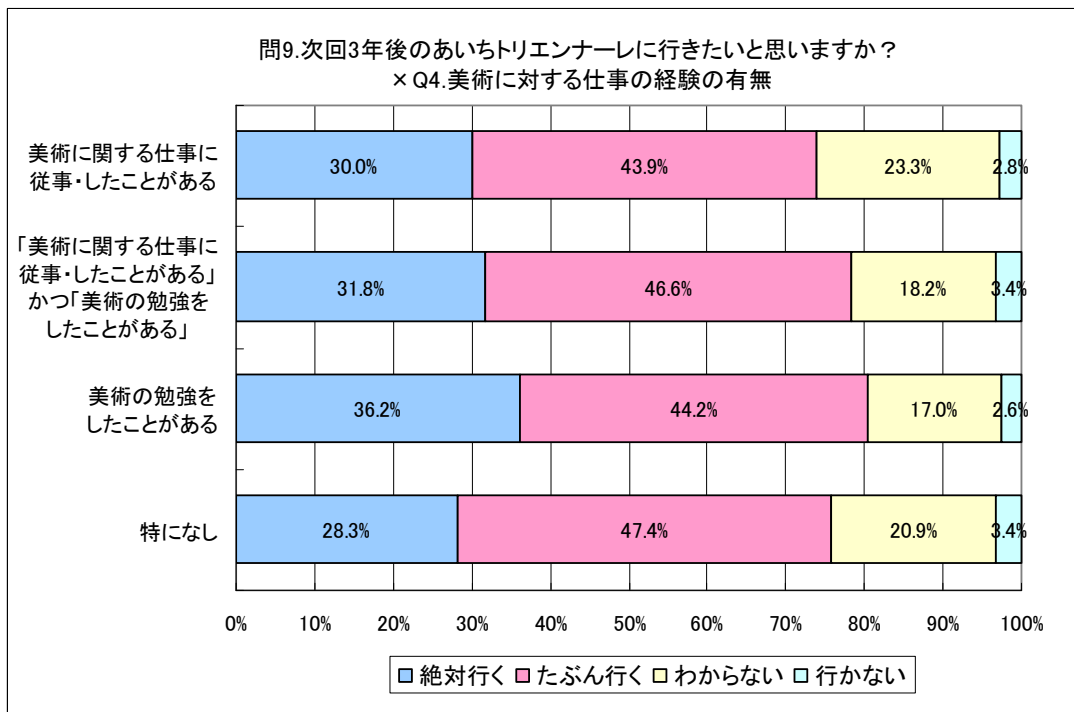
次回のトリエンナーレに行きたいか × 性別



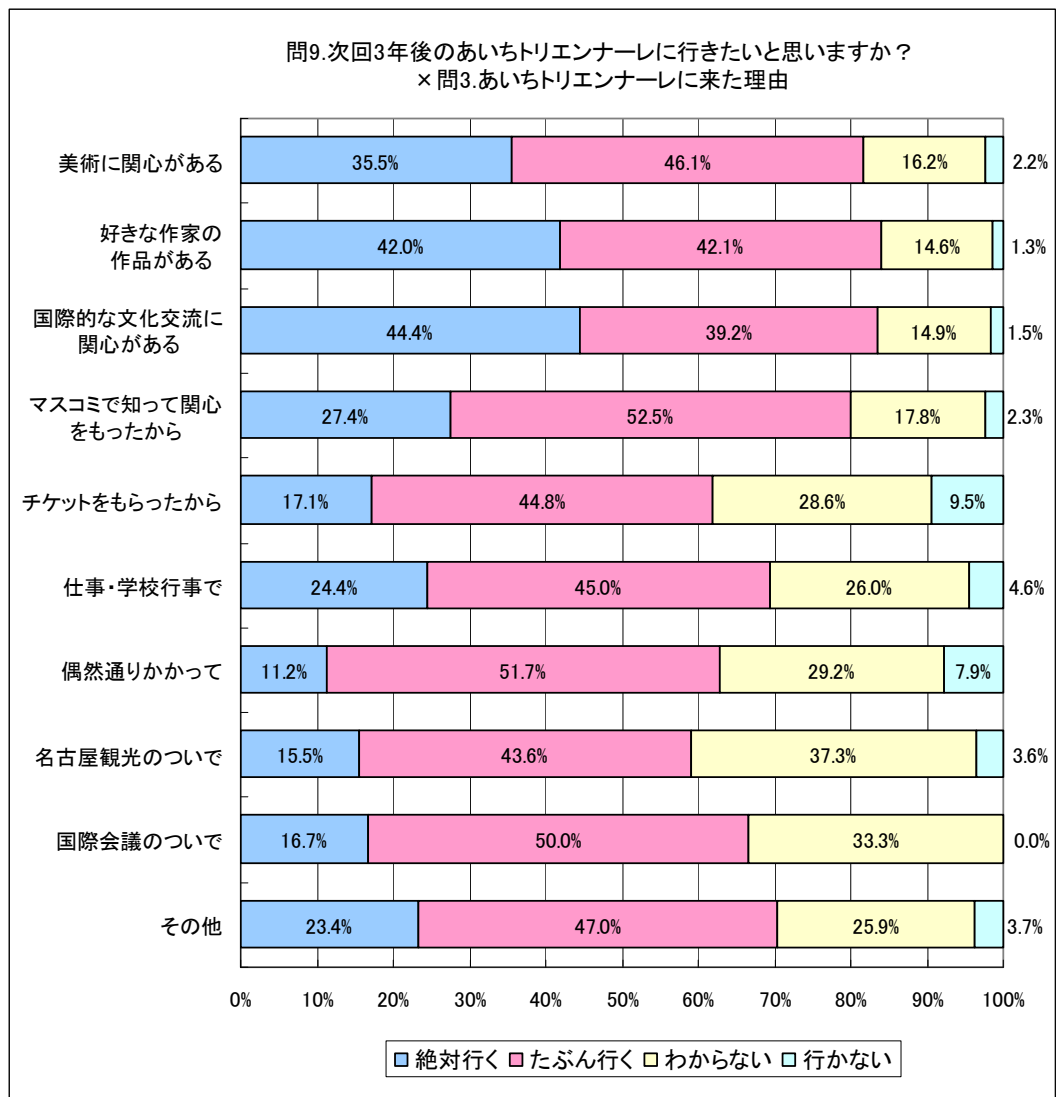
次回のトリエンナーレに行きたいか × 年齢



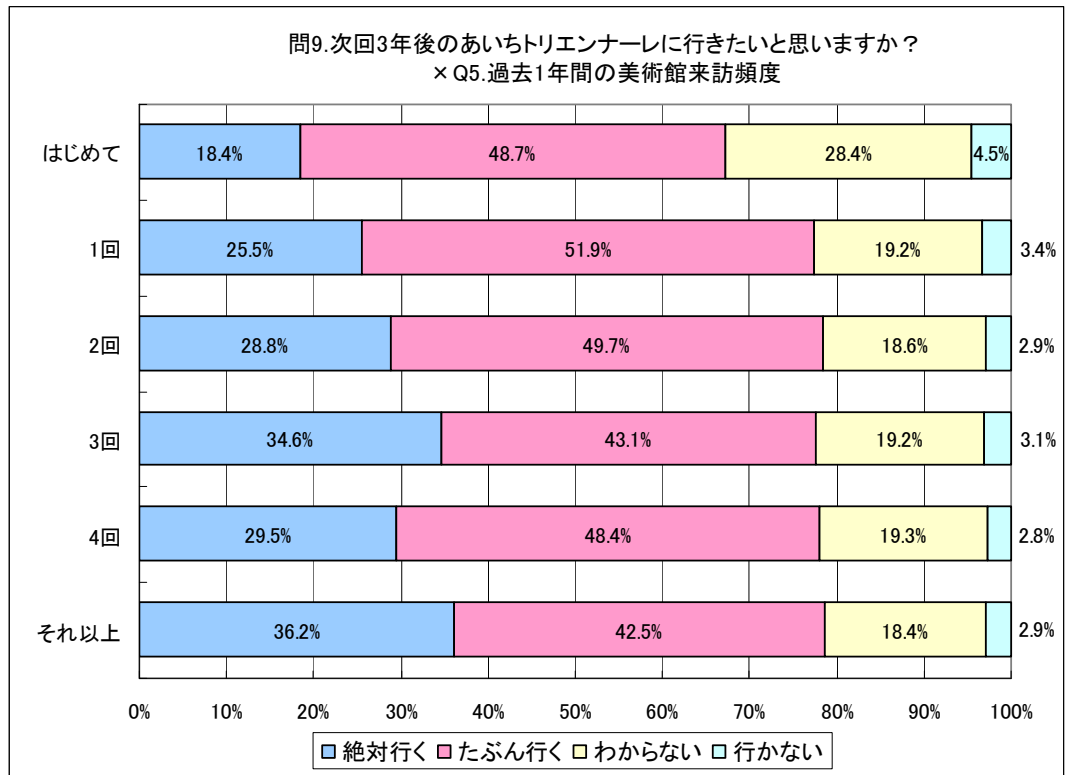
次回のトリエンナーレに行きたいか × 美術に関する仕事の経験の有無



次回のトリエンナーレに行きたいか × 来場理由



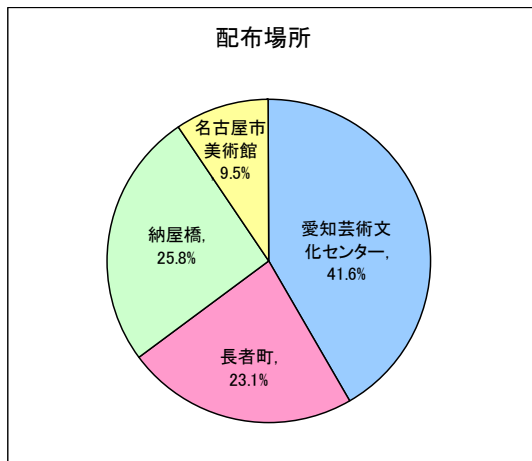
次回のトリエンナーレに行きたいか × 過去1年間の美術館来訪頻度



(7) 属性

配布場所

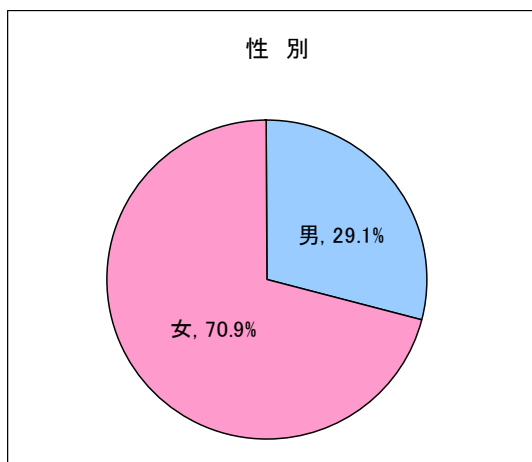
	数	比率
愛知芸術文化センター	1,571	41.6%
長者町	872	23.1%
納屋橋	977	25.8%
名古屋市美術館	361	9.5%
合計	3,781	100.0%



性別

	数	比率
男	994	29.1%
女	2,416	70.9%
合計	3,410	100.0%

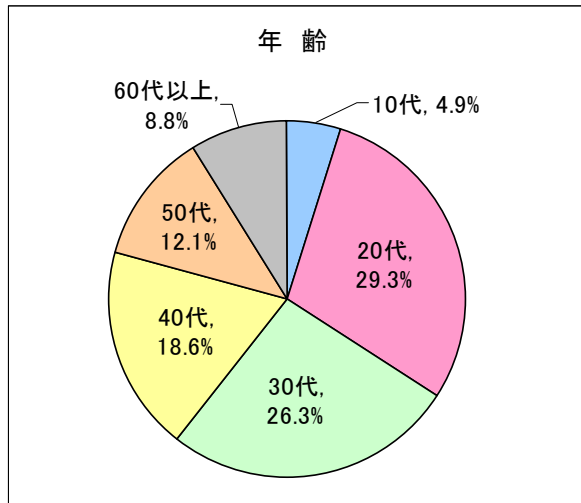
※未回答371



年齢

	数	比率
10代	166	4.9%
20代	1,001	29.3%
30代	896	26.3%
40代	635	18.6%
50代	412	12.1%
60代以上	299	8.8%
合計	3,409	100.0%

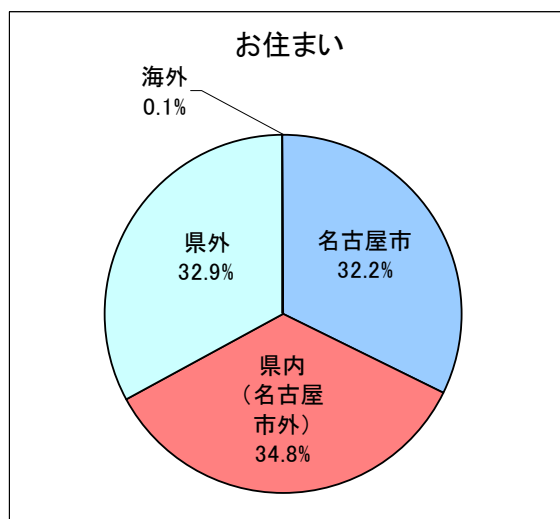
※未回答37

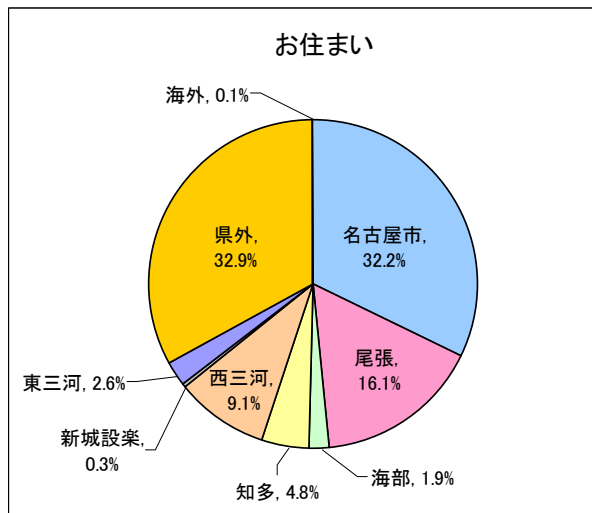


お住まい

	数	比率
名古屋市	1,067	32.2%
尾張	533	16.1%
海部	62	1.9%
知多	160	4.8%
西三河	300	9.1%
新城設楽	10	0.3%
東三河	85	2.6%
県外	1,087	32.9%
海外	4	0.1%
合計	3,308	100.0%

※未回答473





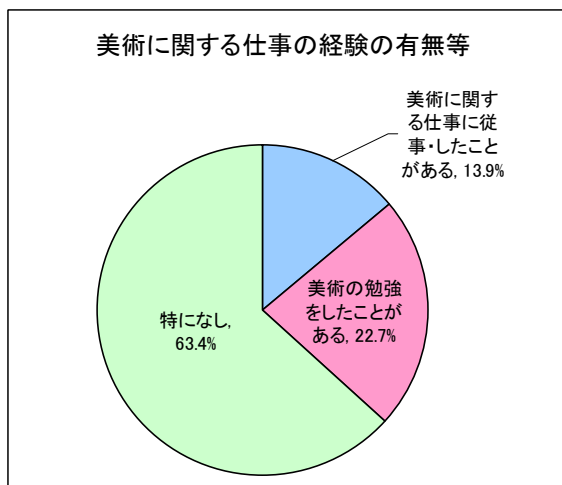
■ 県外来場者の割合

圏域	内訳	割合 (%)
首都圏	東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県	32.7
京阪神	大阪府 京都府 兵庫県	17.4
東海	岐阜県 三重県 静岡県	33.5
その他		16.4
計		100.0

美術に関する仕事の経験の有無等

	数	比率
美術に関する仕事に従事・したことがある	468	13.9%
美術の勉強をしたことがある	765	22.7%
特になし	2135	63.4%
合計	3,368	100.0%

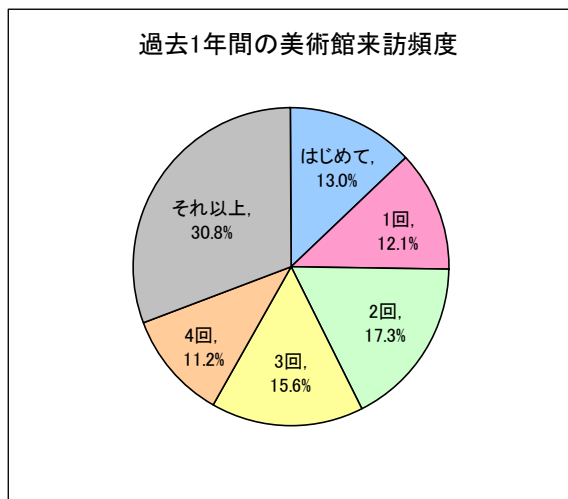
※未回答413



過去1年間の美術館来訪頻度

	数	比率
はじめて	437	13.0%
1回	406	12.1%
2回	580	17.3%
3回	521	15.6%
4回	374	11.2%
それ以上	1,033	30.8%
合計	3,351	100.1%

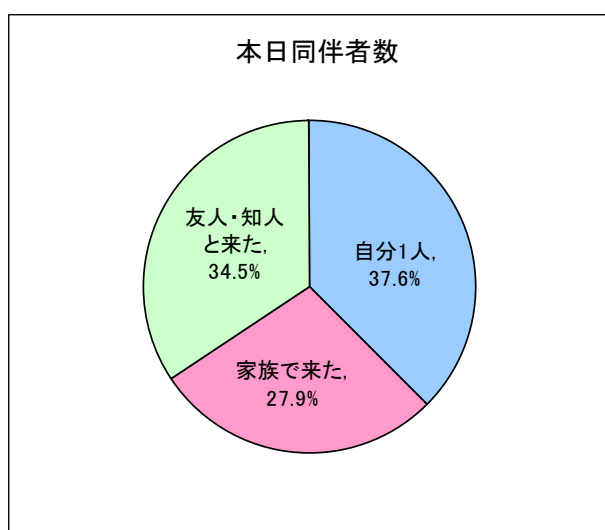
※未回答430



本日同伴者数

	数	比率
自分1人	1,278	37.6%
家族で来た	951	27.9%
友人・知人と来た	1,172	34.5%
合計	3,401	100.0%

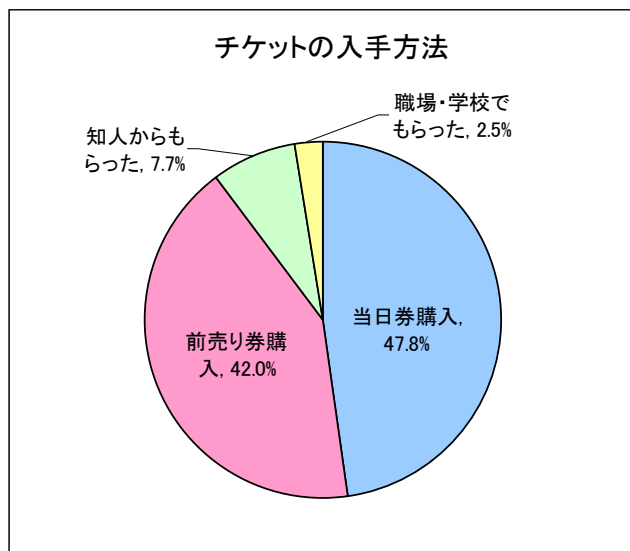
※未回答380



チケットの入手方法

	数	比率
当日券購入	1,573	47.8%
前売り券購入	1,381	42.0%
知人からもらった	253	7.7%
職場・学校でもらった	84	2.5%
合計	3,291	100.0%

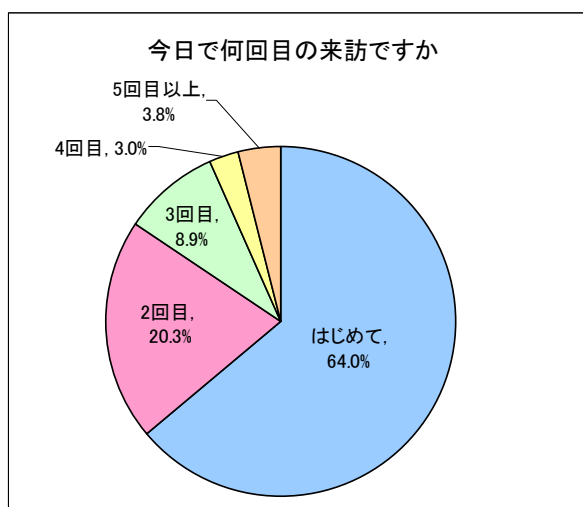
※未回答490



今日で何回目の来訪か

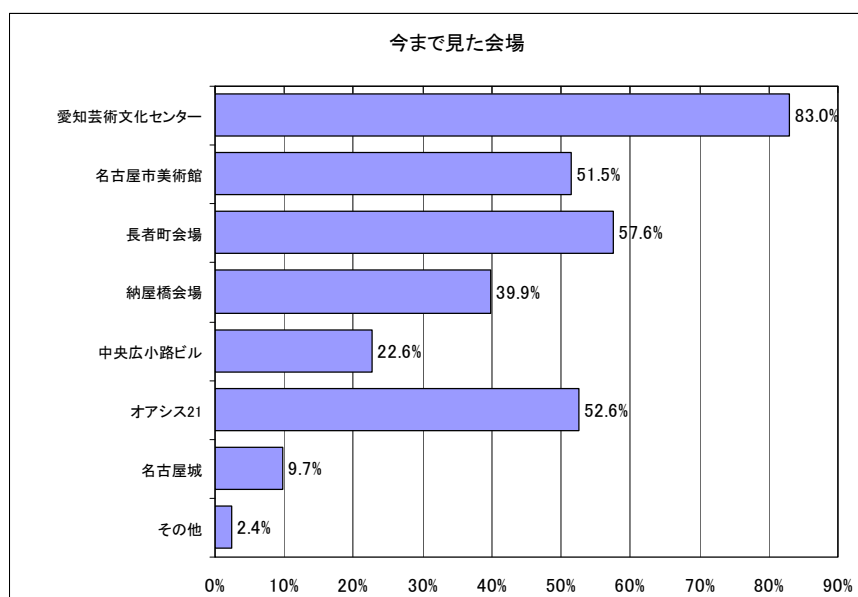
	数	比率
はじめて	2,323	64.0%
2回目	739	20.3%
3回目	325	8.9%
4回目	108	3.0%
5回目以上	137	3.8%
合計	3,632	100.0%

※未回答149



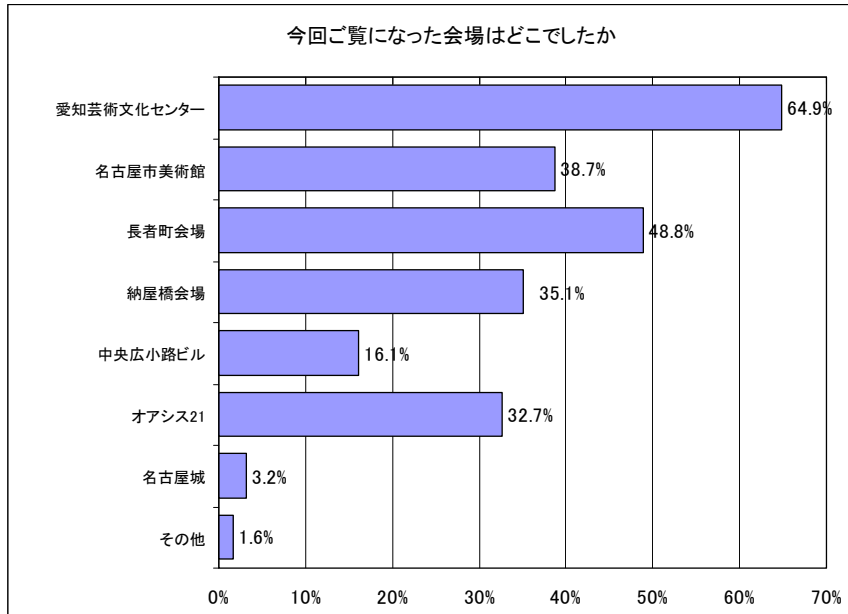
今まで見た会場 (複数回答可)

	数	比率
愛知芸術文化センター	3,119	83.0%
名古屋市美術館	1,933	51.5%
長者町会場	2,165	57.6%
納屋橋会場	1,500	39.9%
中央広小路ビル	849	22.6%
オアシス21	1,975	52.6%
名古屋城	366	9.7%
その他	92	2.4%
合計	11,999	



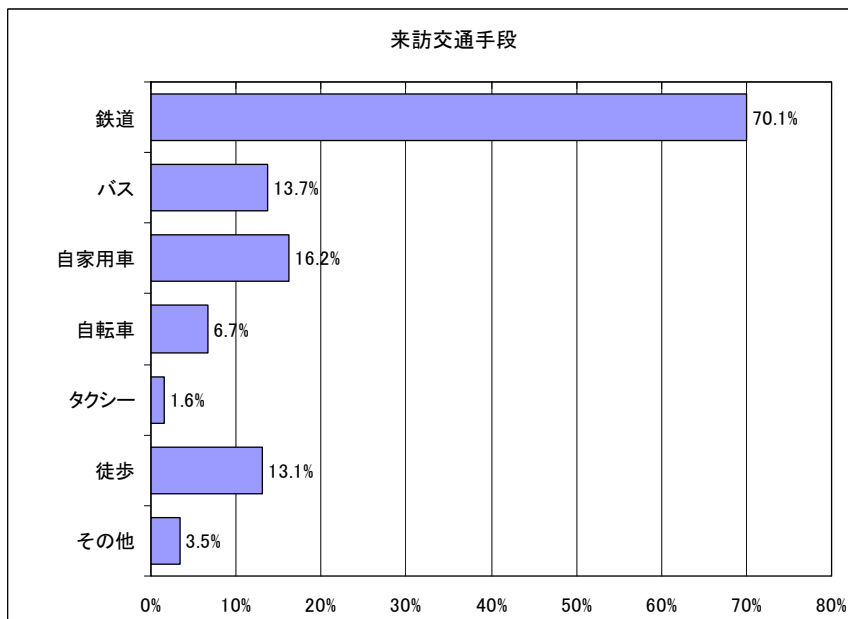
今回ご覧になった会場 (今日1日で複数会場見た場合は全て回答)

	数	比率
愛知芸術文化センター	2,196	64.9%
名古屋市美術館	1,308	38.7%
長者町会場	1,653	48.8%
納屋橋会場	1,189	35.1%
中央広小路ビル	544	16.1%
オアシス21	1,106	32.7%
名古屋城	109	3.2%
その他	54	1.6%
合計	8,159	



来訪交通手段

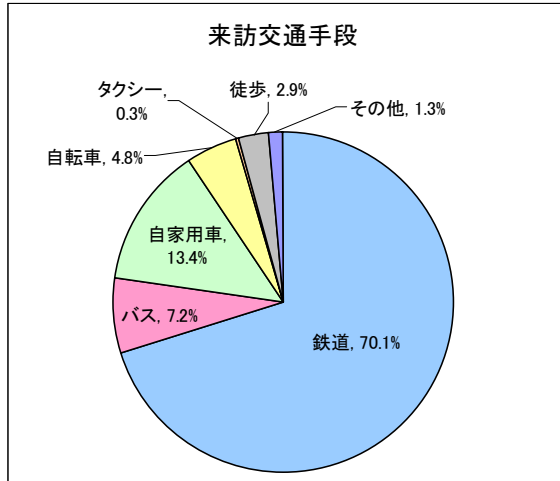
	数	比率
鉄道	2,380	70.1%
バス	467	13.7%
自家用車	551	16.2%
自転車	227	6.7%
タクシー	54	1.6%
徒歩	445	13.1%
その他	118	3.5%
合計	4,242	



■1 回答とした場合（鉄道を優先）

	数	比率
鉄道	2,381	70.1%
バス	244	7.2%
自家用車	454	13.4%
自転車	165	4.8%
タクシー	11	0.3%
徒歩	98	2.9%
その他	44	1.3%
合計	3,397	100.0%

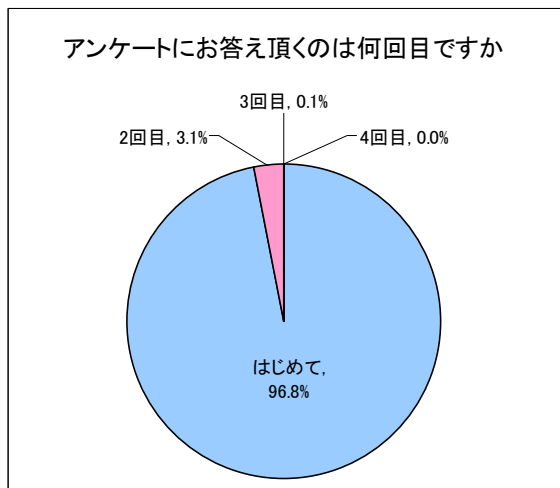
※未回答384



このアンケートにお答え頂くのは何回目か

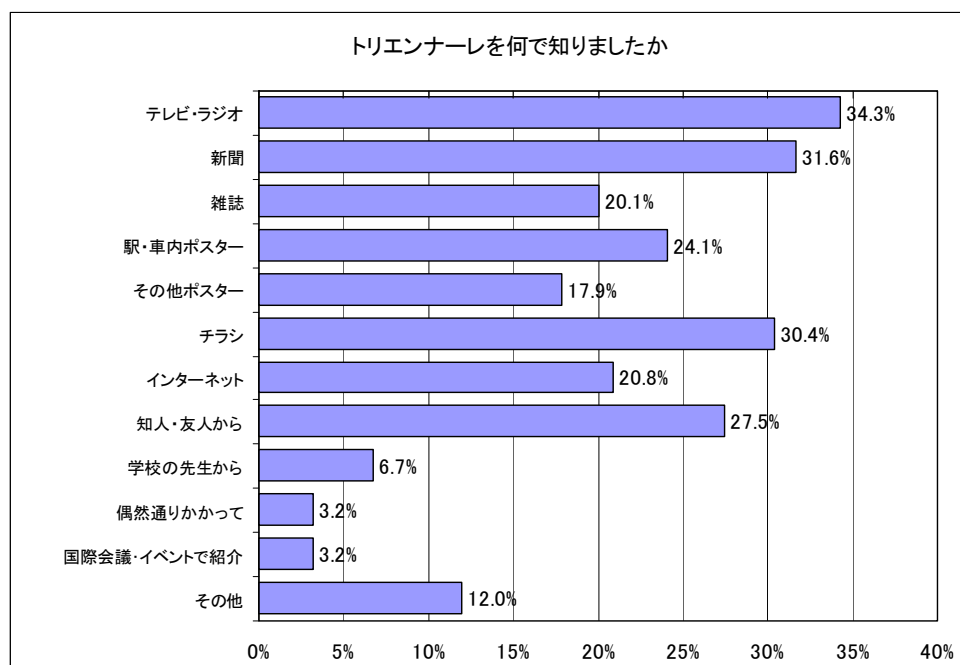
	数	比率
はじめて	3,280	96.8%
2回目	104	3.1%
3回目	3	0.1%
4回目	1	0.0%
合計	3,388	100.0%

※未回答393



あいちトリエンナーレを何で知ったか(複数回答可)

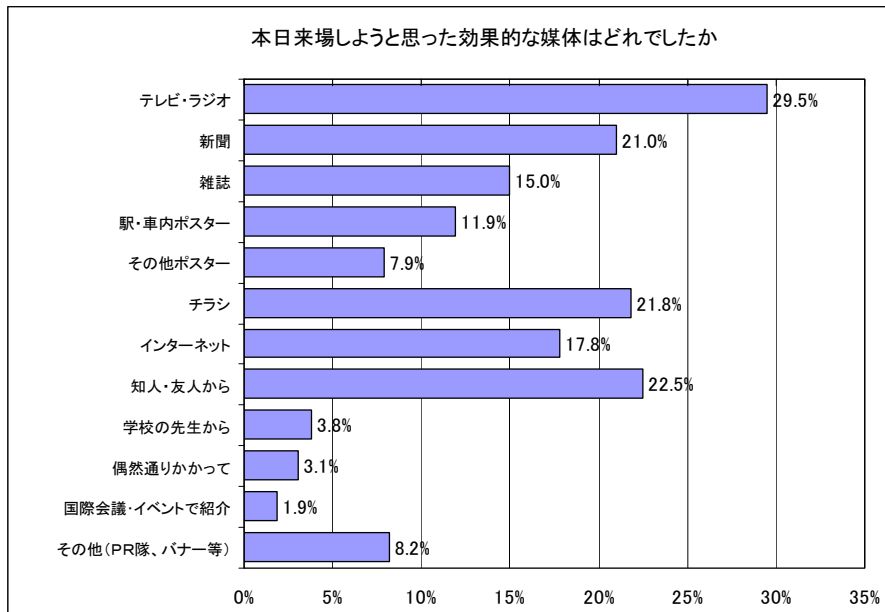
	数	比率
テレビ・ラジオ	1,289	34.3%
新聞	1,190	31.6%
雑誌	755	20.1%
駅・車内ポスター	907	24.1%
その他ポスター	673	17.9%
チラシ	1,142	30.4%
インターネット	784	20.8%
知人・友人から	1,034	27.5%
学校の先生から	253	6.7%
偶然通りかかって	121	3.2%
国際会議・イベントで紹介	120	3.2%
その他	451	12.0%
合計	8,719	



「本日来場しよう」と思った効果的な媒体 (最大2つ)

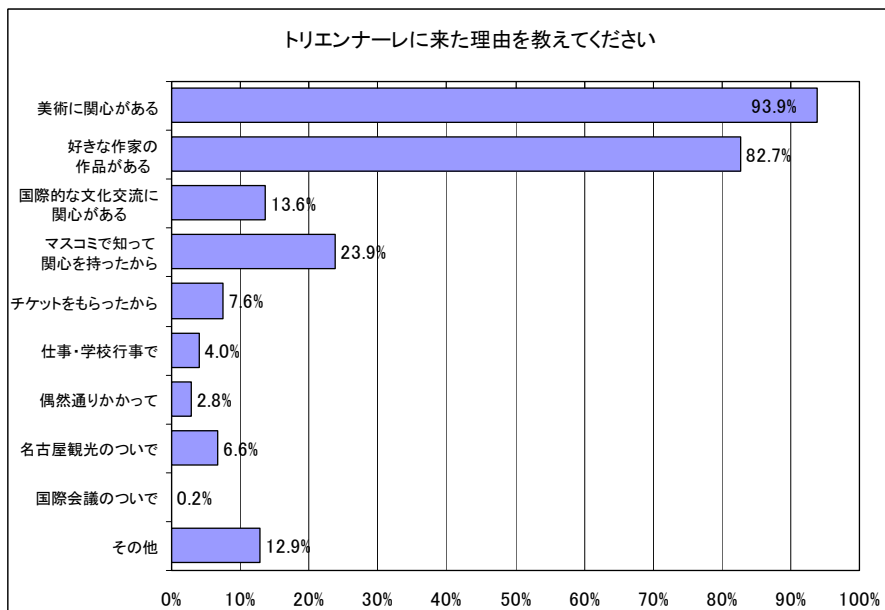
	数	比率
テレビ・ラジオ	1,056	29.5%
新聞	752	21.0%
雑誌	537	15.0%
駅・車内ポスター	427	11.9%
その他ポスター	284	7.9%
チラシ	782	21.8%
インターネット	639	17.8%
知人・友人から	805	22.5%
学校の先生から	136	3.8%
偶然通りかかって	110	3.1%
国際会議・イベントで紹介	68	1.9%
その他(PR隊、バナー等)	293	8.2%
合計	5,889	

※未回答196



あいちトリエンナーレに来た理由 (複数回答可)

	数	比率
美術に関心がある	3,448	93.9%
好きな作家の作品がある	3,038	82.7%
国際的な文化交流に関心がある	500	13.6%
マスコミで知って関心を持ったから	877	23.9%
チケットをもらったから	278	7.6%
仕事・学校行事で	146	4.0%
偶然通りかかって	104	2.8%
名古屋観光のついで	244	6.6%
国際会議のついで	8	0.2%
その他	474	12.9%
合計	9,117	



(8) コメント抜粋

・とにかく続けることが大事だと思います。芸術、文化への投資は、真っ先に削られがちですが、それが有効に使われれば非常に大きな効果を生みます。知恵を出し合い、毎回見る人を驚かせる「あいちトリエンナーレ」を開いてください。3回目には都市の文化になります。あとは、より良いサポーターを一人でも育てることでしょうか。

・「3年後も愛知にトリエンナーレを」と思い希望を持って毎日を送り、各関係者の方達にありがとうございます。

(スタッフについて)

・ボランティアで活躍されている方々の素晴らしい対応に、本当に感謝。次回のトリエンナーレでは自分も何か協力してみたい。

・スタッフ、ボランティアの対応は良いが、トリエンナーレの事をあまり知ってなくて意外でした。

・スタッフや関係者の人が親切で良かった。すごく楽しかったです。ありがとうございました！！

・ボランティアさんにしっかりしたマニュアルがあるといい。ボランティアの方でいいかげんな対応の方もいました。一方、大変良くして下さる方もいました。

(開催時期)

・とにかく暑かった。街中のモノは歩いて回ってみるので、今回はあきらめました。軽く歩いて温くなるような季節の方が・・・と思いました。

・期間中はできたら休館日をなくして、主要な会場はOPENして欲しい。

(会場)

・会場が数か所に分散していて見て回るのに時間がかかり効率が悪い。会場は一か所かせいぜい二か所にまとめた方が、疲れも少なく良い。

・同じチケットで入場できる会場を名古屋以外にも設定したほうが、あいちトリエンナーレらしいのではないのでしょうか？その地域の活性化にもつながると思います。

(会場の案内、地図)

・長者町会場の展示場所がハッキリしない。入口にのぼり等立ててほしい。日曜日に参加したが、閉まっている会場が多くあった。

・ガイドブックがなくても、だいたい分かるようにしてほしい。入場のシステム(チケットの有無、有料、無料)や場所も分かりにくい。

・ポケットマップでの地図をもう少し詳細にしていただけると迷いにくいと思います。(会場以外の建物名をもう少し記入してもらおうなど)。公式ホームページで得られる情報が少なかった。来てみないとわからないことが多かった。

(PR)

・もっと認知度があがるとよい。TVでのPRなどをもっとするとか。

・もっとPRをした方が良い。もっとたくさんの人に参加してもらいたい。

(作品の説明)

・写真撮影ができれば良い。絵画等の説明がキャプションに少しあると良いと思う。

・ひとつひとつの作品に解説がほしい。わからない作品が多い。

(ペロタクシー)

・ペロタクシーが良かった。もう少し台数を増やせば移動に使いやすくなる。

・街中のイベントを増やしてください。ペロタクシーとプリウスに乗りました。楽しかったので、ああいふ形のサービス続けて下さい。

2-2 劇場公演

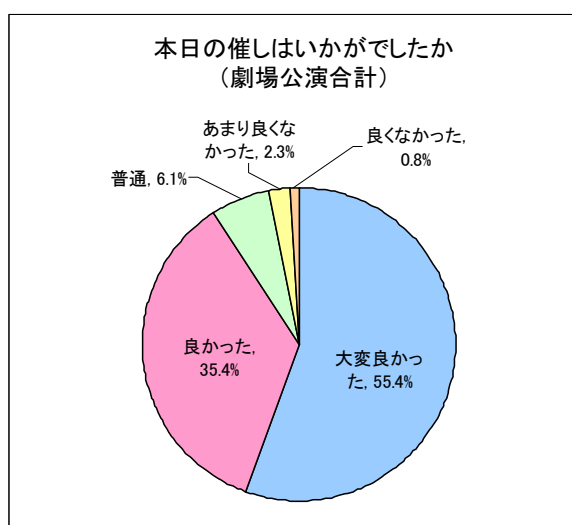
実施時期	8月21日～10月31日(各公演開催日)
調査対象	劇場公演鑑賞者
配布・回収方法	各公演の来場者に配布し、会場にて回収
回収数	920

(1) 感想

本日の催しはどうだったか

	数	比率
大変良かった	470	55.4%
良かった	300	35.4%
普通	52	6.1%
あまり良くなかった	19	2.3%
良くなかった	7	0.8%
合計	848	100.0%

※未回答72

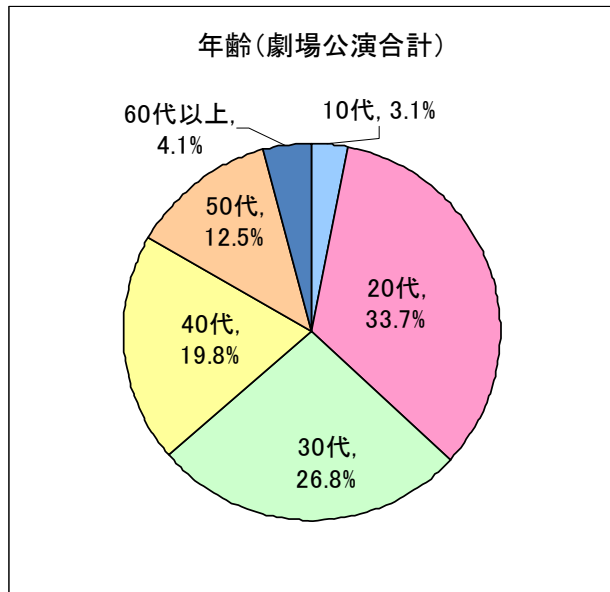


(2) 属性

年齢

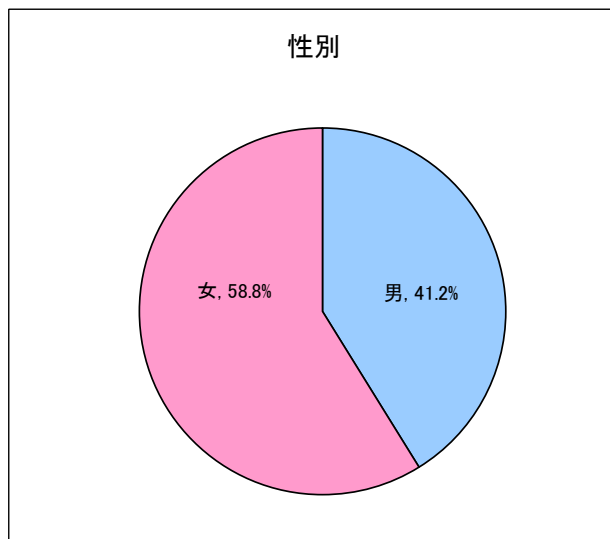
	数	比率
10代	28	3.1%
20代	297	33.7%
30代	236	26.8%
40代	174	19.8%
50代	110	12.5%
60代以上	36	4.1%
計	881	100.0%

※未回答39



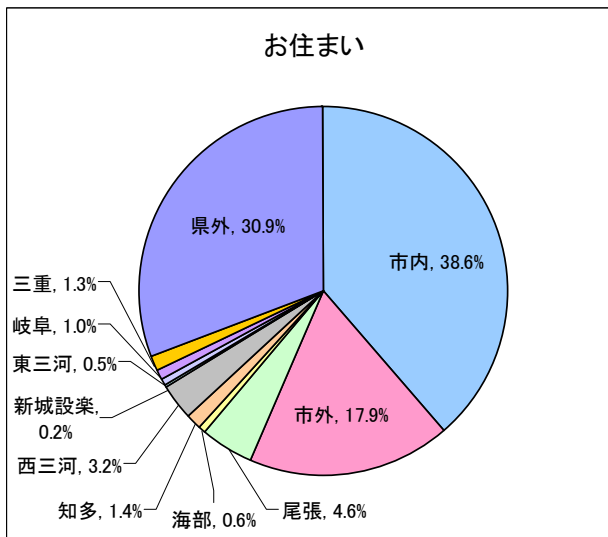
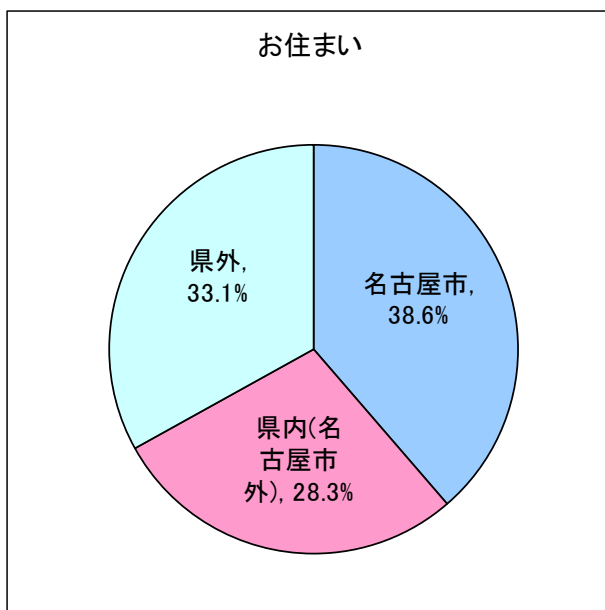
性別

	計	比率
男	287	41.2%
女	409	58.8%
合計	696	100.0%



お住まい

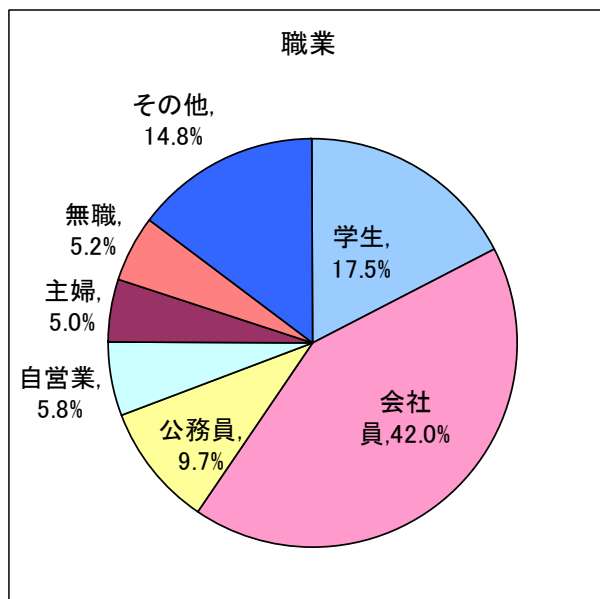
	計	比率
市内	339	38.6%
市外	157	17.9%
尾張	40	4.6%
海部	5	0.6%
知多	12	1.4%
西三河	28	3.2%
新城設楽	2	0.2%
東三河	4	0.5%
岐阜	9	1.0%
三重	11	1.3%
県外	271	30.9%
合計	878	100.0%



職業

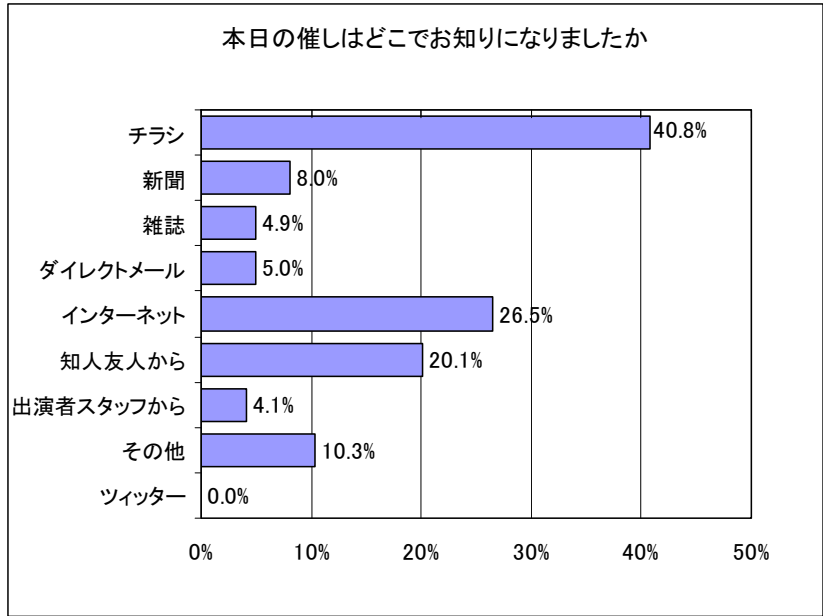
	数	比率
学生	148	17.5%
会社員	354	42.0%
公務員	82	9.7%
自営業	49	5.8%
主婦	42	5.0%
無職	44	5.2%
その他	125	14.8%
合計	844	100.0%

※未回答76



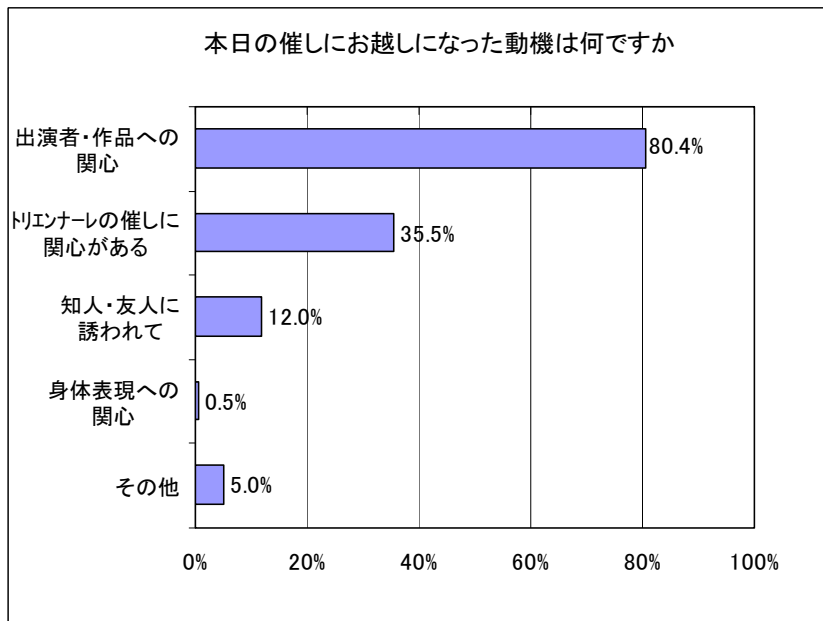
どこで知ったか(複数回答可)

	数	比率
チラシ	375	40.8%
新聞	74	8.0%
雑誌	45	4.9%
ダイレクトメール	46	5.0%
インターネット	244	26.5%
知人友人から	185	20.1%
出演者スタッフから	38	4.1%
その他	95	10.3%
ツイッター	0	0.0%



鑑賞動機（複数回答可）

	数	比率
出演者・作品への関心	740	80.4%
トリエンナーレの催しに関心がある	327	35.5%
知人・友人に誘われて	110	12.0%
身体表現への関心	5	0.5%
その他	46	5.0%



(3) コメント抜粋

(劇場公演)

- ・初めて見たのですが、内容難しかったです。でも、見やすいと思いました。ロボットにあまり違和感を感じない気もしましたが、独特の言い回しなどロボットだからこそ笑いが起きるということもあるのだと思いました。(平田オリザ+石黒浩研究室(大阪大学)「ロボット版『森の奥』」)
- ・1作目は、映像と動きの錯覚がスゴイ!!と思いました。2作目は、動きがすごく早くてびっくりしました。(梅田宏明「Adapting for Distortion / Haptic」)
- ・遠方からでは日帰りか1泊が限度です。1日に2演目(例えばダンスと演劇)を見られるようなプログラムを組んでもらえるとありがたいです。(ヤン・ファール「Another Sleepy Dusty Delta Day~またもけだるい灰色のデルタデー」)
- ・すごく間が多く、舞台の雰囲気と言葉によって作られるイメージと自分のイメージがぶつかって(いい意味で)色んな事が頭の中で起きました。面白かったです。ありがとうございました。(チェルフィッチュ「わたしたちは無傷な別人である」)
- ・一列目でみさせていただきましたが、アンドロイドがまばたきしてこちらを見ていると本当の人間に見つめられている気がしました。平田さんと石黒先生にはロボット演劇の最先端を走り続けて、また愛知にもってきてほしいです。(平田オリザ+石黒浩研究室(大阪大学&ATR 知能ロボティクス研究所) アンドロイド演劇「さようなら」)
- ・ものすごいエネルギーを感じた。クラシックがルノアールとかだったら、この演技はピカソのようなデフォルメの中に深い何かが潜んでいるような不思議な世界を思わせるものだった。(ニブロール「THIS IS WEATHER NEWS」)
- ・ローザスの公演をあいちトリエンナーレでやって頂いてよかった。今日は見に来る予定ではなかったが、急遽当日券に並んで、見られたのでより楽しめた。ドライアップシートも楽しみです。トリエンナーレ、3年後もいい公演を期待します。(ローザス「ローザス・ダンス・ローザス Rosas danst Rosas」)
- ・作者の身体と言葉に対する考えを伺うことができ、有意義だった。(ヤン・ファール公演関連企画「カンパニーメンバーによるワークショップ」)
- ・やはりマーラーは眠たくなってしまう。しかし、ピアノだけを伴奏にアンヌ・テレサが歌い始めると、目が離せなくなりました。アンサンブル・イクトゥスの演奏は贅沢な捨て駒のようで、それがあから最後の一歩が気がならない。(アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル+ジェローム・ベル+アンサンブル・イクトゥス「3Abschied ドライアップシート(3つの別れ)」)

(オペラ「ホフマン物語」)

- ・この大ホールで回転舞台装置をフルに使ったオペラは初めてではないか!!
- ・メトロポリタンオペラで観た時と、優るとも劣らないすばらしい舞台で感動しました。衣裳、装置、合唱、ソロともなかなかそろわず、日本では滅多に上演されない演目だけに希少価値で、新幹線代を使っても来てよかったです。

2-3 まちなかパフォーマンス

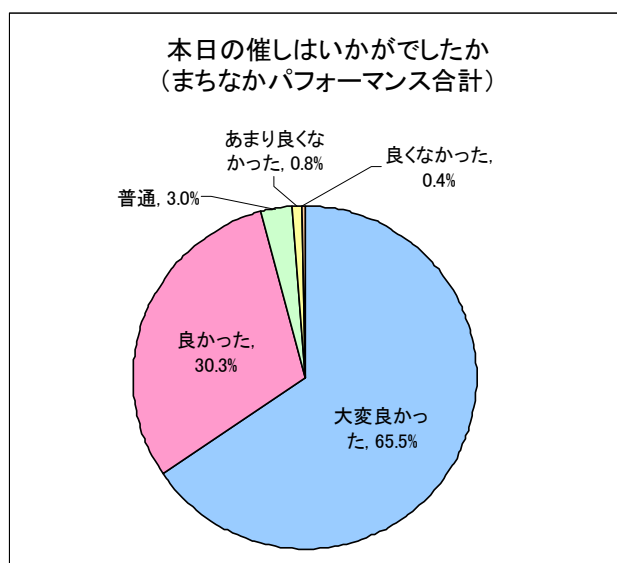
実施時期	8月21日～10月31日(各公演・プログラム開催日)
調査対象	まちなかパフォーマンスへの来場者
配布・回収方法	プログラムの来場者に配布し、会場にて回収
回収数	計 279

(1) 感想

本日の催しはどうだったか

	数	比率
大変良かった	171	65.5%
良かった	79	30.3%
普通	8	3.0%
あまり良くなかった	2	0.8%
良くなかった	1	0.4%
合計	261	100.0%

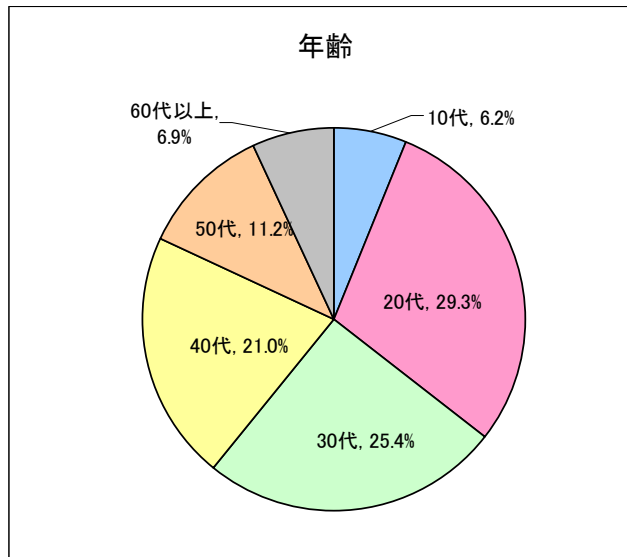
※未回答18



(2) 属性

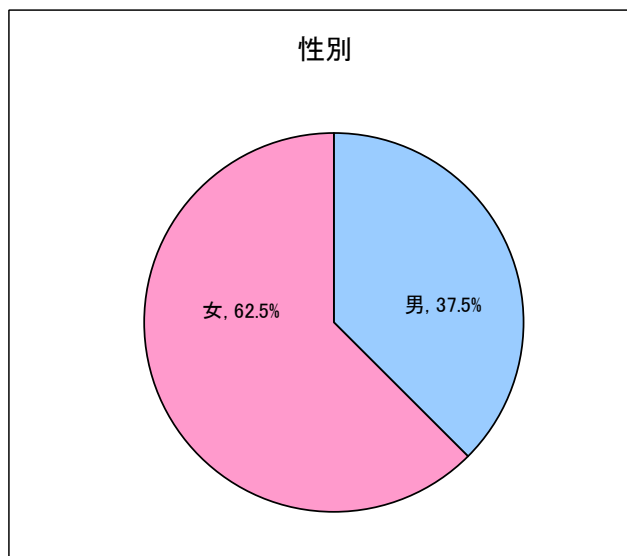
年齢

	計	比率
10代	17	6.2%
20代	81	29.3%
30代	70	25.4%
40代	58	21.0%
50代	31	11.2%
60代以上	19	6.9%
合計	881	100.0%



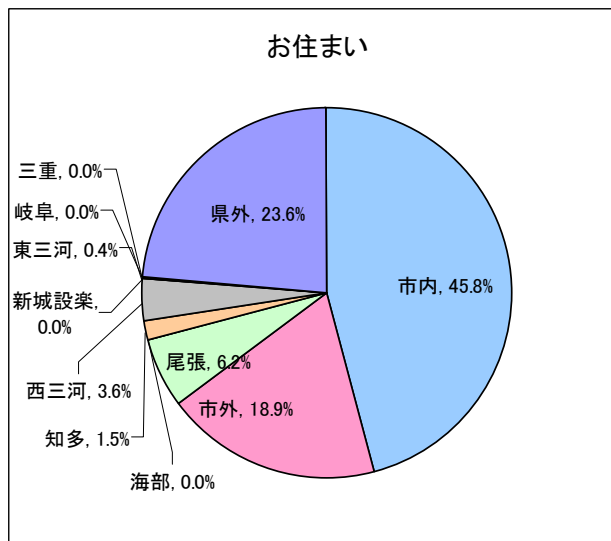
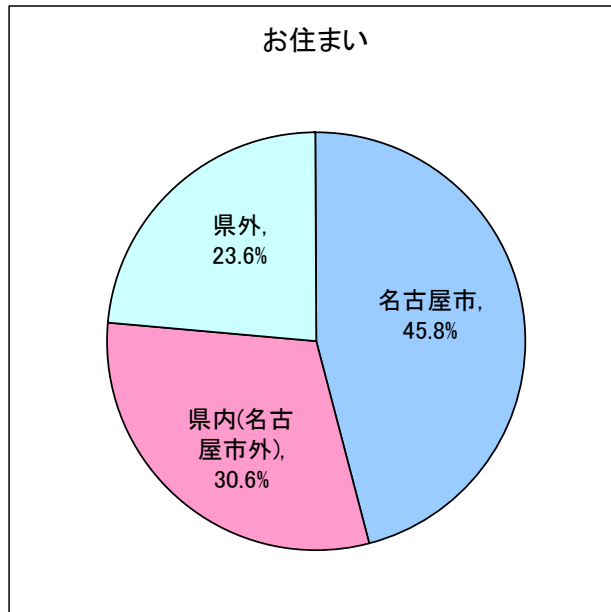
性別

	計	比率
男	69	37.5%
女	115	62.5%
合計	184	100.0%



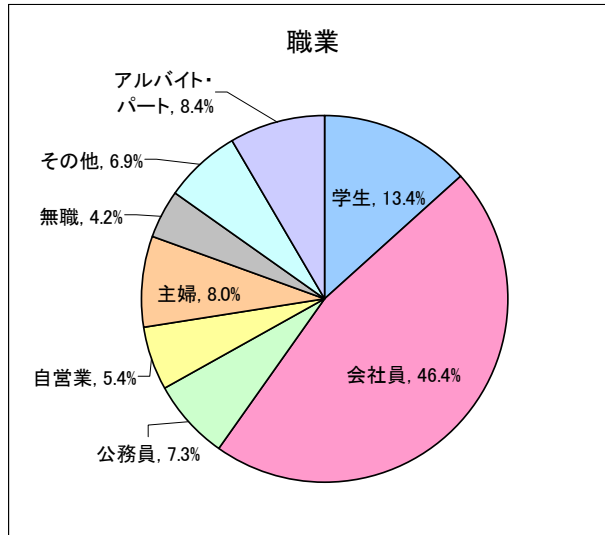
お住まい

	計	比率
市内	126	45.8%
市外	52	18.9%
尾張	17	6.2%
海部	0	0.0%
知多	4	1.5%
西三河	10	3.6%
新城設楽	0	0.0%
東三河	1	0.4%
岐阜	0	0.0%
三重	0	0.0%
県外	65	23.6%
合計	275	100.0%



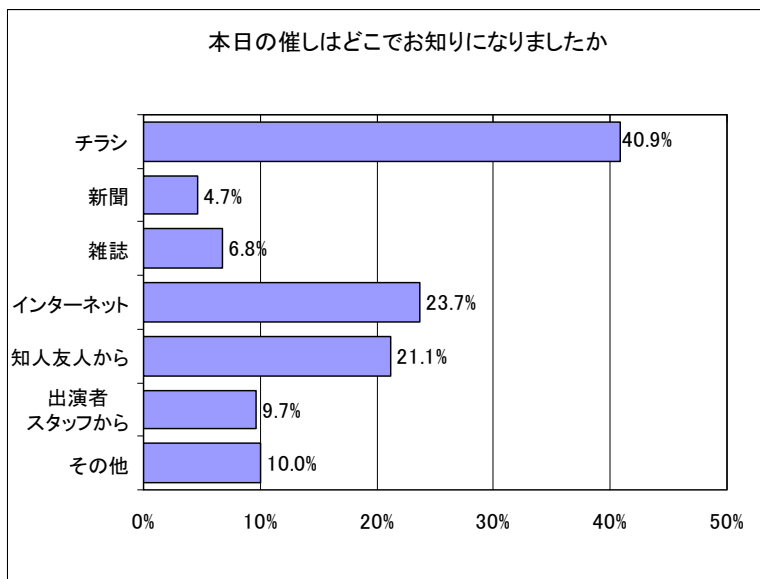
職業

	計	比率
学生	35	13.4%
会社員	121	46.4%
公務員	19	7.3%
自営業	14	5.4%
主婦	21	8.0%
無職	11	4.2%
その他	18	6.9%
アルバイト・パート	22	8.4%
合計	261	100.0%



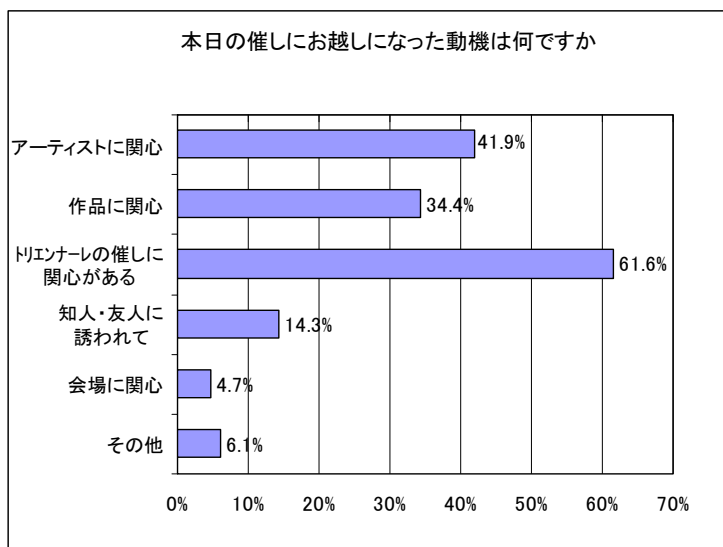
どこで知ったか（複数回答可）

	数	比率
チラシ	114	40.9%
新聞	13	4.7%
雑誌	19	6.8%
インターネット	66	23.7%
知人友人から	59	21.1%
出演者スタッフから	27	9.7%
その他	28	10.0%



鑑賞動機（複数回答可）

	数	比率
アーティストに関心	117	41.9%
作品に関心	96	34.4%
トリエンナーレの催しに関心がある	172	61.6%
知人・友人に誘われて	40	14.3%
会場に関心	13	4.7%
その他	17	6.1%



(3) コメント抜粋

- ・何回かゴンゾを見ている。今日は生々しさがすごくあって、緊張感もあって変な感じで面白かったです。ところどころに出てくる枝？っぽいのもいい感じに決まっています。楽しかったです。(コンタクト・ゴンゾ)
- ・社員の方々が上手に演技していて面白かったです。社歌を歌うときおじさんが横を向いてちゃんと歌っているところが良かったです。(まことクラヴ)
- ・プールを使ってこんなに楽しいパフォーマンスが出来るとも面白かった。並んで行進している姿がかわいい。(野村誠)

2-4 子供来場者（国際美術展）

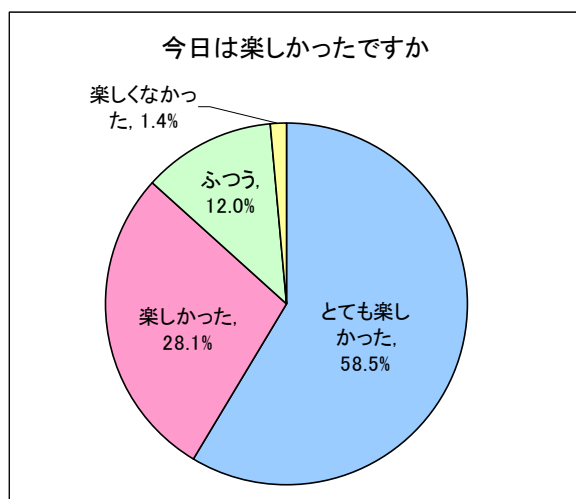
実施時期	8月22日～10月17日
調査対象	学校向け教育プログラムに参加、又は国際美術展に来場した子ども（中学生以下）
配布・回収方法	学校向け教育プログラム参加校を抽出し、参加した児童・生徒に対し配布・回収した。また、主要4会場においてヒアリングを行った
回収数	1,269

（1）感想

今日は楽しかったか

	数	比率
とても楽しかった	738	58.5%
楽しかった	354	28.1%
ふつう	152	12.0%
楽しなかった	18	1.4%
合計	1,262	100.0%

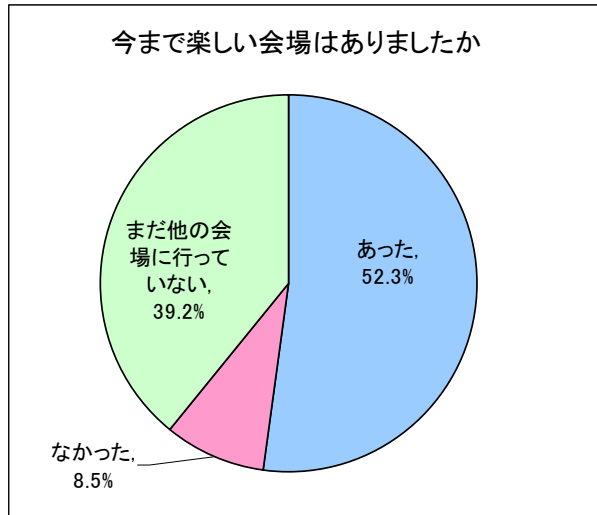
※未回答7



今まで楽しい会場はあったか

	数	比率
あった	650	52.3%
なかった	106	8.5%
まだ他の会場に行っていない	488	39.2%
合計	1,244	100.0%

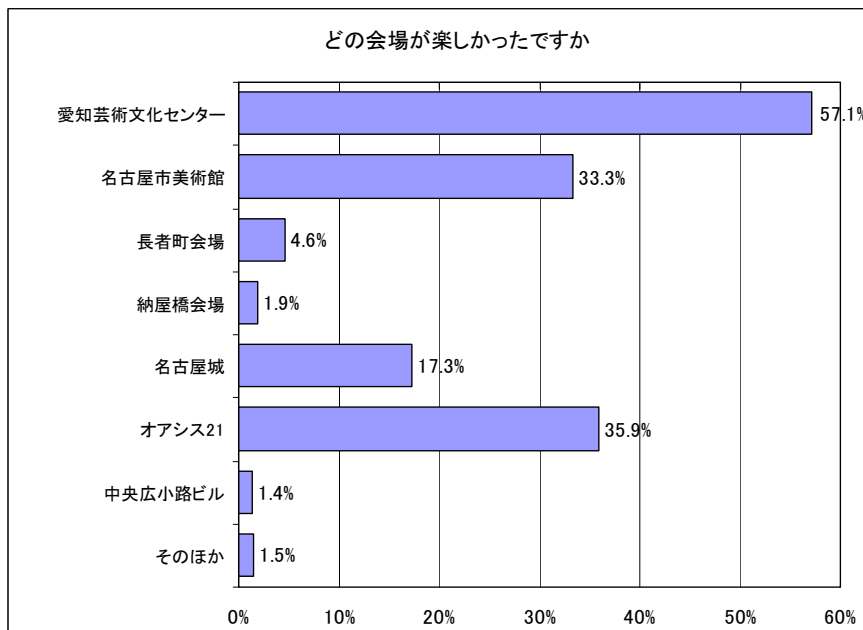
※未回答25



どの会場が楽しかったか (複数回答可)

	数	比率
愛知芸術文化センター	369	57.1%
名古屋市美術館	215	33.3%
長者町会場	30	4.6%
納屋橋会場	12	1.9%
名古屋城	112	17.3%
オアシス21	232	35.9%
中央広小路ビル	9	1.4%
そのほか	10	1.5%
合計	989	100.0%

※未回答4

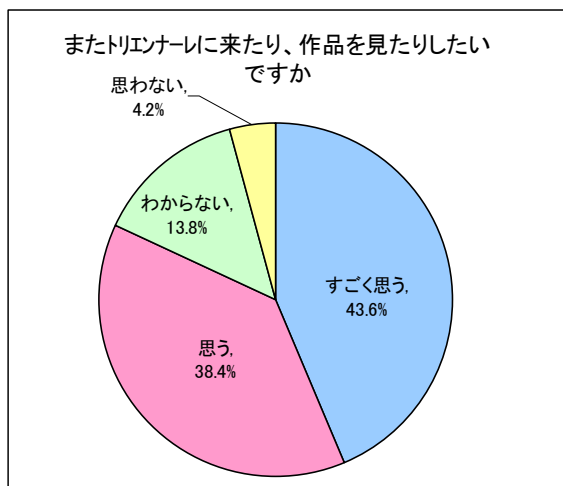


(2) 再来訪の意向

またトリエンナーレに来たり、作品を見たいと思うか

	数	比率
すごく思う	548	43.6%
思う	482	38.4%
わからない	174	13.8%
思わない	53	4.2%
合計	1,257	100.0%

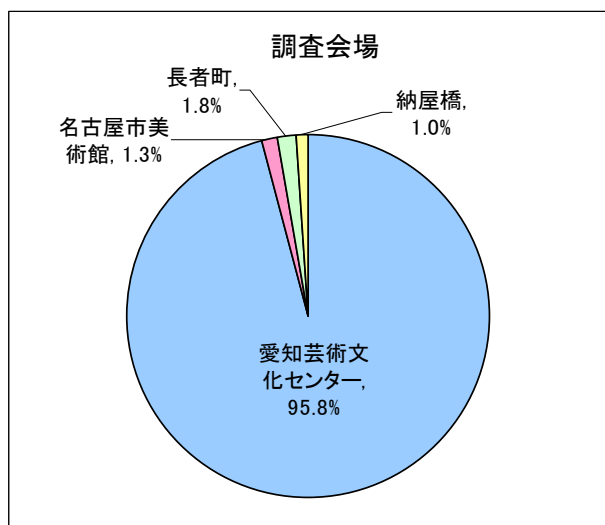
※未回答12



(3) 属性

調査会場

	数	比率
愛知芸術文化センター	1216	95.8%
名古屋市美術館	17	1.4%
長者町	23	1.8%
納屋橋	13	1.0%
合計	1,269	100.0%

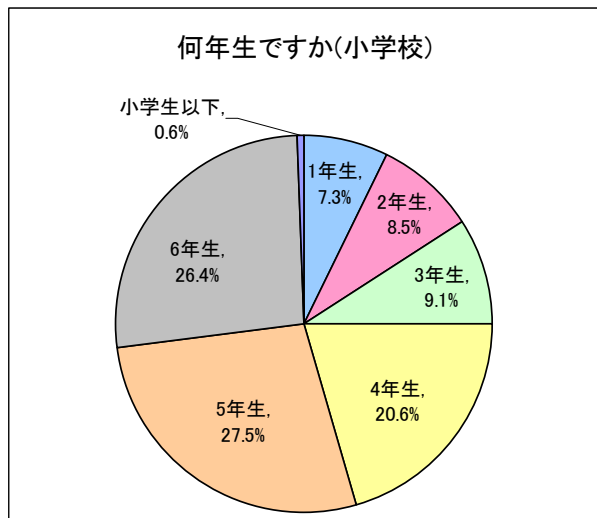


学年

■ 小学校

	数	比率
1年生	73	7.3%
2年生	85	8.5%
3年生	90	9.1%
4年生	205	20.6%
5年生	273	27.5%
6年生	262	26.4%
小学生以下	6	0.6%
合計	994	100.0%

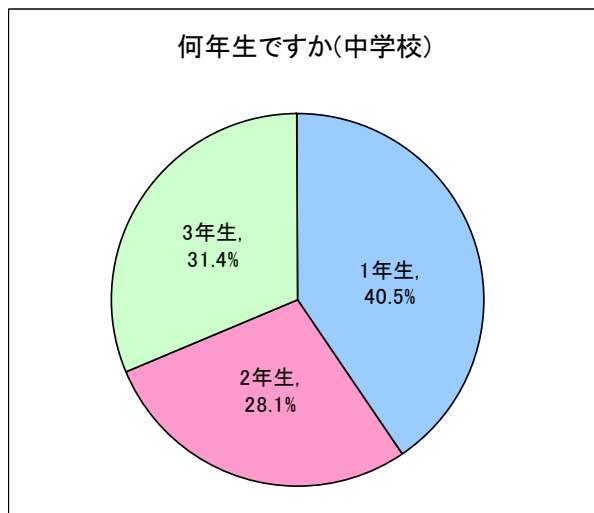
※未回答1



■ 中学校

	数	比率
1年生	111	40.5%
2年生	77	28.1%
3年生	86	31.4%
合計	274	100.0%

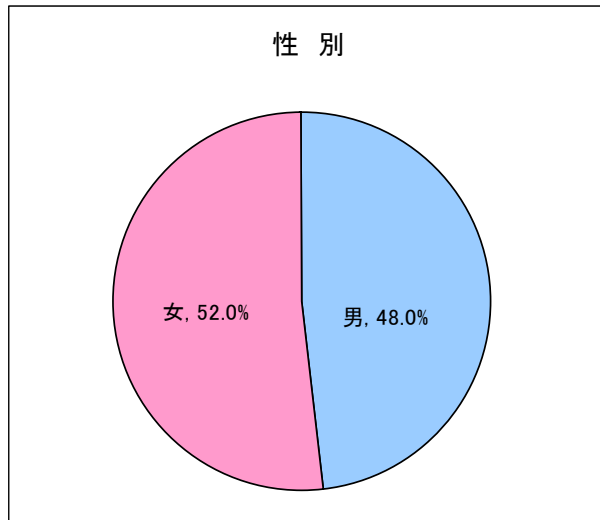
※未回答1



性別

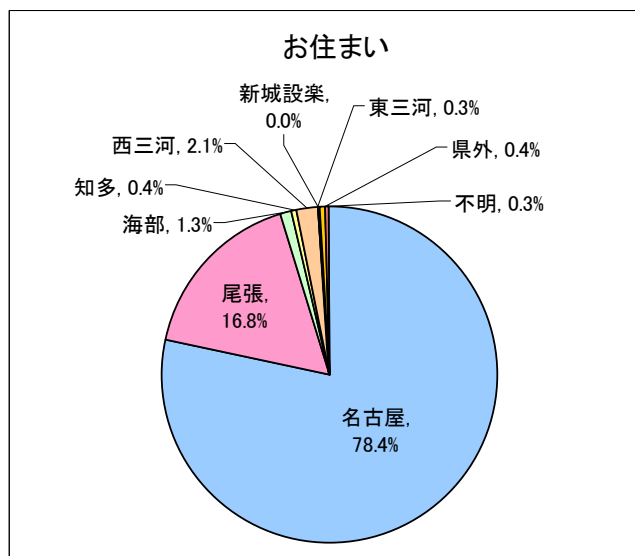
	数	比率
男	607	48.0%
女	657	52.0%
合計	1,264	100.0%

※未回答5



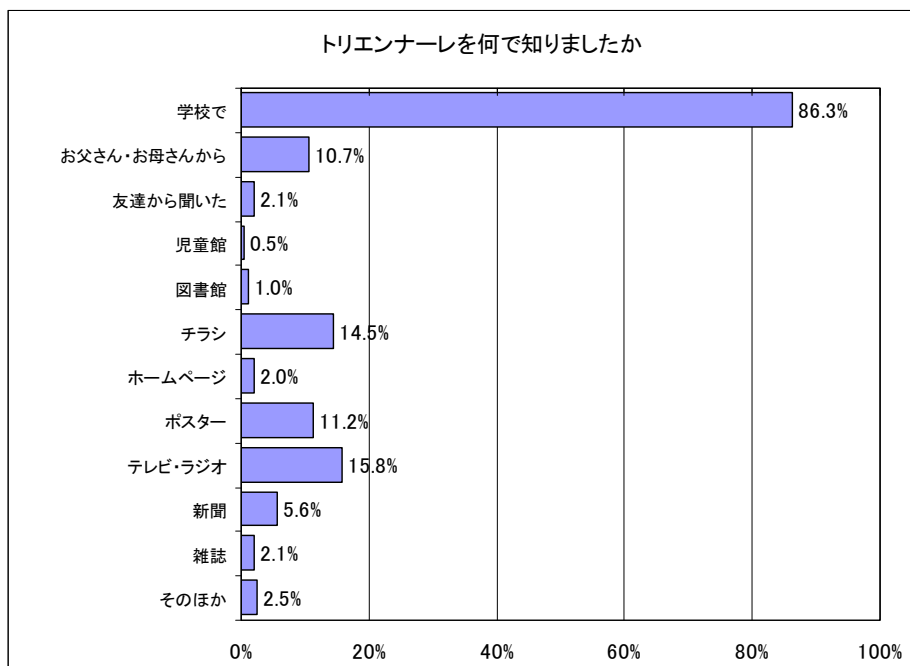
お住まい

	数	比率
名古屋	995	78.4%
尾張	213	16.8%
海部	16	1.3%
知多	5	0.4%
西三河	27	2.1%
新城設楽	0	0.0%
東三河	4	0.3%
県外	5	0.4%
不明	4	0.3%
合計	1,269	100.0%



トリエンナーレを何で知ったか(複数回答可)

	数	比率
学校で	1,091	86.3%
お父さん・お母さんから	135	10.7%
友達から聞いた	27	2.1%
児童館	6	0.5%
図書館	13	1.0%
チラシ	183	14.5%
ホームページ	25	2.0%
ポスター	142	11.2%
テレビ・ラジオ	200	15.8%
新聞	71	5.6%
雑誌	27	2.1%
そのほか	32	2.5%
合計	1,952	



(4) コメント抜粋

- ・美術館はいつも疲れるけどトリエンナーレは疲れなかった。楽しかった。
- ・木でできた動物が面白かった。
- ・文字が動く床がおもしろかった。文字が自分にうつるのがおもしろい。
- ・自分でも作ってみたいと思った。
- ・よく分からないものが多かった。
- ・芸術に興味はなかったけど、トリエンナーレに来てすごく興味が沸いた。
- ・いつも本で見る作品より、ここで見た作品は迫力があって面白かった。
- ・大人向けのやつがいっぱいあったけど、体験や見れたりして楽しかった。
- ・かぼちゃの作品がよかった。水玉がきれいだった。へちまみたいな大きなのも、ビックリしたよ！
- ・『動物と山』いっぱい動物が出てきて、よかった。いろんな所に隠れていたりして。『ヒーロー』悲しい顔していて、印象的だった。11Fにお花畑は、いっぱいお花があってよかった。
- ・初めて本格的な芸術作品が見られてよかったです。見方を変えてみれば違う絵にもなるとかおもしろい作品などとてもよかったです。
- ・純白のドレスがよかった。

2-5 キッズトリエンナーレ

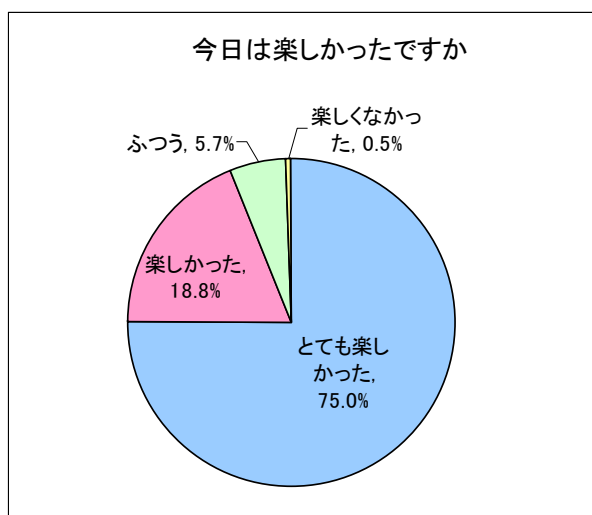
実施時期	8月22日～10月23日
調査対象	キッズトリエンナーレ参加者
配布・回収方法	キッズトリエンナーレ会場において配布し、その場で回収
回収数	604

(1) 感想

今日は楽しかったか

	数	比率
とても楽しかった	446	75.0%
楽しかった	112	18.8%
ふつう	34	5.7%
楽しなかった	3	0.5%
合計	595	100.0%

※未回答9

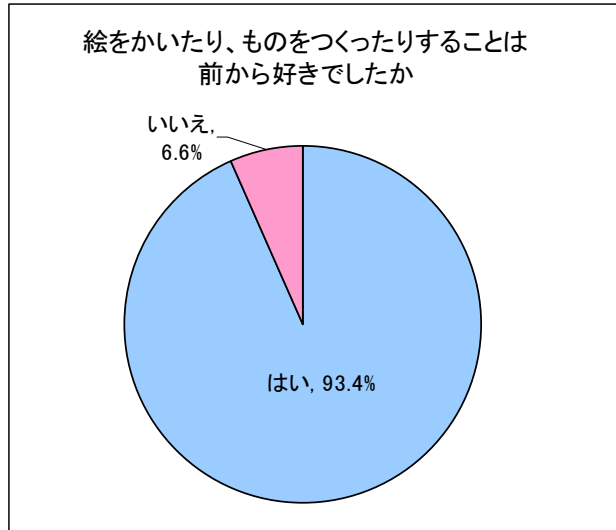


(2) 創作活動に対する認識

絵をかいたり、ものをつくったりすることは前から好きだったか

	数	比率
はい	538	93.4%
いいえ	38	6.6%
合計	576	100.0%

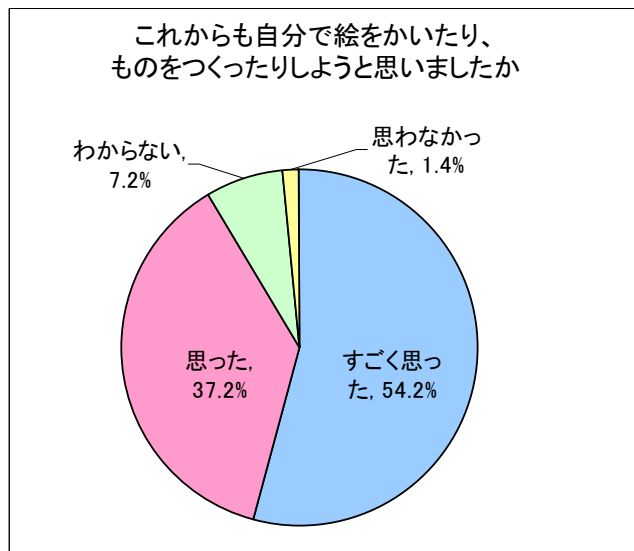
※未回答28



これからも自分で絵をかいたり、ものをつくったりしようと思ったか

	数	比率
すごく思った	322	54.2%
思った	221	37.2%
わからない	43	7.2%
思わなかった	8	1.4%
合計	594	100.0%

※未回答10

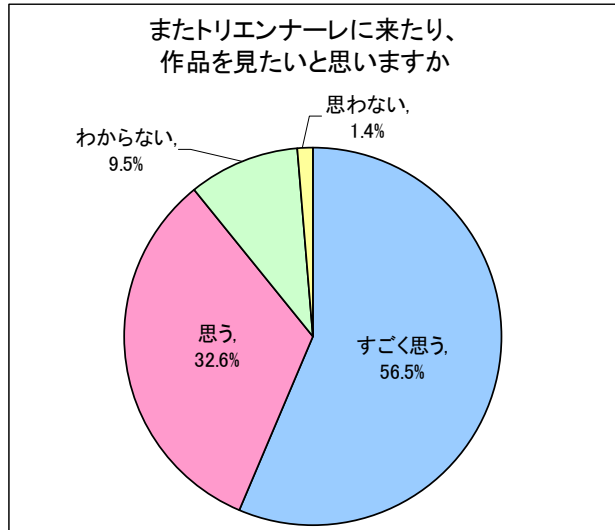


(3) 再来訪の意向

またトリエンナーレに来たり、作品を見たいか

	数	比率
すごく思う	338	56.5%
思う	195	32.6%
わからない	57	9.5%
思わない	8	1.4%
合計	598	100.0%

※未回答6



(4) 属性

プログラム名

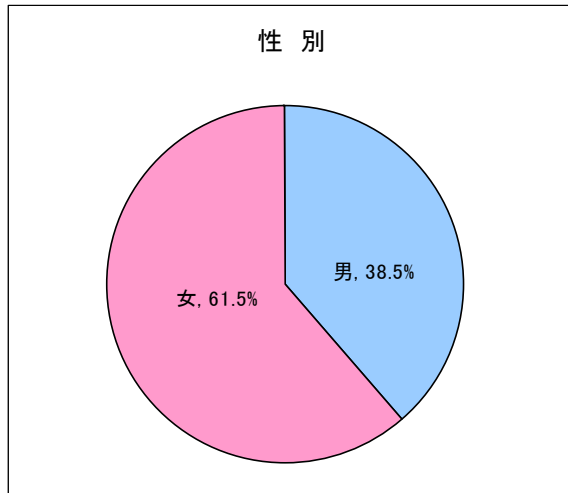
	数	比率
いっしょに見よう!	40	6.6%
いぶし瓦で打楽器作り	22	3.6%
ガーデン・カーテン	14	2.3%
カケラ・ヨ・ツナグ	16	2.6%
キラキラモンスター	17	2.8%
くるくるまきまき	18	3.0%
グルグルワークショップ	12	2.0%
さわる・きる・だきしめる	19	3.1%
シンブン・マウンテン	17	2.8%
フィジカルド・ローイング	17	2.8%
ふしぎなどうぶつえん	18	3.0%
ふしぎのくにへ、ようこそ1 そらはふしぎ	12	2.0%
マイ・文字・オブジェ	16	2.6%
みてる隊	169	28.0%
ラップで遊ぼう	8	1.3%
わたしの継色紙	10	1.7%
音のワークショップ	24	4.0%
感じたままにクリエイク	10	1.7%
禁断の惑星 これもアートか?	21	3.5%
染めの世界	18	3.0%
大きな人の絵	42	7.0%
凸凹ロード	19	3.1%
布のしゃぼん玉	17	2.8%
木炭デッサン	14	2.3%
アートなぼうし	14	2.3%
合計	604	100.0%

※未回答0

性別

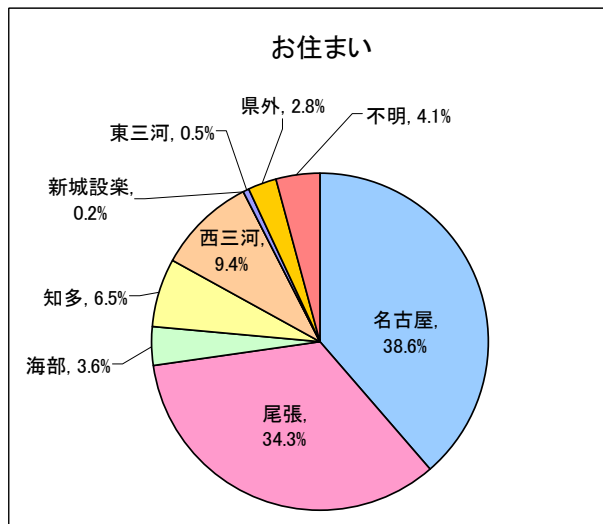
	数	比率
男	232	38.5%
女	371	61.5%
合計	603	100.0%

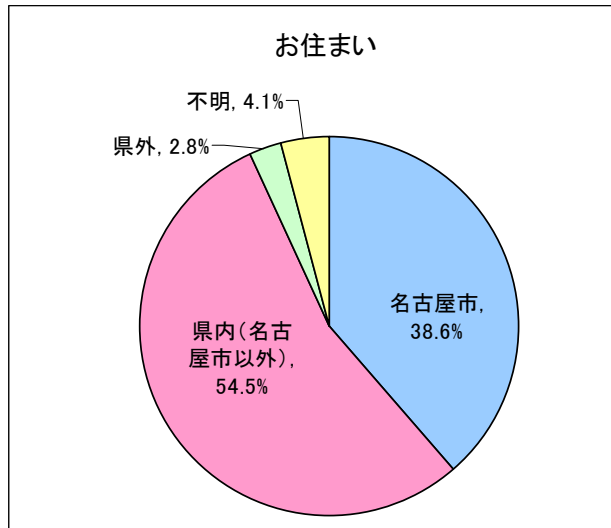
※未回答1



お住まい

	数	比率
名古屋	233	38.6%
尾張	207	34.3%
海部	22	3.6%
知多	39	6.5%
西三河	57	9.4%
新城設楽	1	0.2%
東三河	3	0.5%
県外	17	2.8%
不明	25	4.1%
合計	604	100.0%



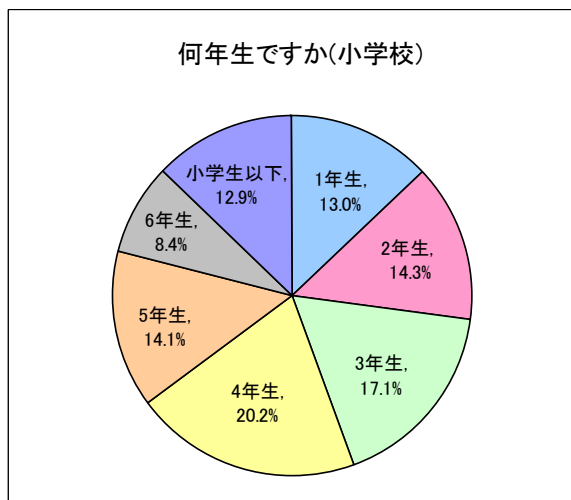


学年

■ 小学校

	数	比率
1年生	73	13.0%
2年生	80	14.3%
3年生	96	17.1%
4年生	113	20.2%
5年生	79	14.1%
6年生	47	8.4%
小学生以下	72	12.9%
合計	560	100.0%

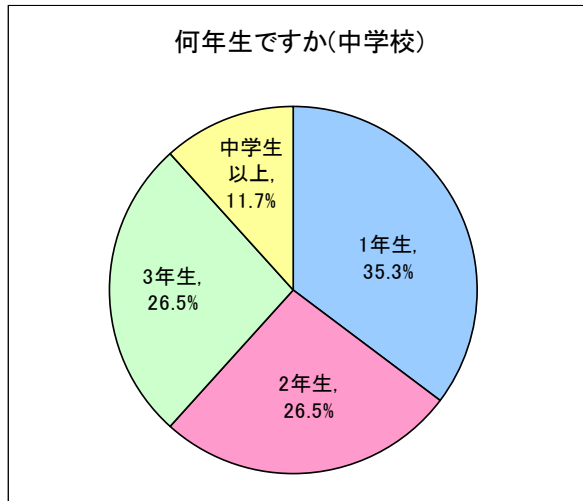
※未回答10



■ 中学校

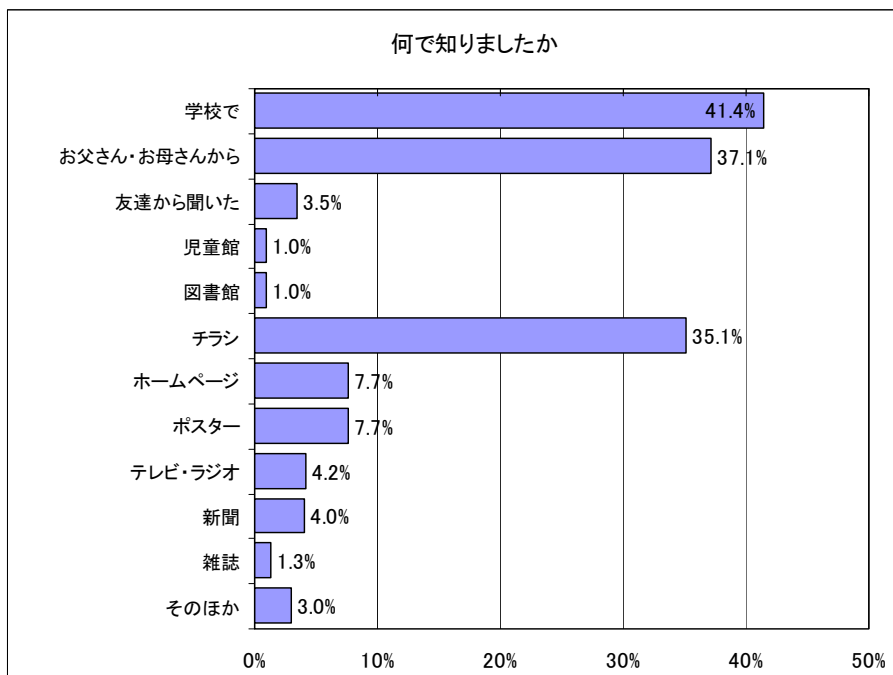
	数	比率
1年生	12	35.3%
2年生	9	26.5%
3年生	9	26.5%
中学生以上	4	11.7%
合計	34	100.0%

※未回答10



何で知ったか (複数回答可)

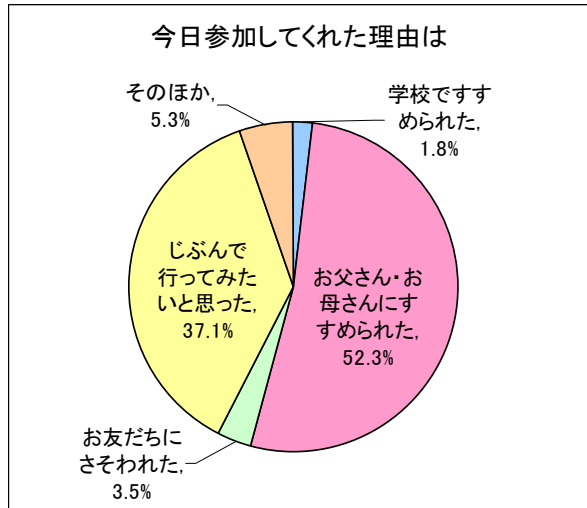
	数	比率
学校で	249	41.4%
お父さん・お母さんから	223	37.1%
友達から聞いた	21	3.5%
児童館	6	1.0%
図書館	6	1.0%
チラシ	211	35.1%
ホームページ	46	7.7%
ポスター	46	7.7%
テレビ・ラジオ	25	4.2%
新聞	24	4.0%
雑誌	8	1.3%
そのほか	18	3.0%
合計	883	



参加理由

	数	比率
学校ですすすめられた	11	1.8%
お父さん・お母さんにすすめられ	316	52.3%
お友だちにさそわれた	21	3.5%
じぶんで行ってみたいと思った	224	37.1%
その他	32	5.3%
合計	604	100.0%

※未回答0



(5) コメント抜粋

(子どもの意見)

- ・最初はこんなこと本当にやっていいの？と思ったけど、やってみると、すごく楽しかった。
- ・とても楽しかった。お母さんに作品を見せたいです。
- ・とてもきれいな作品ができ、いろいろなアイデアがでて楽しかった。
- ・テープをグルグルするのが楽しかったです。手に絵具を付けて、友達と握手するのが、気持ち悪かったけど、楽しかったです。
- ・人の体を描く時が面白かった。
- ・みんなで協力できた。楽しかった。
- ・友達ができてうれしかった。
- ・色を混ぜると、違う色ができて不思議だった。

(保護者の意見)

- ・スタッフの方に大変お世話になりました。楽しい雰囲気があってよかった。
- ・一人で知らない子どもと時を過ごすのは初めての体験。2時間泣かずに「楽しい」と言って参加できた事が、一番の経験になった。
- ・途中でぐずるかなと心配しましたが、絵具でぬる時はキャーキャーと楽しんでいました。母も楽しく参加でき、よかったです。ありがとうございました！

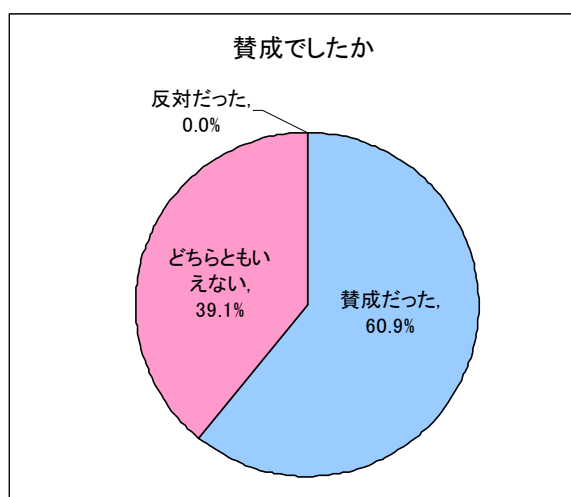
2-6 長者町関係者（会場提供者等）

実施時期	12月		
調査対象	長者町関係者(会場提供者等)		
配布・回収方法	郵送		
回収数(回収率)	23 (46.9%)	配布数	49

(1) 従前・現在の賛成意向

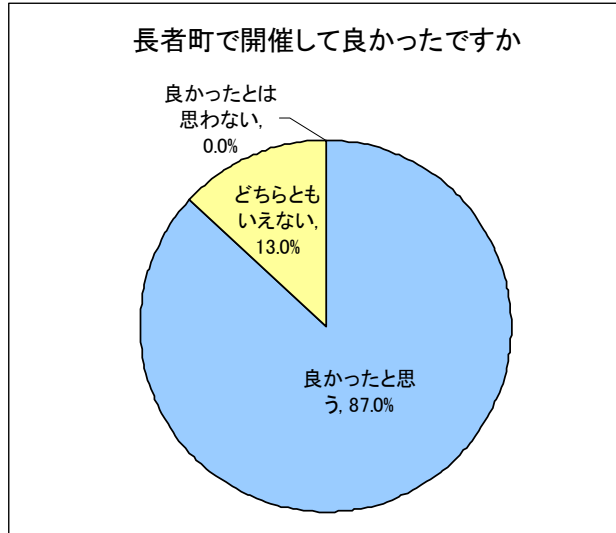
当初、長者町での国際芸術祭の開催に賛成だったか

	数	比率
賛成だった	14	60.9%
どちらともいえない	9	39.1%
反対だった	0	0.0%
合計	23	100.0%



長者町でトリエンナーレを開催して良かったと思うか

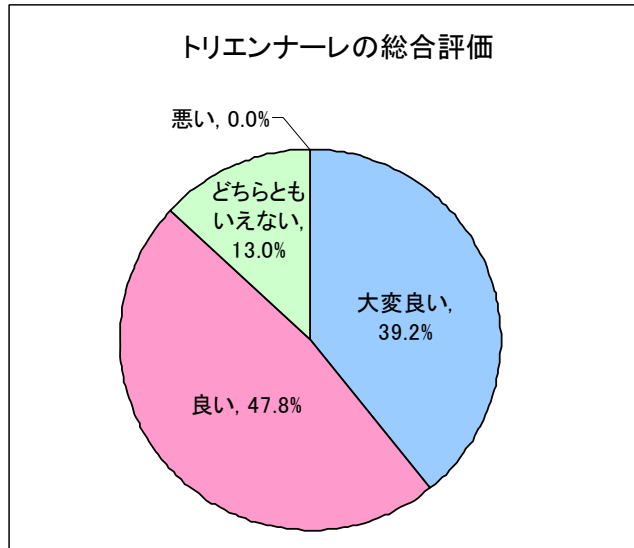
	数	比率
良かったと思う	20	87.0%
どちらともいえない	3	13.0%
良かったとは思わない	0	0.0%
合計	23	100.0%



(2) 評価

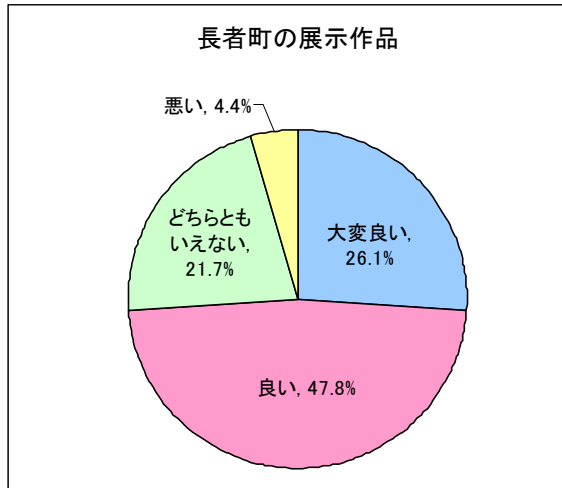
トリエンナーレの総合評価

	数	比率
大変良い	9	39.2%
良い	11	47.8%
どちらともいえない	3	13.0%
悪い	0	0.0%
合計	23	100.0%



長者町の展示作品

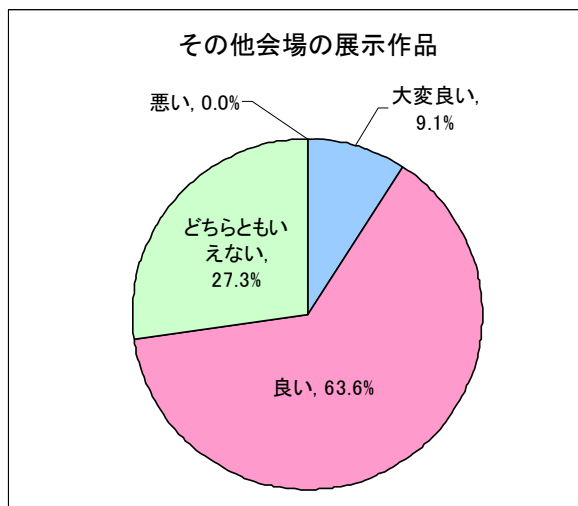
	数	比率
大変良い	6	26.1%
良い	11	47.8%
どちらともいえない	5	21.7%
悪い	1	4.4%
合計	23	100.0%



その他会場の展示作品

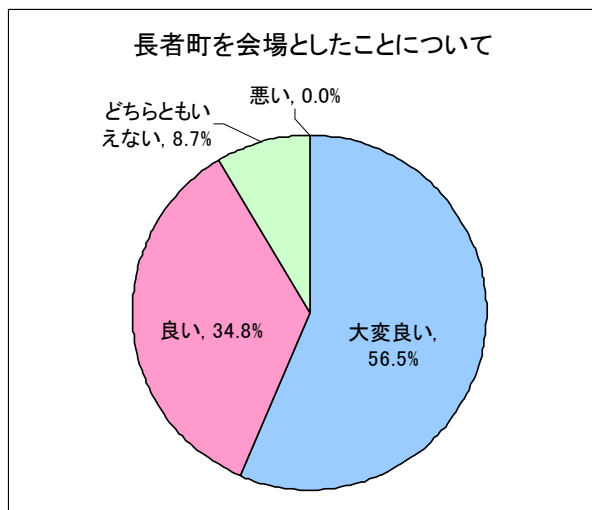
	数	比率
大変良い	2	9.1%
良い	14	63.6%
どちらともいえない	6	27.3%
悪い	0	0.0%
合計	22	100.0%

※未回答1



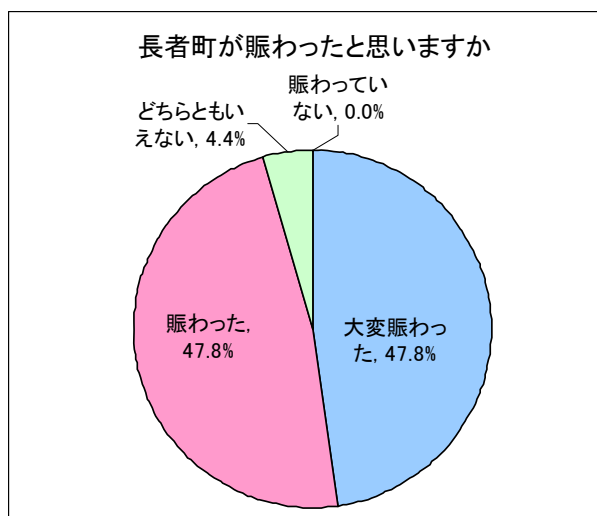
長者町を会場としたことについて

	数	比率
大変良い	13	56.5%
良い	8	34.8%
どちらともいえない	2	8.7%
悪い	0	0.0%
合計	23	100.0%



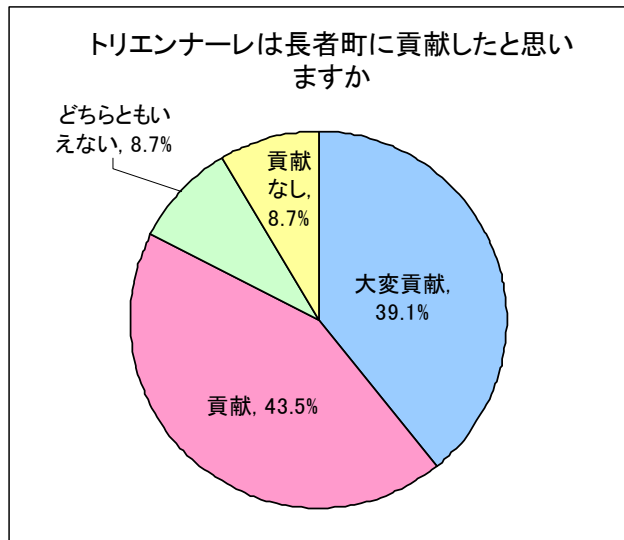
トリエンナーレ期間中は、長者町が賑わったと思うか

	数	比率
大変賑わった	11	47.8%
賑わった	11	47.8%
どちらともいえない	1	4.4%
賑わっていない	0	0.0%
合計	23	100.0%



トリエンナーレは、長者町の活性化や、好ましい意識の変化に貢献したと思うか

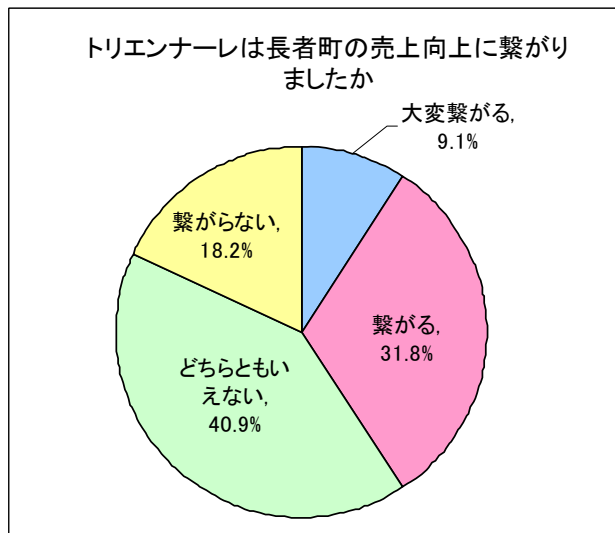
	数	比率
大変貢献	9	39.1%
貢献	10	43.5%
どちらともいえない	2	8.7%
貢献なし	2	8.7%
合計	23	100.0%



トリエンナーレは、長者町の売り上げ向上に繋がったと思うか

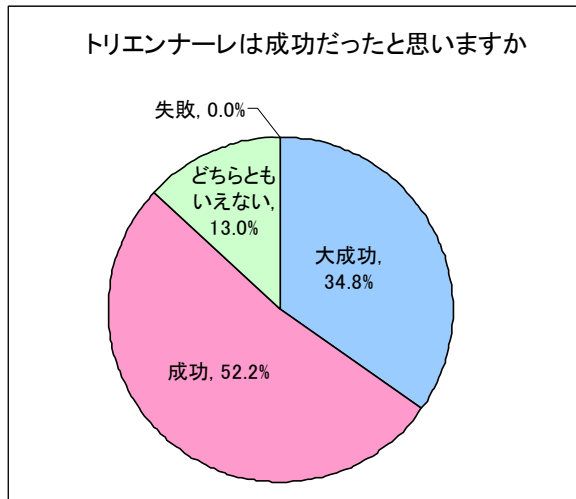
	数	比率
大変繋がる	2	9.1%
繋がる	7	31.8%
どちらともいえない	9	40.9%
繋がらない	4	18.2%
合計	22	100.0%

※未回答1



あいちトリエンナーレ 2010 は成功だったと思うか

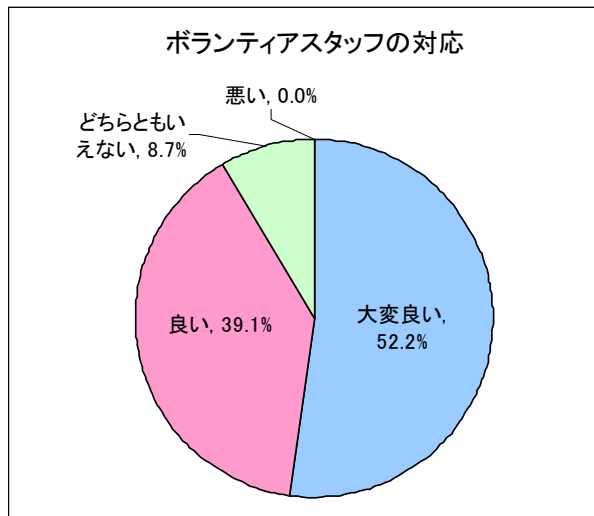
	数	比率
大成功	8	34.8%
成功	12	52.2%
どちらともいえない	3	13.0%
失敗	0	0.0%
合計	23	100.0%



(3) 運営

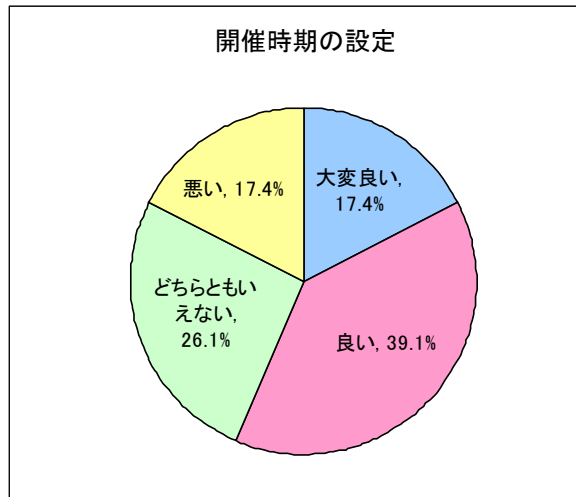
ボランティアスタッフの対応

	数	比率
大変良い	12	52.2%
良い	9	39.1%
どちらともいえない	2	8.7%
悪い	0	0.0%
合計	23	100.0%



8月～10月の開催時期の設定

	数	比率
大変良い	4	17.4%
良い	9	39.1%
どちらともいえない	6	26.1%
悪い	4	17.4%
合計	23	100.0%



(4) コメント抜粋

- ・ アートの気運を高め、長者町の活性化ができた。町の方々が前向きになれた。
- ・ 特に10月はすごい賑わいだった。商業的な損得ではない、美術、芸術、パフォーマンスの価値と、長者町で行われたこととで、シナジー効果がアップした。
- ・ 芸術を楽しむ人々がたくさんいて、名古屋のインテリジェンスを感じました。アートが好き=おしゃれということも感じました。
- ・ 街づくりの方向性がわかったのではと思う。
- ・ 日頃来ない客層だった。町自体が賑わっていたが、終わると元通りで残念。
- ・ 1つの会場ではなく、いくつかの会場に分かれていたことで、街全体で取り組んでいる様子が伝わってきた。
- ・ 長者町地区での展示で、長者町と無関係であった人々との出会いや繋がりが生まれた。町の人々が期間中の来場者の多さに何かを感じ始めた事と、新たな活動に向けて動き始めた事を感じた。
- ・ 8月は暑すぎます。9~11月にすべき。
- ・ 予算を13億円掛けたというが、それに見合う価値は誰の評価なのか。お金を掛けすぎではないか、と思った。
- ・ 告知の方法。トリエンナーレの存在すら知らない人が多かった。
- ・ 街での展示場所を一層わかりやすくすべき。入場料、日時、入場無料などがわかりにくかった。
- ・ もう少し会場をまとめて小さくして下さい。

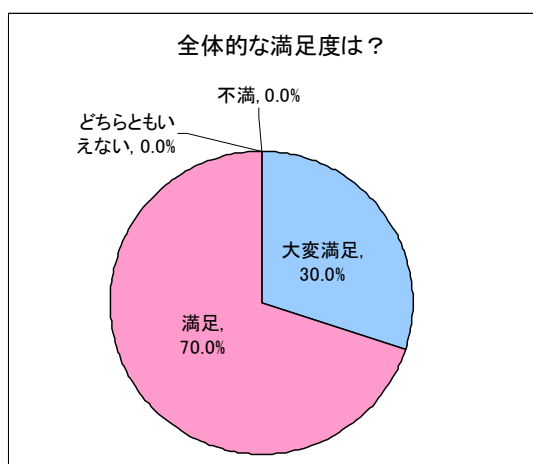
2-7 祝祭ウィーク共催事業

実施時期	12月		
調査対象	祝祭ウィーク共催事業参加団体等		
配布・回収方法	郵送又はファックス		
回収数(回収率)	10 (62.5%)	配布数	16

(1) 評価

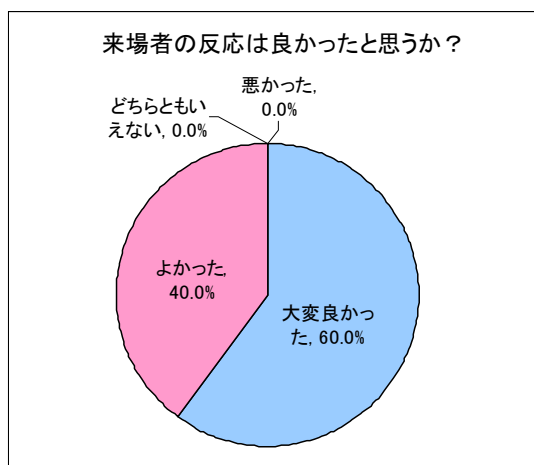
全体的な満足度

	数	比率
大変満足	3	30.0%
満足	7	70.0%
どちらともいえない	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	10	100.0%



来場者の反応

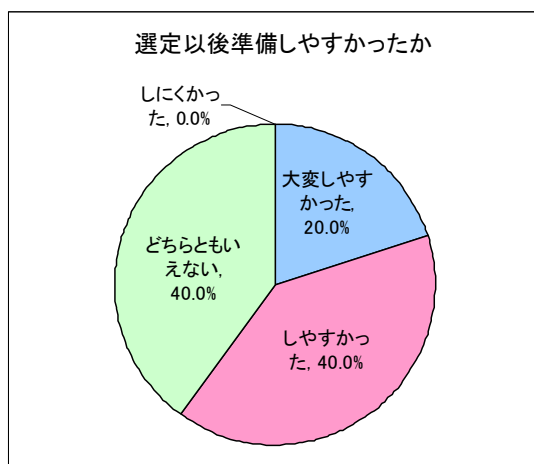
	数	比率
大変良かった	6	60.0%
よかった	4	40.0%
どちらともいえない	0	0.0%
悪かった	0	0.0%
合計	10	100.0%



(2) 運営

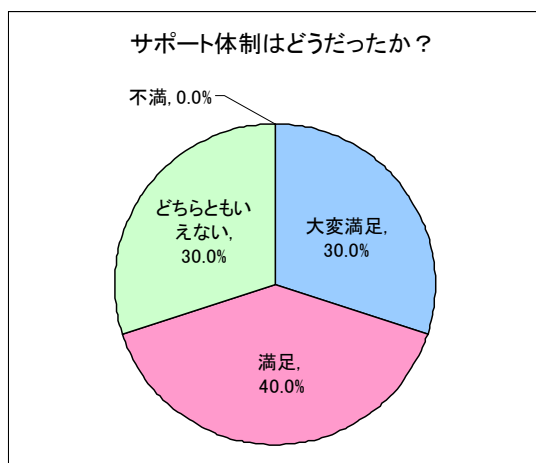
選定以後本番までの準備はしやすかったか

	数	比率
大変しやすかった	2	20.0%
しやすかった	4	40.0%
どちらともいえない	4	40.0%
しにくかった	0	0.0%
合計	10	100.0%



実行委員会のサポート体制

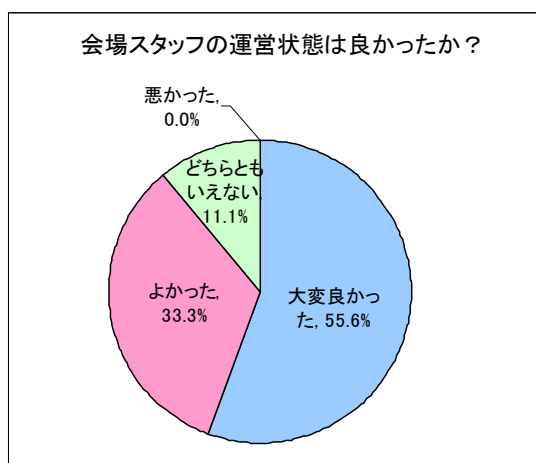
	数	比率
大変満足	3	30.0%
満足	4	40.0%
どちらともいえない	3	30.0%
不満	0	0.0%
合計	10	100.0%



案内等当日の会場スタッフの運営状態

	数	比率
大変良かった	5	55.6%
よかった	3	33.3%
どちらともいえない	1	11.1%
悪かった	0	0.0%
合計	9	100.0%

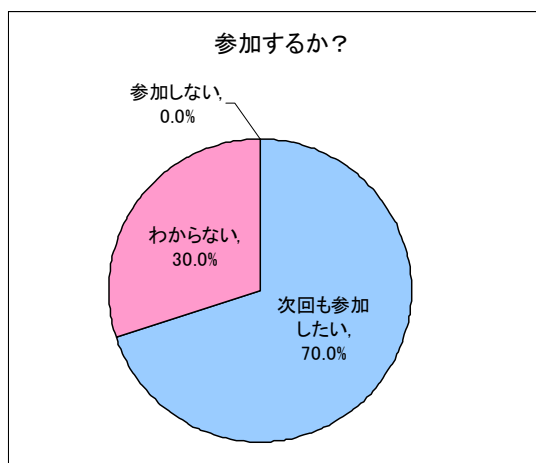
※未回答1



(3) 次回参加意向

2013年のトリエンナーレにおいて公募・選考による共催事業があれば、参加しようと思うか

	数	比率
次回も参加したい	7	70.0%
わからない	3	30.0%
参加しない	0	0.0%
合計	10	100.0%



(4) コメント抜粋

- ・美術に関心のある人々が、演劇に興味を持つ良いきっかけになったと思います。ヴィジュアル・アーツとパフォーミング・アーツが、同じ芸術分野として繋がり、広がりを感じました。
- ・会場、施設の全てを提供していただいたことで、その経費を他の部分に存分にあてることができたので豊かな気持ちで思い切り作品に思いを費やすことができた。
- ・祝祭ウィーク共催事業となったことで、今まで興味のなかった方も来られました。
- ・演劇に振り分けられたのが2日間しかなかった点。結果1回しか公演ができなかったのも、長く使えるような期間の考慮をお願いします。
- ・なるべく多くの団体を取り上げるという意味では、一週間、芸術文化センターの施設を一杯使用したことは有意義だったとは思いますが、一晩に2、3公演が同時にある日に当たった団体は、集客に苦労されたかもしれません。
- ・1週間で3会場での公演開催は、観客にとっては少しきつかったことと思いますし、同じ日に3会場全て同ジャンル(ダンス)の舞台があつたりすると、特に関係者はどれを選択すれば良いか、見に行くのが困難だと思うので、公演日を決定する際、内容もきちんと把握して振り分けてほしい。
- ・今回は初めてということで認知度はまだまだ低かったと思います。万博時のような、地下鉄栄駅構内、オアシス等一般の方が集まる場所にポスターなどで「何だ?」と思わせるような工夫が欲しい。

2-8 ボランティア

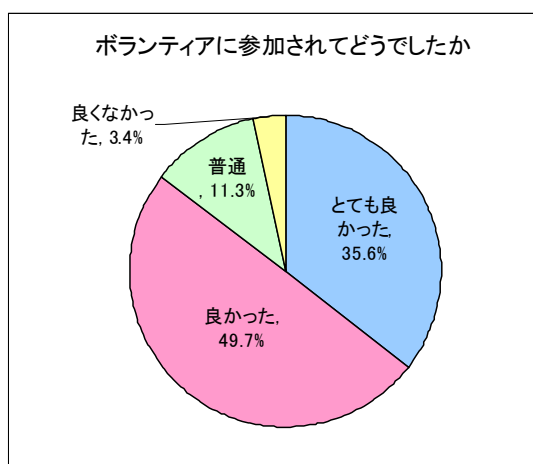
実施時期	12月		
調査対象	ボランティア（プレイベント含む）		
配布・回収方法	郵送、メール又はファックス		
回収数（回収率）	330（20.4%）	配布数	1,616

（1）感想

ボランティアに参加しての感想

	数	比率
とても良かった	114	35.6%
良かった	159	49.7%
普通	36	11.3%
良くなかった	11	3.4%
合計	320	100.0%

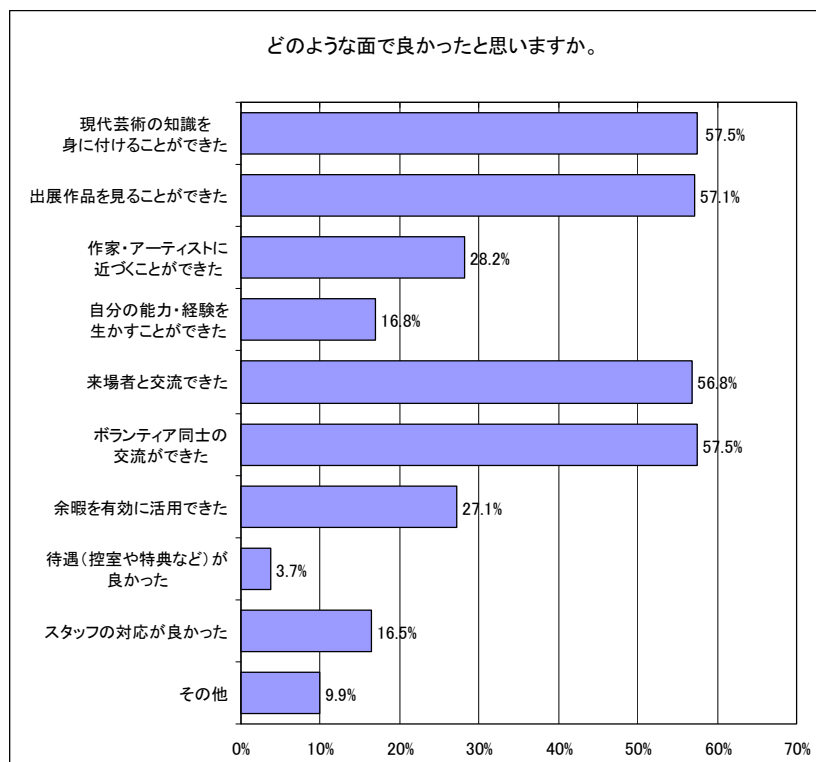
※未回答11



どのような面で良かったか（複数回答可）

	数	比率
現代芸術の知識を身に付けることができた	157	57.5%
出展作品を見ることができた	156	57.1%
作家・アーティストに近づくことができた	77	28.2%
自分の能力・経験を生かすことができた	46	16.8%
来場者と交流できた	155	56.8%
ボランティア同士の交流ができた	157	57.5%
余暇を有効に活用できた	74	27.1%
待遇（控室や特典など）が良かった	10	3.7%
スタッフの対応が良かった	45	16.5%
その他	27	9.9%
合計	904	

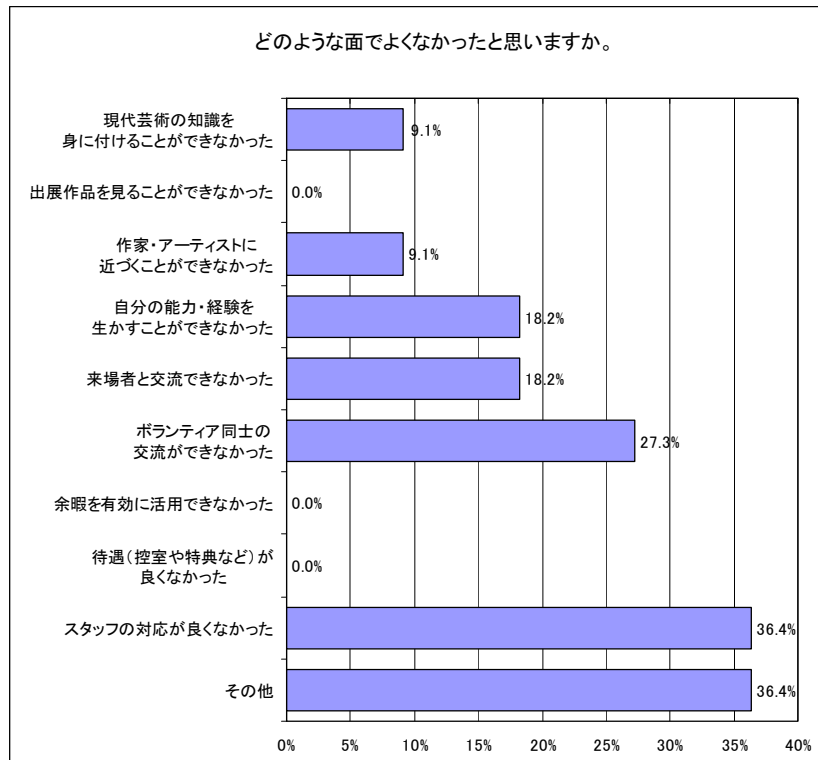
※未回答0



どのような面で良くなかったか（複数回答可）

	数	比率
現代芸術の知識を身に付けることができなかつ	1	9.1%
出展作品を見ることができなかつ	0	0.0%
作家・アーティストに近づくことができなかつ	1	9.1%
自分の能力・経験を生かすことができなかつ	2	18.2%
来場者と交流できなかつ	2	18.2%
ボランティア同士の交流ができなかつ	3	27.3%
余暇を有効に活用できなかつ	0	0.0%
待遇(控室や特典など)が良くなかつ	0	0.0%
スタッフの対応が良くなかつ	4	36.4%
その他	4	36.4%
合計	17	

※未回答0

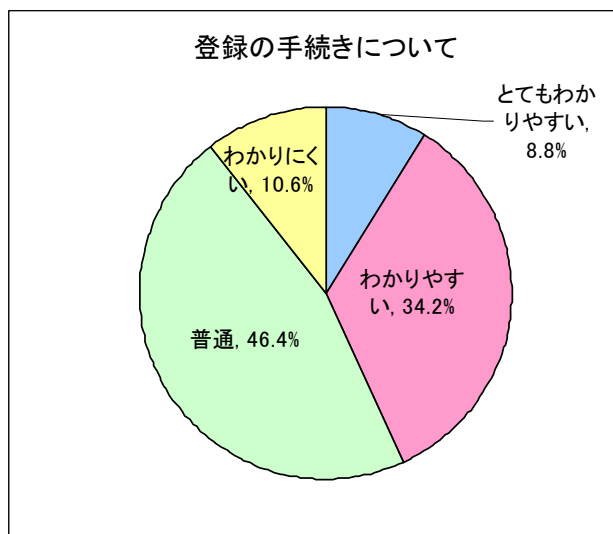


(2) 運営

登録の手続き

	数	比率
とてもわかりやすい	28	8.8%
わかりやすい	109	34.2%
普通	148	46.4%
わかりにくい	34	10.6%
合計	319	100.0%

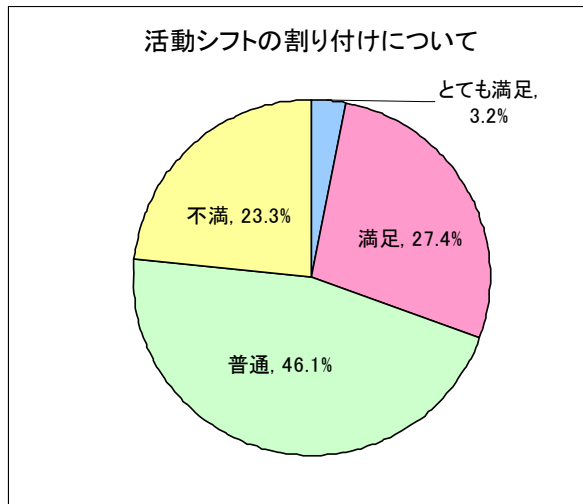
※未回答12



活動シフトの割り付け

	数	比率
とても満足	10	3.2%
満足	87	27.4%
普通	146	46.1%
不満	74	23.3%
合計	317	100.0%

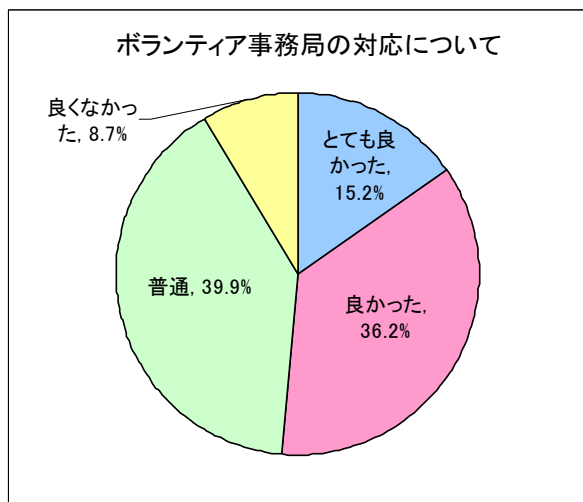
※未回答14



ボランティア事務局の対応

	数	比率
とても良かった	49	15.2%
良かった	117	36.2%
普通	129	39.9%
良くなかった	28	8.7%
合計	323	100.0%

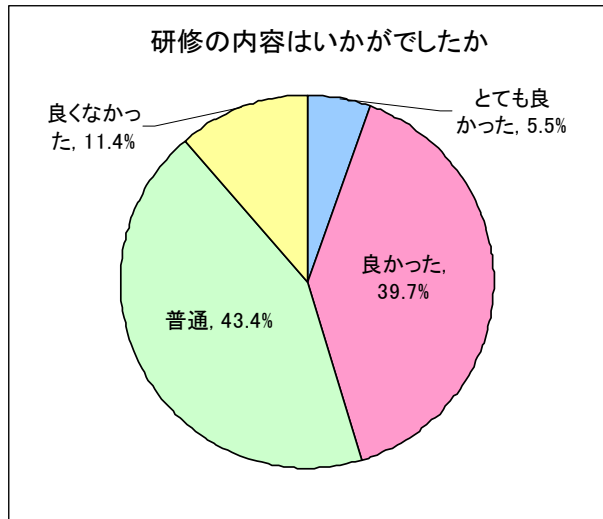
※未回答8



研修の内容

	数	比率
とても良かった	16	5.5%
良かった	115	39.7%
普通	126	43.4%
良くなかった	33	11.4%
合計	290	100.0%

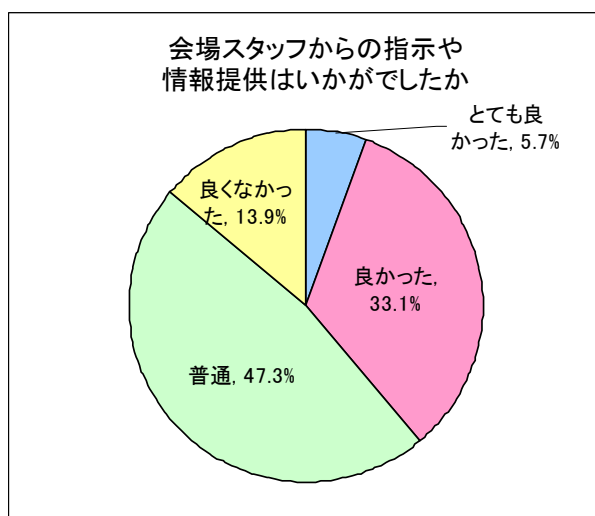
※未回答41



会場スタッフからの指示や情報提供

	数	比率
とても良かった	18	5.7%
良かった	105	33.1%
普通	150	47.3%
良くなかった	44	13.9%
合計	317	100.0%

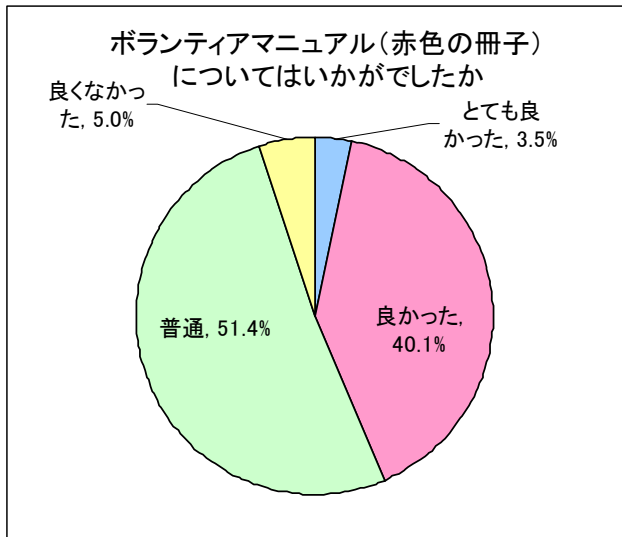
※未回答14



ボランティアマニュアル（赤色の冊子）

	数	比率
とても良かった	11	3.5%
良かった	128	40.1%
普通	164	51.4%
良くなかった	16	5.0%
合計	319	100.0%

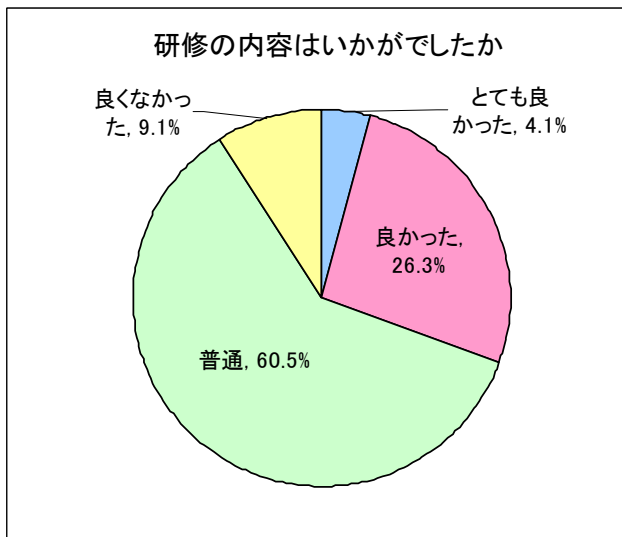
※未回答12



公式ホームページのボランティアのコーナー

	数	比率
とても良かった	10	4.1%
良かった	64	26.3%
普通	147	60.5%
良くなかった	22	9.1%
合計	243	100.0%

※未回答88

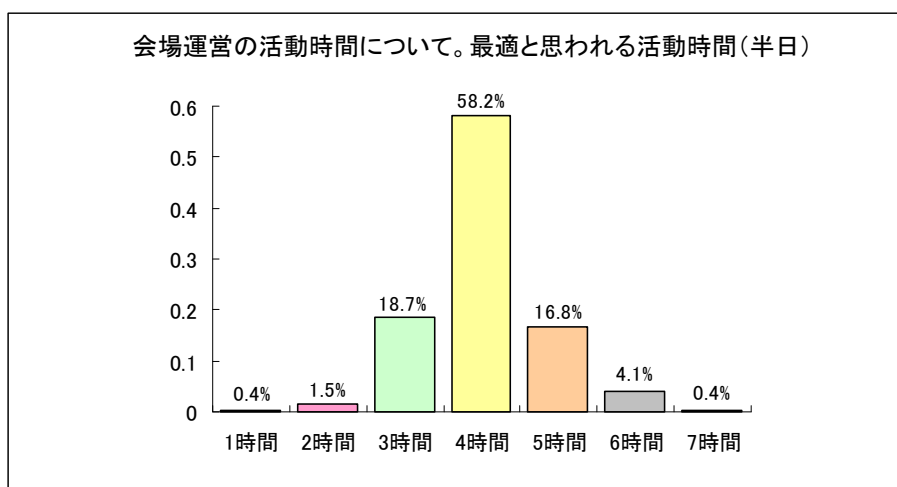


(3) 望ましい活動時間

会場運営の活動時間について最適と思われる活動時間

半日	数	比率
1時間	1	0.4%
2時間	4	1.5%
3時間	50	18.7%
4時間	156	58.2%
5時間	45	16.8%
6時間	11	4.1%
7時間	1	0.4%
合計	268	100.0%

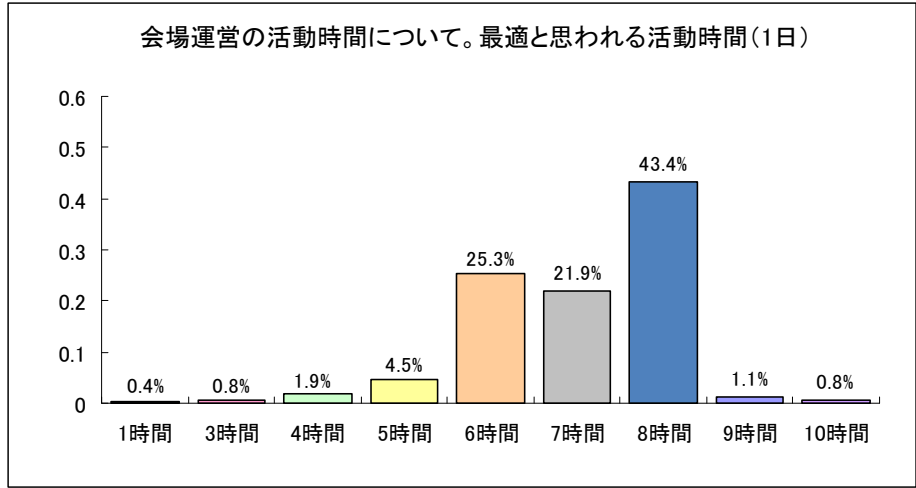
※未回答63



会場運営の活動時間について最適と思われる活動時間

1日	数	比率
1時間	1	0.4%
3時間	2	0.8%
4時間	5	1.9%
5時間	12	4.5%
6時間	67	25.3%
7時間	58	21.9%
8時間	115	43.4%
9時間	3	1.1%
10時間	2	0.8%
合計	265	100.0%

※未回答66

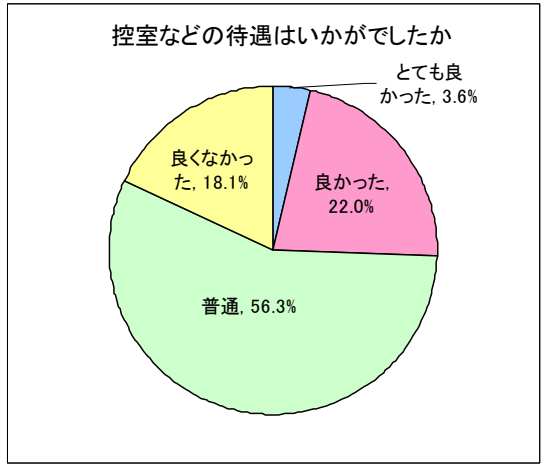


(4) 待遇

控室などの待遇

	数	比率
とても良かった	11	3.6%
良かった	68	22.0%
普通	174	56.3%
良くなかった	56	18.1%
合計	309	100.0%

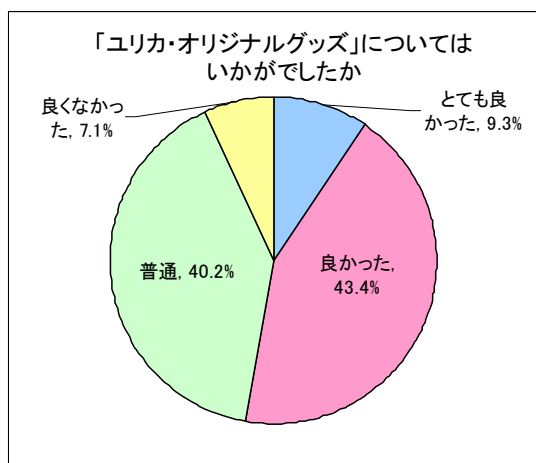
※未回答22



特典の「ユリカ・オリジナルグッズ」について

	数	比率
とても良かった	29	9.3%
良かった	135	43.4%
普通	125	40.2%
良くなかった	22	7.1%
合計	311	100.0%

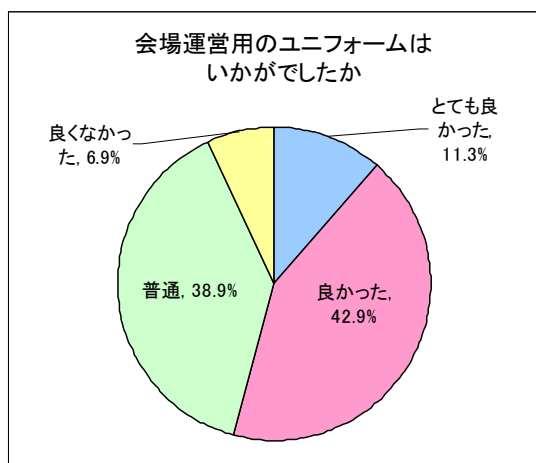
※未回答20



会場運営用のユニフォーム

	数	比率
とても良かった	28	11.3%
良かった	106	42.9%
普通	96	38.9%
良くなかった	17	6.9%
合計	247	100.0%

※未回答84

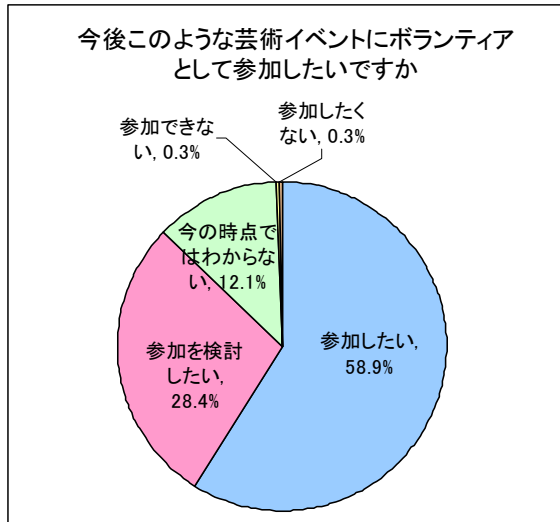


(5) 次回の参加意向

今後このような芸術イベントにボランティアとして参加したいか

	数	比率
参加したい	189	58.9%
参加を検討したい	91	28.4%
今の時点ではわからない	39	12.1%
参加できない	1	0.3%
参加したくない	1	0.3%
合計	321	100.0%

※未回答10



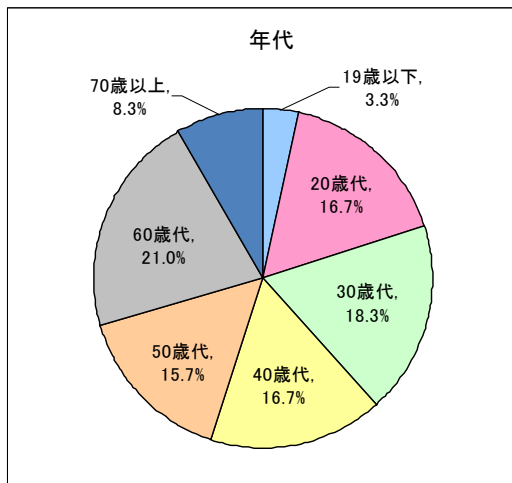
(6) 属性

年齢

※アンケート回答者のみの年齢。参加者全体の年齢は、あいちトリエンナーレ 2010 開催報告書の 58 ページを参照

	数	比率
19歳以下	10	3.3%
20歳代	50	16.7%
30歳代	55	18.3%
40歳代	50	16.7%
50歳代	47	15.7%
60歳代	63	21.0%
70歳以上	25	8.3%
合計	300	100.0%

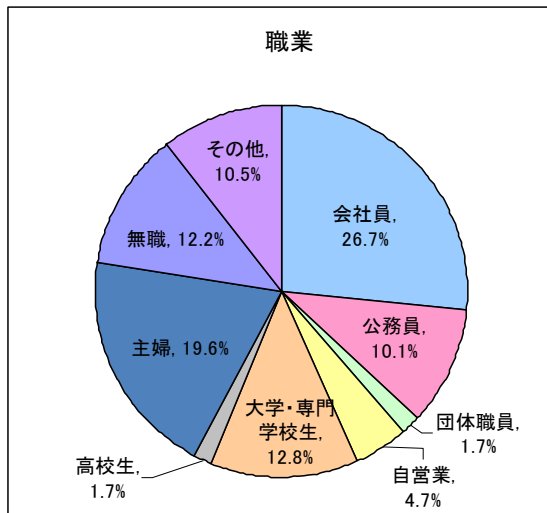
※未回答31



職業

	数	比率
会社員	79	26.7%
公務員	30	10.1%
団体職員	5	1.7%
自営業	14	4.7%
大学・専門学校生	38	12.8%
高校生	5	1.7%
主婦	58	19.6%
無職	36	12.2%
その他	31	10.5%
合計	296	100.0%

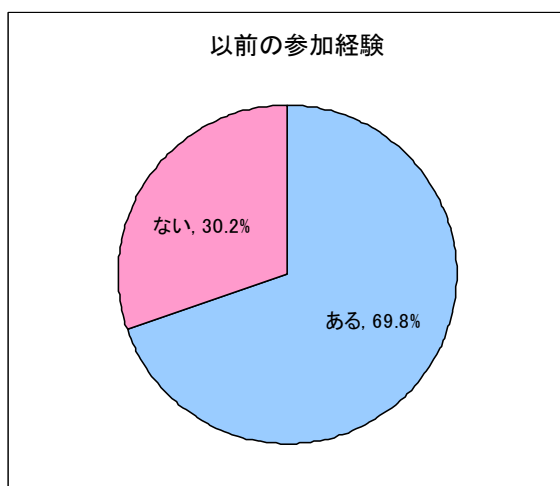
※未回答35



ボランティア活動の経験

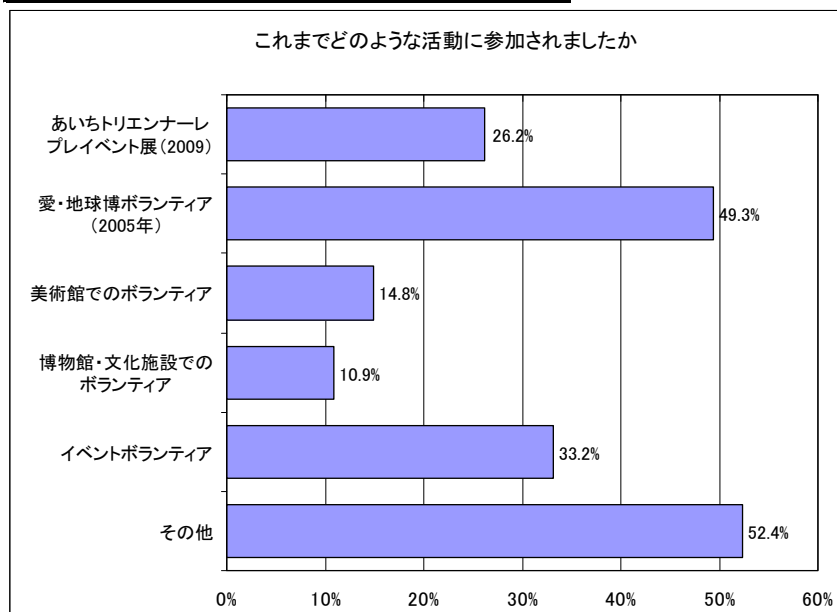
	数	比率
ある	229	69.8%
ない	99	30.2%
合計	328	100.0%

※未回答3



これまでの参加経験（複数回答可）

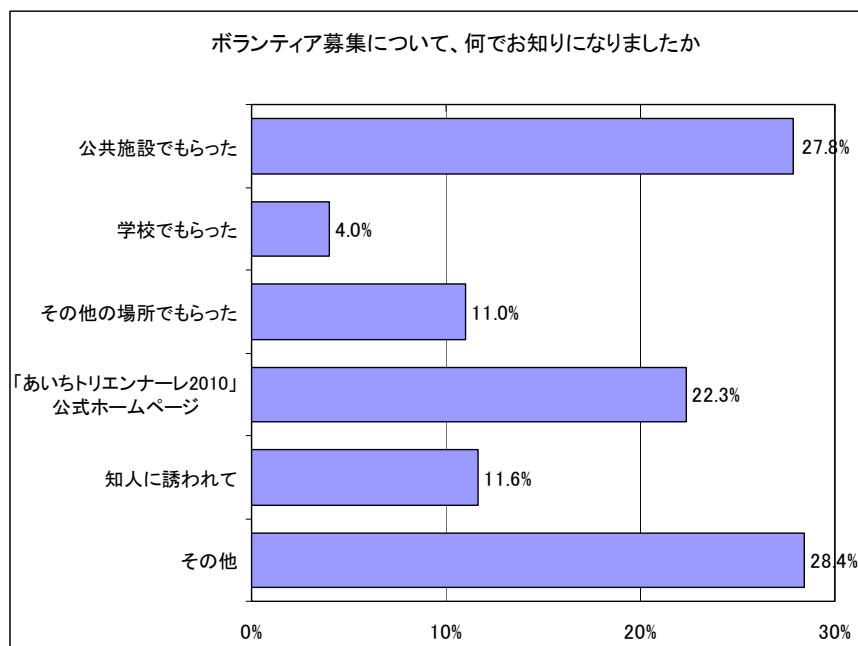
	数	比率
あいちトリエンナーレ プレイベント展(2009)	60	26.2%
愛・地球博ボランティア (2005年)	113	49.3%
美術館でのボランティア	34	14.8%
博物館・文化施設での ボランティア	25	10.9%
イベントボランティア	76	33.2%
その他	120	52.4%
合計	428	



ボランティア募集について何で知ったか（複数回答可）

	数	比率
公共施設でもらった	91	27.8%
学校でもらった	13	4.0%
その他の場所でもらった	36	11.0%
「あいちトリエンナーレ2010」 公式ホームページ	73	22.3%
知人に誘われて	38	11.6%
その他	93	28.4%
合計	344	

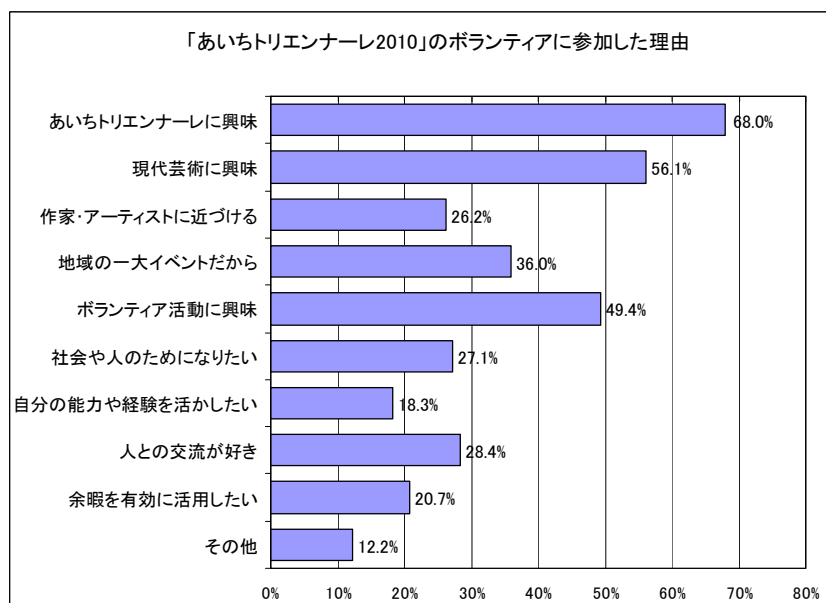
※未回答3



参加理由（複数回答可）

	数	比率
あいちトリエンナーレに興味	223	68.0%
現代芸術に興味	184	56.1%
作家・アーティストに近づける	86	26.2%
地域の一大イベントだから	118	36.0%
ボランティア活動に興味	162	49.4%
社会や人のためになりたい	89	27.1%
自分の能力や経験を活かしたい	60	18.3%
人との交流が好き	93	28.4%
余暇を有効に活用したい	68	20.7%
その他	40	12.2%
合計	1123	

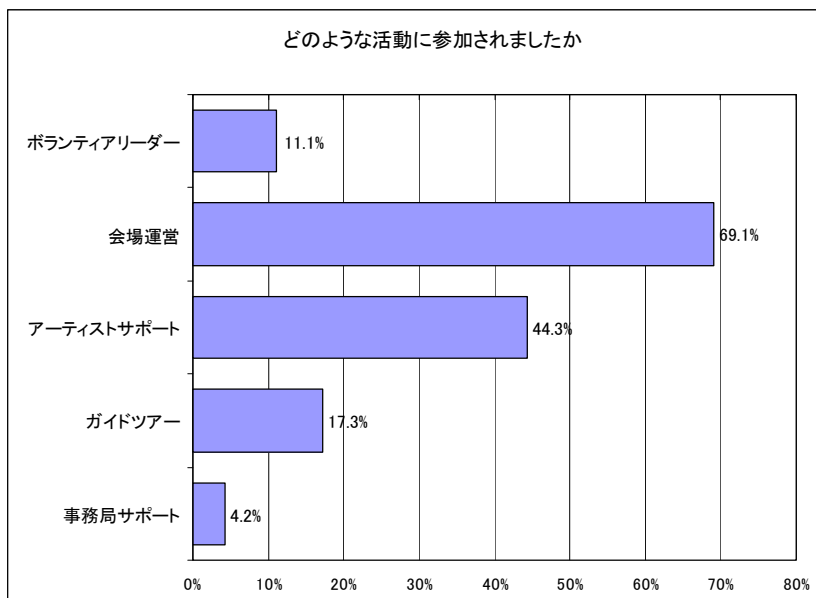
※未回答3



どのような活動に参加したか（複数回答可）

	数	比率
ボランティアリーダー	34	11.1%
会場運営	212	69.1%
アーティストサポート	136	44.3%
ガイドツアー	53	17.3%
事務局サポート	13	4.2%
合計	448	

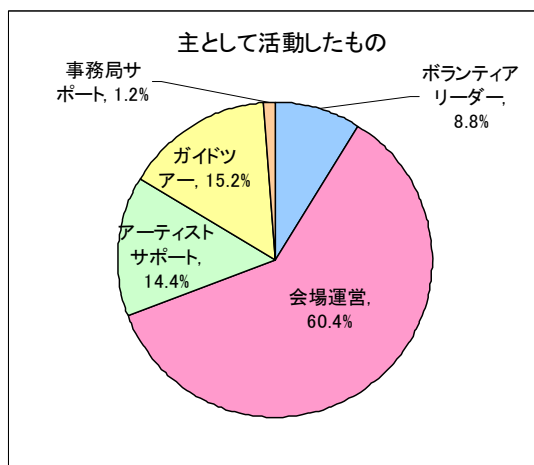
※未回答24



主として活動したもの

	数	比率
ボランティアリーダー	22	8.8%
会場運営	151	60.4%
アーティストサポート	36	14.4%
ガイドツアー	38	15.2%
事務局サポート	3	1.2%
合計	250	100.0%

※未回答81



(7) コメント抜粋

- ・スタッフ、アーティスト、キュレーター、ボランティア、お客さん等、普段関わることのないたくさんの人たちと交流でき、とても楽しく充実した活動となりました。
- ・楽しく活動させていただき、とてもいい経験になりました。
- ・貴重な経験ができてよかった。仕事の都合もあり、延べ6日間であったが、楽しく参加させていただいた。
- ・ガイドツアーを担当しましたがとても満足しています。人とのコミュニケーションが出来たことと、アートそのものについても、とても楽しむことが出来ました。
- ・3年後のあいちトリエンナーレでも、ボランティア活動にまた申し込もうと思っています。この事業を継続して、もっと、さらにおもしろいものにして欲しいです。
- ・長者町会場ばかりを担当することになり、人員配置に偏りがあるように感じました。
- ・後半は COP10 のボランティアと重なったせいか、ボランティアが少なかったようで残念でした。後半になるほどお客様も増えて、ゆとりがなかった感じがします。ボランティアが自らやりたい場所を選べると、もっと色々勉強できて、内容が充実できたように思います。
- ・活動内容があらかじめ分かる範囲で提示されていて、こちらから活動を選ぶという形をとったほうが、もっと自分の能力を生かしたような気がします。その方がドタキャンをする人も少なかったのではないのでしょうか？ボランティアも責任あるスタッフの一員なので、もう少し研修の機会を設け、有償スタッフを雇うのではなく、ボランティアスタッフに任せて欲しいなと思う場面が多々ありました。

2-9 パートナーシップ事業

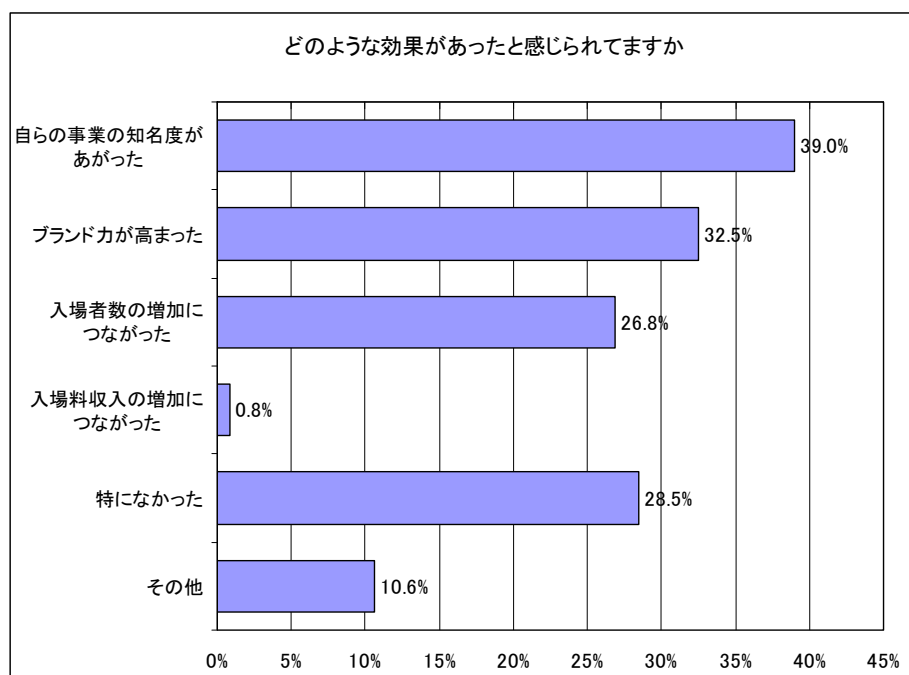
実施時期	12月		
調査対象	パートナーシップ事業参加団体		
配布・回収方法	郵送又はファックス		
回収数(回収率)	124 (25.1%)	配布数	495

(1) 効果等

パートナーシップ事業による効果（複数回答可）

	数	比率
自らの事業の知名度があがった	48	39.0%
ブランド力が高まった	40	32.5%
入場者数の増加につながった	33	26.8%
入場料収入の増加につながった	1	0.8%
特になかった	35	28.5%
その他	13	10.6%
合計	170	

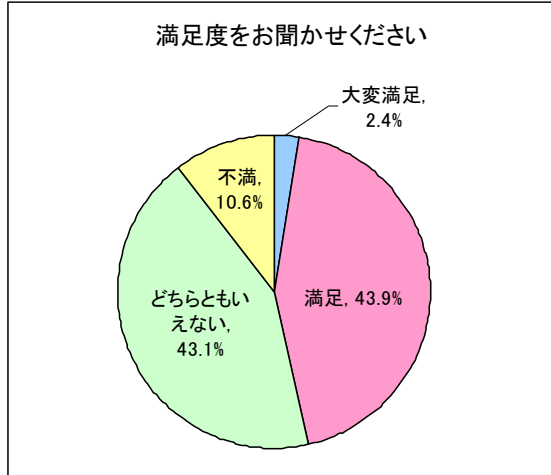
※未回答1



満足度

	数	比率
大変満足	3	2.4%
満足	54	43.9%
どちらともいえない	53	43.1%
不満	13	10.6%
合計	123	100.0%

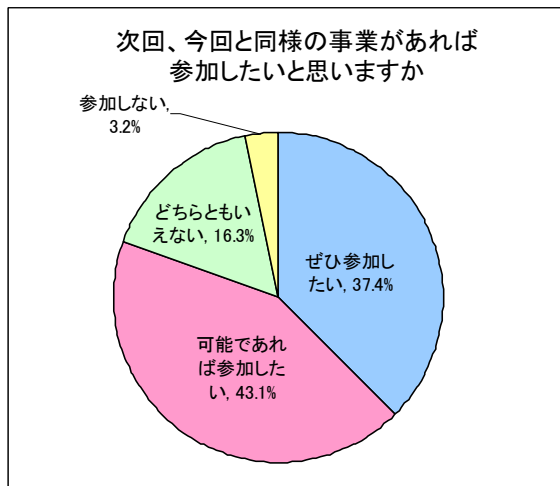
※未回答1



次回、今回と同様のパートナーシップ事業があれば、参加するか

	数	比率
ぜひ参加したい	46	37.4%
可能であれば参加したい	53	43.1%
どちらともいえない	20	16.3%
参加しない	4	3.2%
合計	123	100.0%

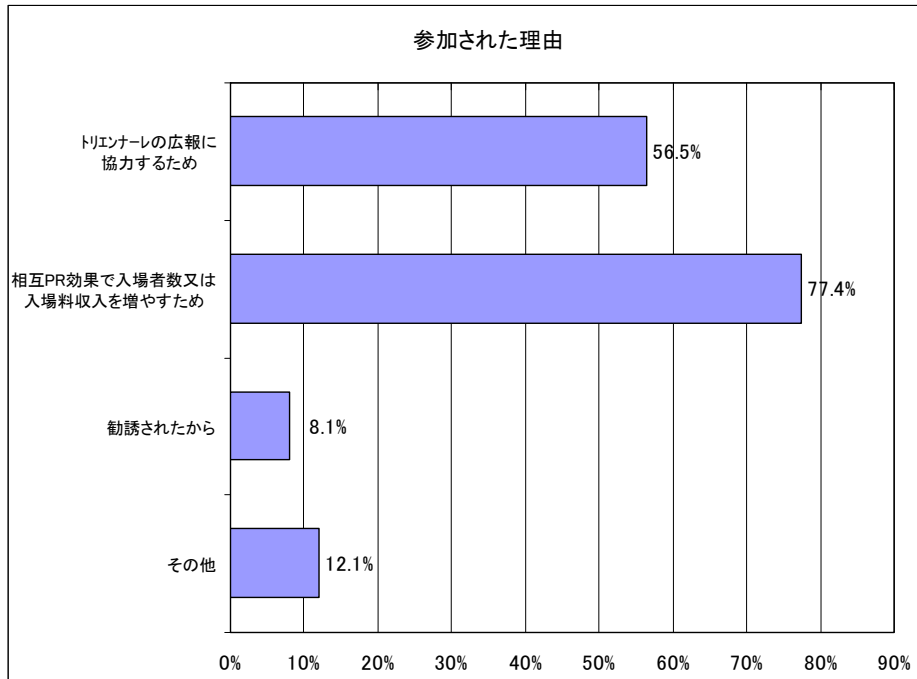
※未回答1



(2) 属性

パートナーシップ事業に参加された理由をお聞かせください（複数回答可）

	数	比率
トリエンナーレの広報に協力するため	70	56.5%
相互PR効果で入場者数又は入場料収入を増やすため	96	77.4%
勧誘されたから	10	8.1%
その他	15	12.1%
合計	191	



(3) コメント抜粋

- ・ トリエンナーレですので2013年も必ず開催してください。その際にもぜひ参加します。
- ・ アートに関心のある人からは好評だったようだが、そうでない人にとっては「現代アート＝分かりにくい」というイメージを覆すまでには至らなかった。アートの固定観念をひっくり返すような企画があればもっと間口が広がると思う。そういう点からも長者町は面白かった。アートと日常の境をなくすような街の中に溶け込んだ展示や取り組みは作家や取り巻く人たちの息づかいを感じられた。
- ・ 2013年楽しみにしています。
- ・ 不況といわれる最中に、名古屋発信で何か「動き」を感じる事が出来ました。次回も是非よろしくお願いします。
- ・ 参加団体に共通のフラッグを配布するなど、もっと派手に盛り上がる材料があるといいと思います。
- ・ 国際展としては規模の大きなものではなかったように思いましたが、その大きくないことがあいちトリエンナーレの独自性となったように感じました。具体的には、地域との密着性、いわゆるビッグネームではない作家の多用などです。次回のあいちトリエンナーレ2013では、そういった部分をより深め、さらに独自の方向性を持ちながらも排他的にはならないお祭りになることを期待します。

2-10 芸術系教育機関

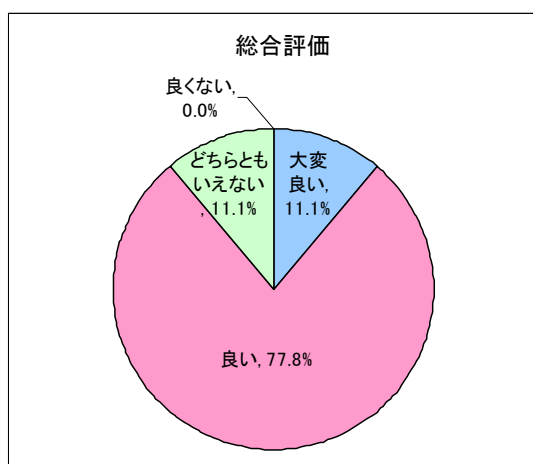
実施時期	12月		
調査対象	全国の芸術系教育機関(美術大学長等)		
配布・回収方法	郵送		
回収数(回収率)	11 (23.4%)	配布数	47

(1) 評価

総合評価

	数	比率
大変良い	1	11.1%
良い	7	77.8%
どちらともいえない	1	11.1%
良くない	0	0.0%
合計	9	100.0%

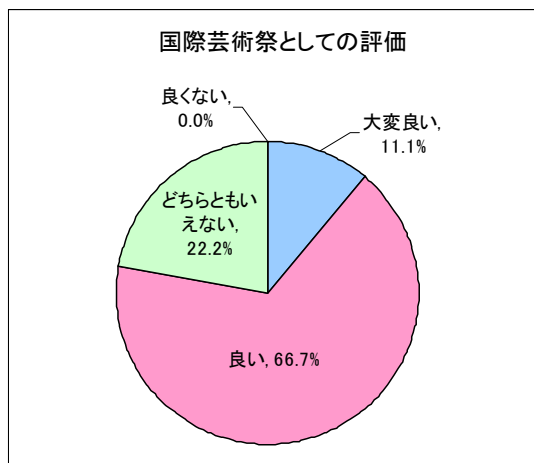
※未回答2



現代芸術の先端的な動向を紹介する国際芸術祭としての評価

	数	比率
大変良い	1	11.1%
良い	6	66.7%
どちらともいえない	2	22.2%
良くない	0	0.0%
合計	9	100.0%

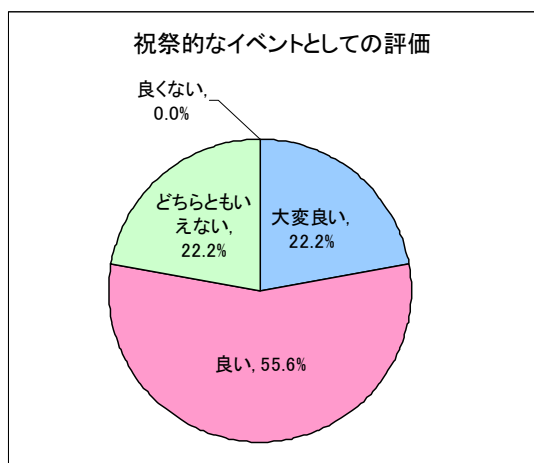
※未回答2



祝祭的なイベントとしての評価

	数	比率
大変良い	2	22.2%
良い	5	55.6%
どちらともいえない	2	22.2%
良くない	0	0.0%
合計	9	100.0%

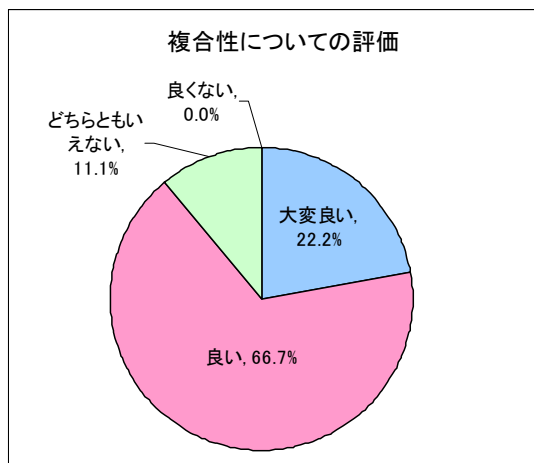
※未回答2



パフォーマンス・アーツを積極的に取り組む複合性についての評価

	数	比率
大変良い	2	22.2%
良い	6	66.7%
どちらともいえない	1	11.1%
良くない	0	0.0%
合計	9	100.0%

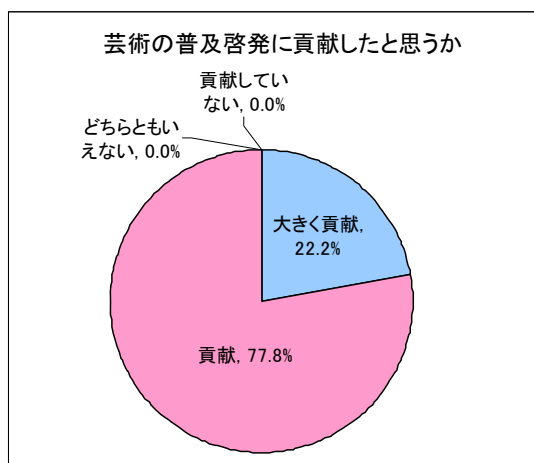
※未回答2



芸術の普及啓発に貢献したか

	数	比率
大きく貢献	2	22.2%
貢献	7	77.8%
どちらともいえない	0	0.0%
貢献していない	0	0.0%
合計	9	100.0%

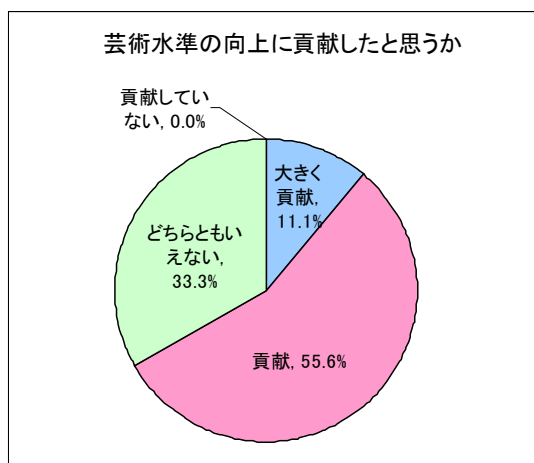
※未回答2



わが国の芸術水準の向上に貢献したか

	数	比率
大きく貢献	1	11.1%
貢献	5	55.6%
どちらともいえない	3	33.3%
貢献していない	0	0.0%
合計	9	100.0%

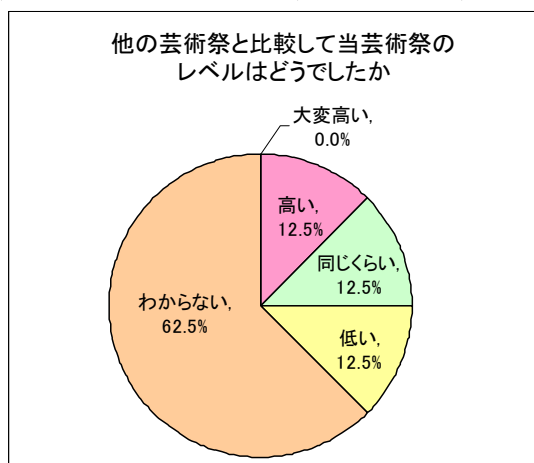
※未回答2



横浜・瀬戸内など他の芸術祭と比較したときの当芸術祭のレベル

	数	比率
大変高い	0	0.0%
高い	1	12.5%
同じくらい	1	12.5%
低い	1	12.5%
わからない	5	62.5%
合計	8	100.0%

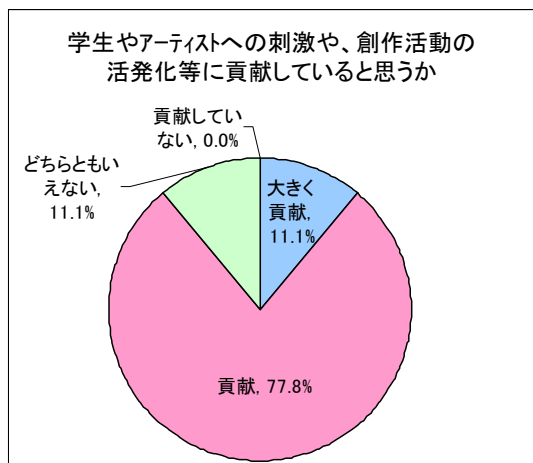
※未回答3



学生やアーティストへの刺激や、創作活動の活発化等に貢献したか

	数	比率
大きく貢献	1	11.1%
貢献	7	77.8%
どちらともいえない	1	11.1%
貢献していない	0	0.0%
合計	9	100.0%

※未回答2

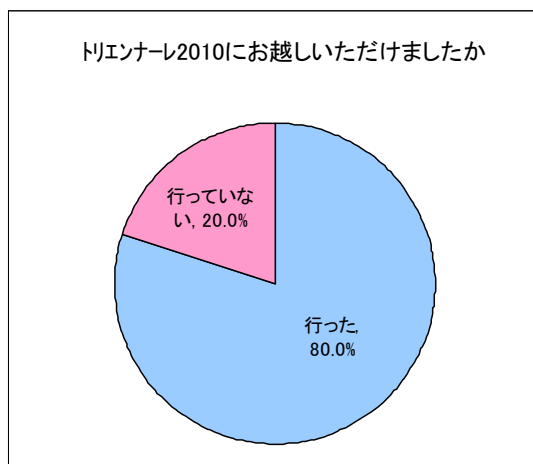


(2) 属性

本芸術祭への参加状況

	数	比率
行った	8	80.0%
行っていない	2	20.0%
合計	10	100.0%

※未回答1



(3) コメント抜粋

- ・1回だけではなく、継続して企画を充実させていってください。
- ・今回は1回目ということで、非常にわかりやすい内容となっており、広く一般の方も来場するよい祭典となったと思います。今後は地元の作家も掘り下げるなど、コアな見せ方も取り入れていただきたいと思います。
- ・海外からの作家を多く紹介していましたが、「あいち」で行われるイベントとしての特色があまり感じられませんでした。
- ・瀬戸内は直島という強力なコンテンツがあるから成功したともいえる。名古屋市にも県美と市美があるが、両館が常に何か合同企画を行うとすれば、強力な核となりうるかもしれない。
- ・祝祭はやはり都市の中では、その雰囲気は拡散してしまうので難しいかもしれない。
- ・芸術イベントは文化レベル向上に即効性を持たない。費用対効果を求めて次回以降の開催可否を考慮するのであるなら、第1回の開催自体を無駄にしてしまう。2010年の第1回に対して県がどのような総括を示すか(具体的には次回以降について)は、行政、政治の水準を示唆すると考えている。

2-11 県内ギャラリー

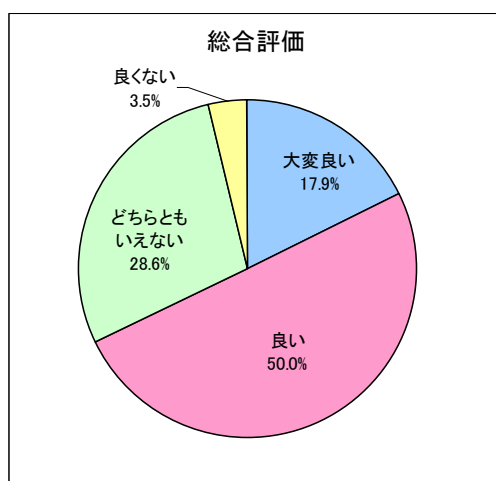
実施時期	12月		
調査対象	県内ギャラリー		
配布・回収方法	郵送		
回収数(回収率)	31 (33.7%)	配布数	92

(1) 評価

総合評価

	数	比率
大変良い	5	17.9%
良い	14	50.0%
どちらともいえない	8	28.6%
良くない	1	3.5%
合計	28	100.0%

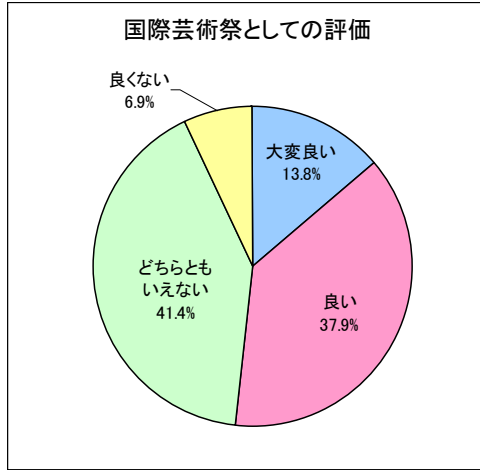
※未回答3



現代芸術の先端的な動向を紹介する国際芸術祭としての評価

	数	比率
大変良い	4	13.8%
良い	11	37.9%
どちらともいえない	12	41.4%
良くない	2	6.9%
合計	29	100.0%

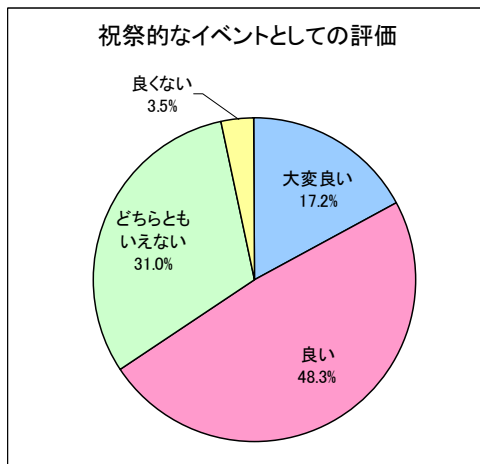
※未回答2



祝祭的なイベントとしての評価

	数	比率
大変良い	5	17.2%
良い	14	48.3%
どちらともいえない	9	31.0%
良くない	1	3.5%
合計	29	100.0%

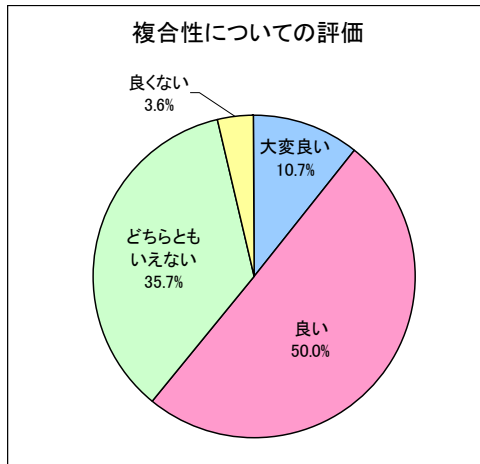
※未回答2



パフォーマンス・アーツを積極的に取り組む複合性についての評価

	数	比率
大変良い	3	10.7%
良い	14	50.0%
どちらともいえない	10	35.7%
良くない	1	3.6%
合計	28	100.0%

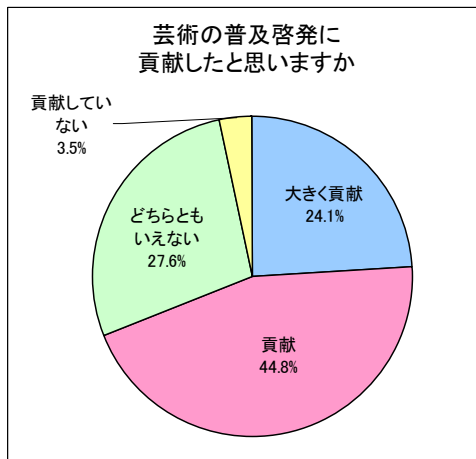
※未回答3



芸術の普及啓発に貢献したか

	数	比率
大きく貢献	7	24.1%
貢献	13	44.8%
どちらともいえない	8	27.6%
貢献していない	1	3.5%
合計	29	100.0%

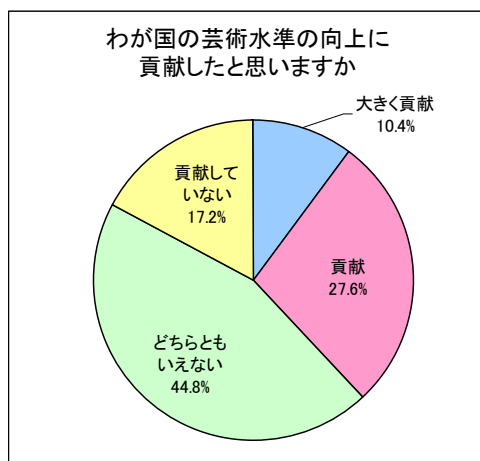
※未回答2



わが国の芸術水準の向上に貢献したか

	数	比率
大きく貢献	3	10.4%
貢献	8	27.6%
どちらともいえない	13	44.8%
貢献していない	5	17.2%
合計	29	100.0%

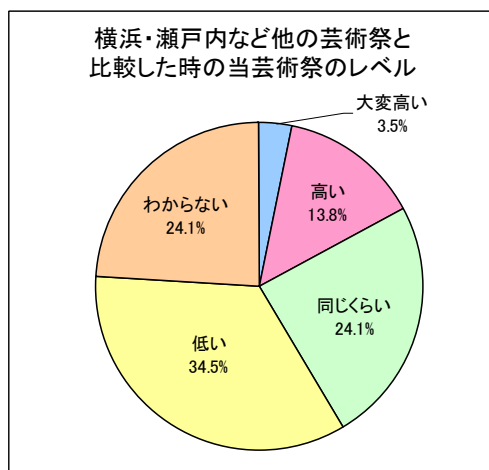
※未回答2



横浜・瀬戸内など他の芸術祭と比較したときの当芸術祭のレベル

	数	比率
大変高い	1	3.5%
高い	4	13.8%
同じくらい	7	24.1%
低い	10	34.5%
わからない	7	24.1%
合計	29	100.0%

※未回答2

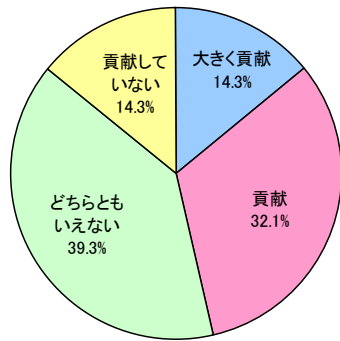


アーティストへの刺激や、創作活動の活発化等に貢献したか

	数	比率
大きく貢献	4	14.3%
貢献	9	32.1%
どちらとも いえない	11	39.3%
貢献していない	4	14.3%
合計	28	100.0%

※未回答3

アーティストへの刺激や、創作活動の
活発化等に貢献していると思いますか

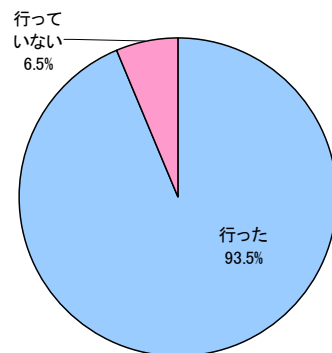


(2) 属性

あいちトリエンナーレ2010にお越しにいただいたか

	数	比率
行った	29	93.5%
行っていない	2	6.5%
合計	31	100.0%

あいちトリエンナーレ2010に
お越しにいただけましたか？



(3) コメント抜粋

- ・楽しいイベントでした。継続的に成長していくのを楽しみにしています。定着を願っております。
- ・継続は力。ベネチアを越えるよう期待しています。
- ・「あいち」と称する割に私の周りの反応は静かでした。特に一般のお客様(特に年配者)はあまり興味を持っていませんでした。
- ・今回は各会場へのアクセスが良かったので回りやすかったです。
- ・最も大切なことは継続することです。2 番目には、地域の住民、アーティスト、小中高生などの制作への関わりを増やしてほしいです。
- ・長者町のイベントはとても良かったと思います。

2-12 中部芸術文化記者クラブ加盟記者

実施時期	12月～1月		
調査対象	中部芸術文化記者クラブ加盟記者		
配布・回収方法	郵送、ファックス又はメール		
回収数(回収率)	3 (12.5%)	配布数	24

(1) 評価

総合評価

	数	比率
大変良い	0	0.0%
良い	3	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
良くない	0	0.0%
合計	3	100.0%

現代芸術の先端的な動向を紹介する国際芸術祭としての評価

	数	比率
大変良い	0	0.0%
良い	3	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
良くない	0	0.0%
合計	3	100.0%

祝祭的なイベントとしての評価

	数	比率
大変良い	2	66.7%
良い	0	0.0%
どちらともいえない	1	33.3%
良くない	0	0.0%
合計	3	100.0%

パフォーマンス・アーツを積極的に取り組む複合性についての評価

	数	比率
大変良い	1	33.3%
良い	2	66.7%
どちらともいえない	0	0.0%
良くない	0	0.0%
合計	3	100.0%

芸術の普及啓発に貢献したか

	数	比率
大きく貢献した	0	0.0%
貢献した	2	66.7%
どちらともいえない	1	33.3%
貢献していない	0	0.0%
合計	3	100.0%

わが国の芸術水準の向上に貢献したか

	数	比率
大きく貢献した	0	0.0%
貢献した	1	33.3%
どちらともいえない	2	66.7%
貢献していない	0	0.0%
合計	3	100.0%

地域の芸術水準の向上に貢献したか

	数	比率
大きく貢献した	0	0.0%
貢献した	2	66.7%
どちらともいえない	1	33.3%
貢献していない	0	0.0%
合計	3	100.0%

横浜・瀬戸内など他の芸術祭と比較した時の当芸術祭のレベル

	数	比率
大変高い	0	0.0%
高い	1	33.4%
同じくらい	1	33.3%
低い	0	0.0%
いちがいにいえない	1	33.3%
合計	3	100.0%

あいちトリエンナーレ事務局のプレス担当について

	数	比率
大変良い	0	0.0%
良い	2	66.7%
どちらともいえない	1	33.3%
良くない	0	0.0%
合計	3	100.0%

(2) コメント抜粋

- ・ヴィジュアルアーツとパフォーマンスアーツを2本柱で定着させて欲しい。長者町会場のような「まちなか会場」も今度も充実・発展すべき。
- ・会場間を結ぶベロタクシー、プリウスは次回も残すべき。あれがあると「もう一箇所回ってみようか」という気持ちにもなるし、街にも「トリエンナーレをやっている」という空気が満ちる。アクセスの面からだけ考えると、会場を県内全域に広げることは大変かもしれないが「あいち」という名前を冠する以上、それも考えるべきではないか。
- ・無料公演を一般公開用に増やす。入場料金をさらに下げてみる。不景気だからこそ芸術に救いを求める価値観に注目。
- ・アートで街を元気に、住民を仲良く平和にできれば素晴らしい。芸術祭の評価尺度は来場者数だけでなく、経済効果などいろいろ考えられる。芸どころ名古屋のモノサシを作るのも一案。

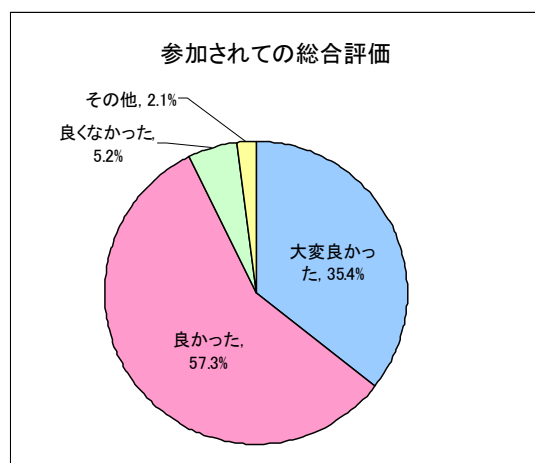
2-13 県内の小・中・高等学校、特別支援学校等

実施時期	12月～1月		
調査対象	県内小・中・高等学校、特別支援学校等		
配布・回収方法	郵送、ファックス又はメール		
回収数(回収率)	1,030 (64.1%)	配布数	1,606

(1) 学校向け教育プログラム

総合評価

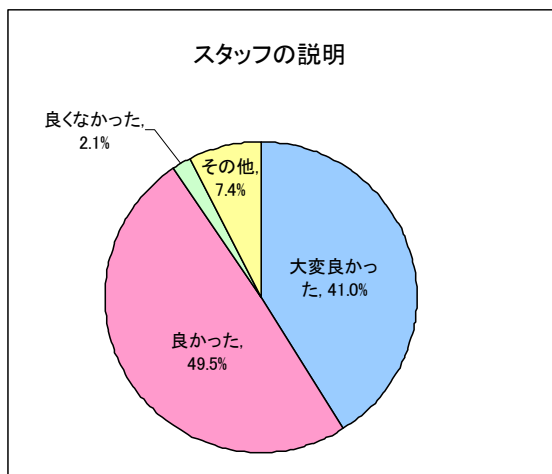
	数	比率
大変良かった	34	35.4%
良かった	55	57.3%
良くなかった	5	5.2%
その他	2	2.1%
合計	96	100.0%



スタッフの説明

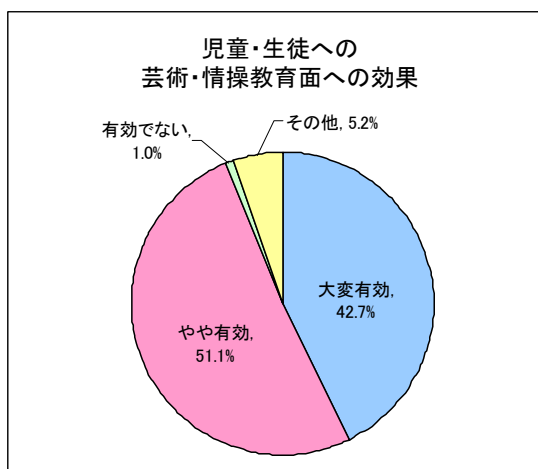
	数	比率
大変良かった	39	41.0%
良かった	47	49.5%
良くなかった	2	2.1%
その他	7	7.4%
合計	95	100.0%

※未回答1



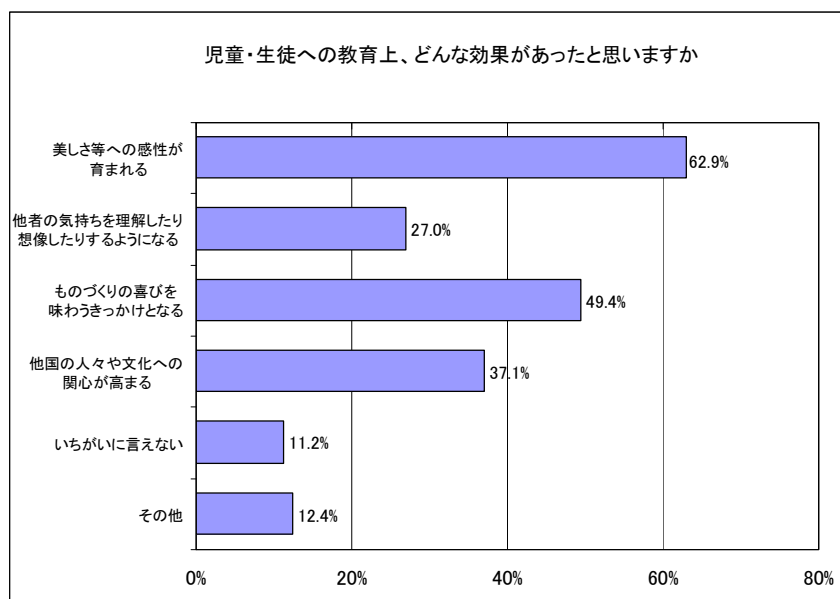
児童・生徒の芸術・情報教育面への効果

	数	比率
大変有効	41	42.7%
やや有効	49	51.0%
有効でない	1	1.0%
その他	5	5.2%
合計	96	100.0%



児童・生徒への教育上の効果（複数回答可）

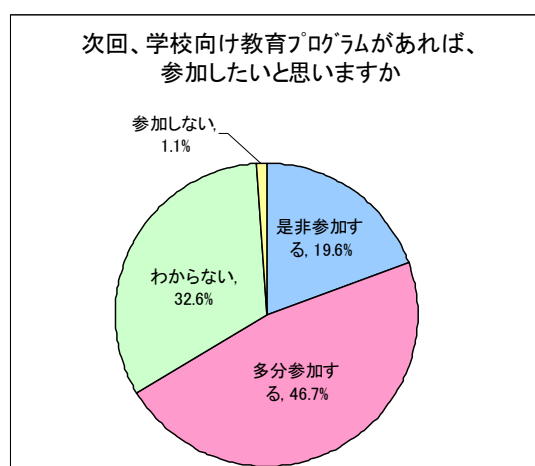
	数	比率
美しさ等への感性が育まれる	56	62.9%
他者の気持ちを理解したり想像したりするようになる	24	27.0%
ものづくりの喜びを味わうきっかけとなる	44	49.4%
他国の人々や文化への関心が高まる	33	37.1%
いちがいに言えない	10	11.2%
その他	11	12.4%
合計	178	



次回トリエンナーレで、学校向け教育プログラムがあれば、参加したいか

	数	比率
是非参加する	18	19.6%
多分参加する	43	46.7%
わからない	30	32.6%
参加しない	1	1.1%
合計	92	100.0%

※未回答4



(2) 現代アーティストの派遣

現代アーティストの派遣を受けての総合評価

	数	比率
大変良かった	1	25.0%
良かった	3	75.0%
良くなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	4	100.0%

※未回答1

アーティストの児童・生徒への指導

	数	比率
大変良かった	1	25.0%
良かった	2	50.0%
良くなかった	0	0.0%
その他	1	25.0%
合計	4	100.0%

※未回答1

スタッフの児童・生徒への対応

	数	比率
大変良かった	1	25.0%
良かった	3	75.0%
良くなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	4	100.0%

※未回答1

児童・生徒の芸術・情操教育面への効果

	数	比率
大変有効	2	40.0%
やや有効	2	40.0%
有効でない	0	0.0%
その他	1	20.0%
合計	5	100.0%

児童・生徒への教育上の効果（複数回答可）

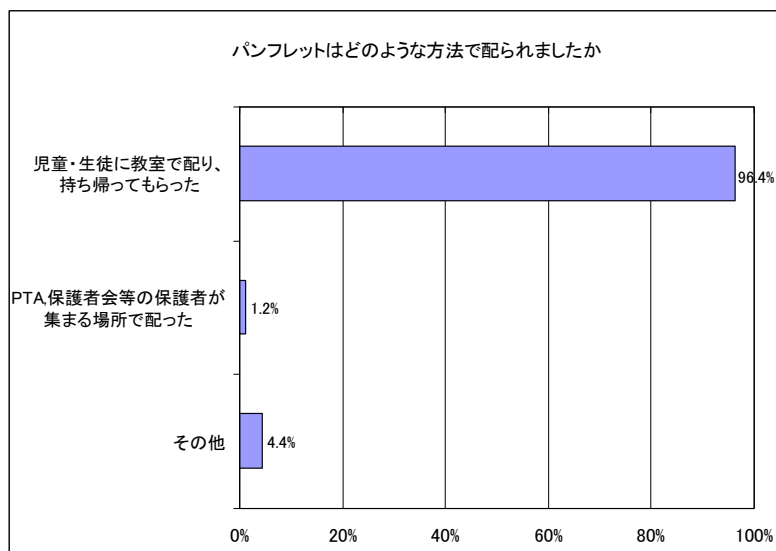
	数	比率
美しさ等への感性が育まれる	1	20.0%
他者の気持ちを理解したり想像したりするようになる	2	40.0%
ものづくりの喜びを味わうきっかけとなる	3	60.0%
他国の人々や文化への関心が高まる	0	0.0%
デザインや創造的な工作の能力が伸びる	0	0.0%
いちがいに言えない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	6	

(3) 送付したパンフレット

あいちトリエンナーレ 2010 のパンフレット（3 回配布）はどのような方法で配ったか（複数回答）

	数	比率
児童・生徒に教室で配り、持ち帰ってもらった	990	96.4%
PTA、保護者会等の保護者が集まる場所で配った	12	1.2%
その他	45	4.4%
合計	1,047	

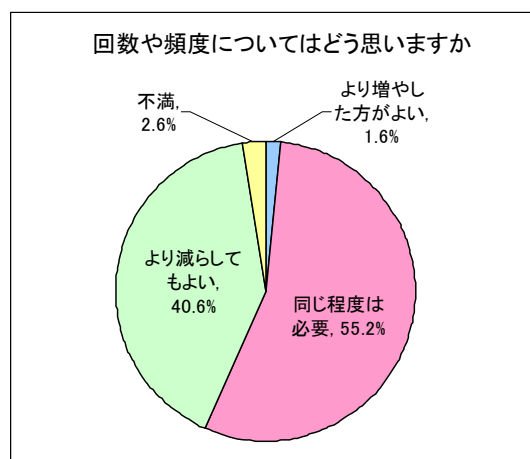
※未回答3



3 回配布したパンフレットの回数や頻度について

	数	比率
より増やした方がよい	16	1.6%
同じ程度は必要	560	55.2%
より減らしてもよい	412	40.6%
不要	27	2.6%
合計	1,015	100.0%

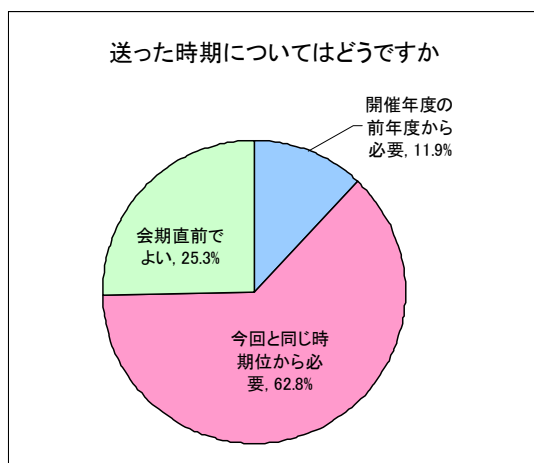
※未回答15



3 回配布したパンフレットのお送りした時期について

	数	比率
開催年度の前年度から必要	119	11.9%
今回と同じ時期位から必要	629	62.8%
会期直前でよい	253	25.3%
合計	1,001	100.0%

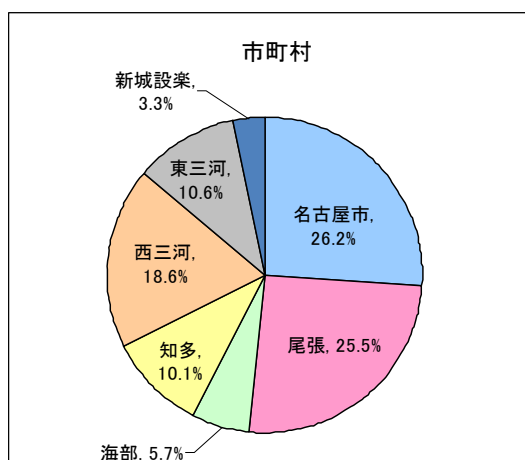
※未回答29



(4) 属性

市町村

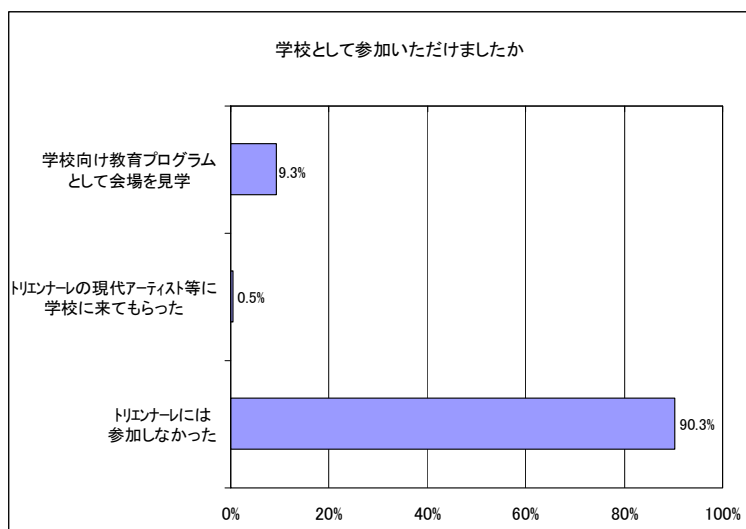
	数	比率
名古屋市	270	26.2%
尾張	263	25.5%
海部	59	5.7%
知多	104	10.1%
西三河	191	18.6%
東三河	109	10.6%
新城設楽	34	3.3%
合計	1,030	100.0%



あいちトリエンナーレ 2010 に学校として参加したか（複数回答）

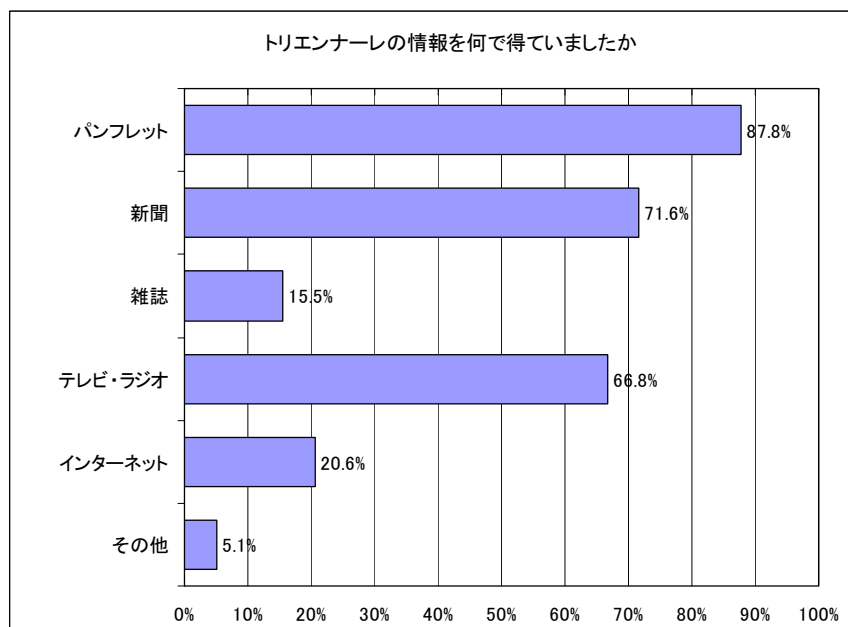
	数	比率
学校向け教育プログラム として会場を見学	96	9.3%
トリエンナーレの現代アーティスト等に 学校に来てもらった	5	0.5%
トリエンナーレには 参加しなかった	928	90.3%
合計	1,029	

※未回答2



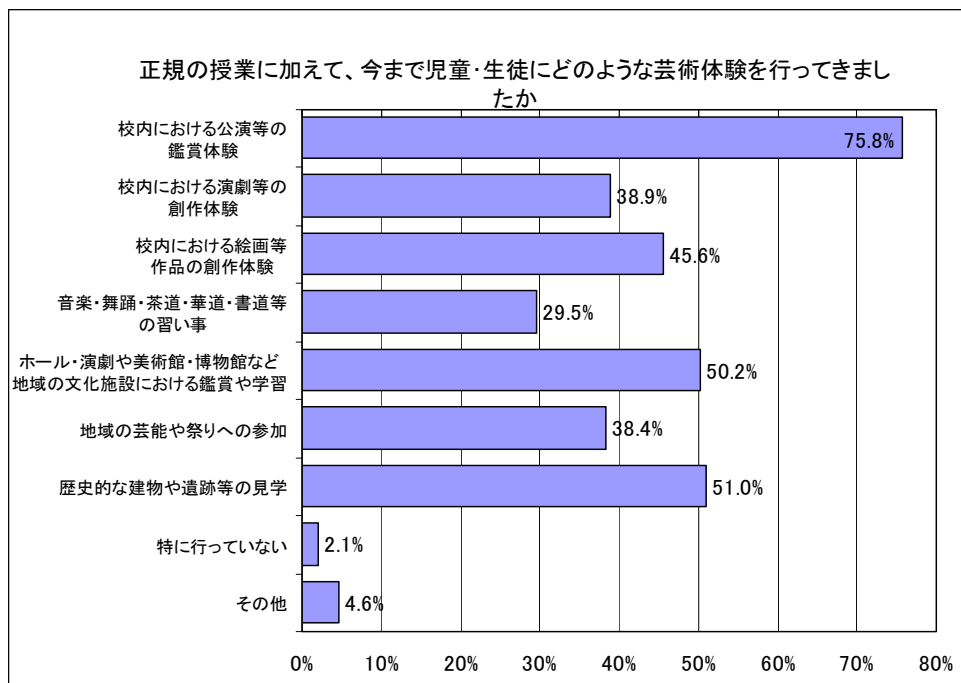
あいちトリエンナーレ 2010 の情報を何で得ていたか（複数回答可）

	数	比率
パンフレット	903	87.8%
新聞	737	71.6%
雑誌	160	15.5%
テレビ・ラジオ	687	66.8%
インターネット	212	20.6%
その他	52	5.1%
合計	2,751	



授業に加えて、今まで児童・生徒にどのような芸術体験を行ってきたか（複数回答可）

	数	比率
校内における公演等の鑑賞体験	752	75.8%
校内における演劇等の創作体験	386	38.9%
校内における絵画等作品の創作体験	452	45.6%
音楽・舞踊・茶道・華道・書道等の習い事	293	29.5%
ホール・演劇や美術館・博物館など地域の文化施設における鑑賞や学習	498	50.2%
地域の芸能や祭りへの参加	381	38.4%
歴史的な建物や遺跡等の見学	506	51.0%
特に行っていない	21	2.1%
その他	46	4.6%
合計	3,335	



(5) コメント抜粋

(学校向け教育プログラム参加校の感想)

- ・ガイドの方の説明が大変分かりやすく、生徒たちも真剣に見ていました。ワークシートもあり、鑑賞の視点が定まったので、良かったと思います。
- ・現代アートただだけに、スタッフによる説明をしていただけて子どもたちにも受けとめやすくありがたかった。
- ・係の方の説明が丁寧で、小学生(4年生)にも分かりやすかった。様々な形の芸術作品に触れ、芸術に対する考え方が広がった。
- ・ボランティアの方々が献身的に対応してくださり、好感が持てた。
- ・街の中での鑑賞はいつもの美術館と違って、のびのびと作品を楽しむことが自然にできていたように感じました。
- ・作品だけでなく、実物をよく観察しないとわからない問題が書かれたワークシートがあったので、生徒の作品を見る目がいつもより真剣でした。
- ・「よくわからないもの」というレッテルを最初から自ら貼って、素通りしていた現代アートの前で立ち止まり、考え思いをめぐらし、改めて自分なりの見解を探させる事を実現できたのが、大きな成果だった。このことは、単にアートとの出会いに限ったことではなく、生徒が対面する様々な日常の出来事や人との出会いにあてはまることだと思う。
- ・生徒の一部でも参加しやすいように、休みの期間をなるべく多く含む開催期間で実施していただけるとありがたい。映像作品が多く、混雑していたので緩和される手立てをとっていただきたい。
- ・開催期間がとても短い。前年度からプログラムがはっきりすれば5月のGWあたりからでも。少なくとも8月1日からは開催して欲しかった。学校から行ってその後刺激を受けて再度見学へ行きたいと思った生徒がいても、開催期間が無かったのは残念。
- ・作品の質にバラつきがあり、トリエンナーレ全体を評価することが難しい。子供にとってまったくわからない作品も多いため、パンフレット等をさらに工夫してほしい。
- ・生徒に芸術の美しさを伝える作品が少ない。
- ・作品の内容に関しては、子どもたちが理解しづらいものもあるが、現代芸術にふれるよい機会であったと思う。また、キッズトリエンナーレでその場で創作活動ができるのもよかった。
- ・美術を志す生徒にはよい経験になったと思うが、現代美術の啓発という意味では参加しにくい。学校教育としてはそこまでの余裕もないし、意義も認められない。
- ・コンピューターを使ったデザイン画を描くときや図画工作の作品作りに、自分の発想を表現しようと頑張っている児童の姿が見られるようになった。
- ・見学後の感想に、自分達も自由な発想で作ってみたいという内容が多かった。
- ・臨機応変に対応していただき大変助かりました。ありがとうございました。

(学校向け教育プログラムに参加されなかった学校・参加されなかった理由)

- ・行事が立て込んでおり、時間的な余裕がなかった。
- ・本校の年間行事予定と調整がつかなかった。(芸術鑑賞会は春・秋の年2回予定しているが、日程が合わなかった。また、ちょうど学校祭準備などの他の行事が詰まっていた。)
- ・何をしているのかよく分からない事と、どんな学習に役立つのか分からなかった為。また、文化芸術体験については、本校独自に計画、実施している。
- ・生徒一人ひとりの自主的参加を期待した。
- ・校外学習として参加する時間を確保できない。
- ・本校は交通不便地のため、なかなか校外に出られないため。
- ・地理的に距離があり、参加は無理である。

(現代アーティスト派遣校)

- ・ 時間的空間的に厳格に固定された日常生活や日常の思考に新鮮な風を通してくれたのが、今回のプログラムだった。日常的でない事象との出会いや外部の人との交流、共感は、生徒に今まで経験したことのない高揚感を実現させた。
- ・ いろいろな表現のしかた、考え方があることを知り、児童自身の見方や考え方が広がった。作品づくりを通じて、みんなでつくり上げる喜びを味わった。児童だけでなく、アーティスト、担当の方たちとの交流を職員も楽しんだ。
- ・ 準備の段階で何度も打合せをしていただき、活動が具体的になった。また、当日の準備(材料等)をしっかりしていただき、計画通りに実施することができた。
- ・ 本校では隔年で学芸会、作品展を行っています。2013年は学芸会の年にあたるため、授業数との関係で取り組む事は難しいと思います。
- ・ 内容が教育課程と合わない場合は取り組む事はできません。今回も教育活動とのすり合わせという点では苦労がありました。

第3章 経済波及効果

3-1 算出方法の概要

経済波及効果の算出は、横浜トリエンナーレや越後妻有アートトリエンナーレでの算出例を踏まえ、産業連関分析による方法を用いて実施した。

具体的な算出フローは、次ページに示すとおりであり、第2次波及効果まで含めて算出した。その他の具体的な算出条件は、以下のとおりである。

①産業連関表

- ・平成17年愛知県産業連関表を用いる。
- ・産業部門数は、既定の110部門で行う。

②事業費

平成20年度から平成22年度までの3か年のあいちトリエンナーレ実行委員会の支出及び緊急雇用創出事業基金事業による補完事業による支出（※）を合計して、事業費（主催者等総支出額）を算出する。

※あいちトリエンナーレ2010開催報告書70～71ページ及び73ページを参照。

③来場者数

全会場の会期中来場者数は57万2千人であるが、このなかには複数会場を回遊した来場者がいることから、会期中に行った来場者アンケート調査結果（第2章2-1）を用いて、平均来訪回数（平均の会場立ち回り数）を算出し、これで除した。

- ・来場者の平均来訪回数＝2.78回/人（来場者アンケートより算定）
- ・来場者数：57.2万人÷2.78≒21万人

以上より、本芸術祭の来場者数を、21万人とする。

表3-1-1 来場者数の算定結果

延べ来場者数	572,023人
平均来訪回数	2.781
実来場者数推計	205,690人

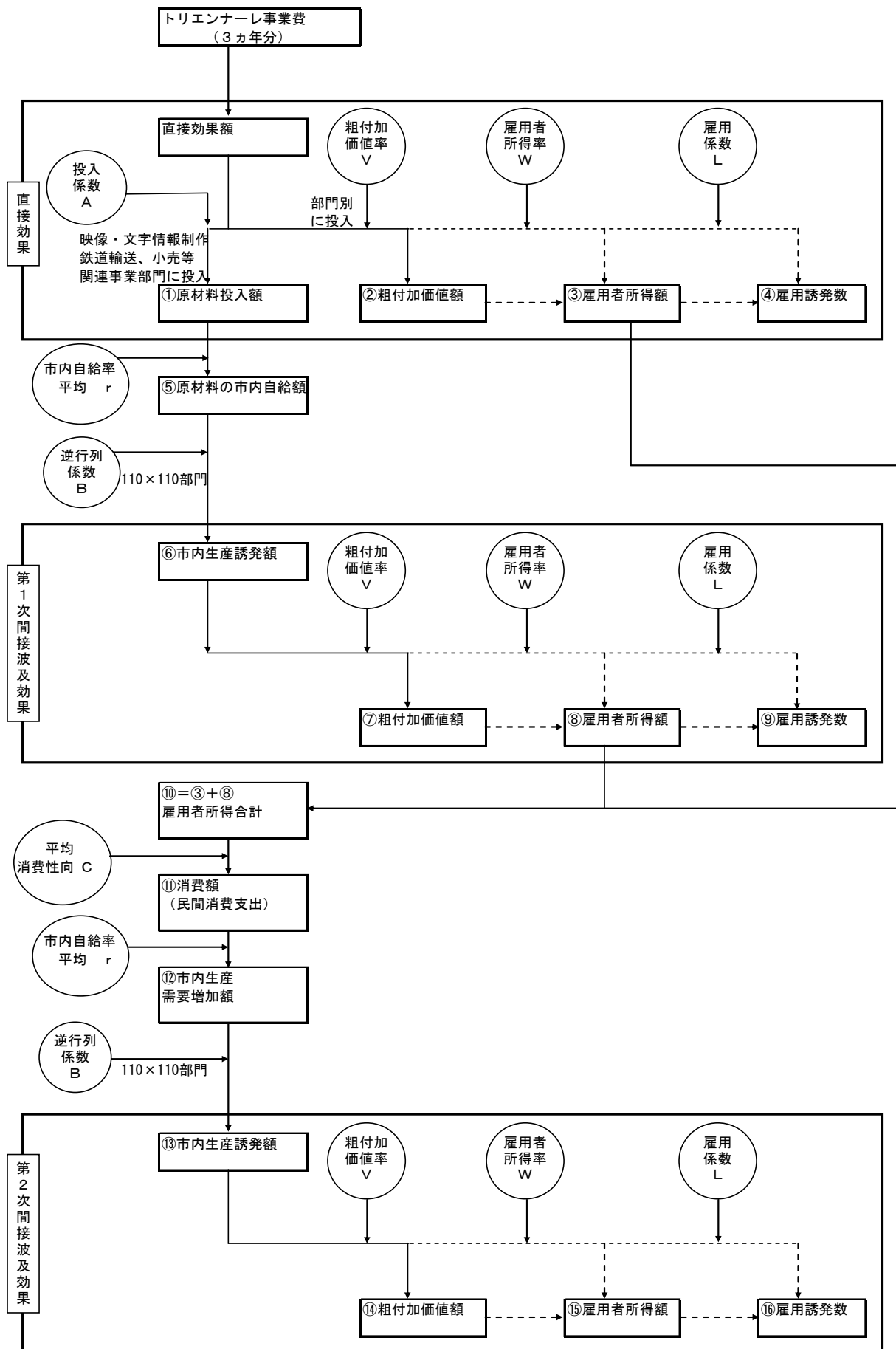
④来場者の消費額

来場者の買い物・飲食に伴う消費支出額の算定は、来場者アンケートからわかる、トリエンナーレ来場に伴う一人当たりの平均支出額を用いて試算する。

ここでは、アンケートで回答された一人当たりの平均支出額に、来場者人数を乗じることで算出している。

表3-1-2 来場に伴う消費支出額

	平均消費額	総支出額（円）
飲食	1,721	353,991,939
買い物	3,767	774,833,024
駐車場代	1,000	27,562,417



⑤来場者の交通費

i) 広域アクセス客の交通費

国内の地域別来場者数については、来場者アンケート調査結果を用いる。方面別来場者数は、表 3-1-3 に示すとおりである。

これらの圏域の来訪者は、全て宿泊客とし、圏域毎に新幹線、飛行機利用客を設定している。

この設定を元に、トリエンナーレ来場者の飛行機利用費用、新幹線利用費用を算定した結果を、表 3-1-4 に示す。

表 3-1-3 広域交通の設定根拠

	人数	割合	交通単価	交通手段	長距離交通費計
首都圏	375	11.34%	10,780	新幹線	502,720,998
関西圏	227	6.86%	6,300	新幹線	177,845,714
東北	12	0.36%	30,230	飛行機	45,112,448
北海道	7	0.21%	40,250	飛行機	35,038,130
四国	12	0.36%	14,500	新幹線	21,638,455
中国	16	0.48%	13,830	新幹線	27,518,145
九州	21	0.63%	26,700	飛行機	69,728,055
信州甲信越	19	0.57%	26,600	飛行機	62,851,006
北陸	31	0.94%	7,800	電車	30,069,991
合計	720	21.77%			972,522,943

表 3-1-4 トリエンナーレ来訪者の航空機・新幹線利用費用

	鉄道輸送	航空輸送	合計
遠距離交通費	759,793,303	212,729,639	972,522,943

ii) 市内交通費の設定

市内交通費については、「平成 21 年度 交通費は名古屋市観光客・宿泊客動向調査結果」より、名古屋市内観光客の交通費単価を使用した。

前出の広域客は、全て名古屋市内に宿泊するとの前提条件のもとで試算している。

- ・名古屋市内（含む宿泊）：名古屋市内居住者、及び広域からの観光客
- ・名古屋市外（日帰り圏）：宿泊圏外の東海 3 県の居住者

表 3-1-5 広域交通の設定根拠

	交通費	割合	交通費計
名古屋市内（含む宿泊）	424	54.2%	47,269,134
名古屋市外（日帰り圏）	1,023	45.8%	96,372,609

iii) 宿泊費用

来訪者アンケートでの宿泊単価を用いて、先述の広域来訪者について宿泊費用を算定した。

表 3-1-6 広域交通の設定根拠

	宿泊単価	宿泊圏数	宿泊費用
宿泊代	6,721	45,252	304,136,875

3-2 算出結果

先の条件にもとづき、本芸術祭の経済波及効果を算出した。

その結果を、表 3-2-1 に示す。

また、雇用者所得額増、雇用者誘発数等の雇用関係指標を、表 3-2-2 に示す。

表 3-2-1 本芸術祭の経済波及効果試算結果

経済波及効果	主催者等総支出額	第1次波及効果	第2次波及効果
78.1 億円	18.1 億円	50.7 億円	9.3 億円

表 3-2-2 本芸術祭の雇用関係指標

雇用関係指標	
雇用者所得額増加	1,912 百万円
新規雇用誘発数	529 人

第4章 パブリシティ効果等

4-1 算出方法の概要

算出方法は、各メディアへの掲載又は放映と同じ分量を広告出稿した場合の料金を、1件ごとに算出し、合計している。

テレビ・ラジオのパブリシティ効果＝原単位価格×放送時間

新聞・雑誌のパブリシティ効果＝原単位価格×記事面積

4-2 パブリシティの算出結果

先の方法によるパブリシティ効果の算出結果を下表に示す。

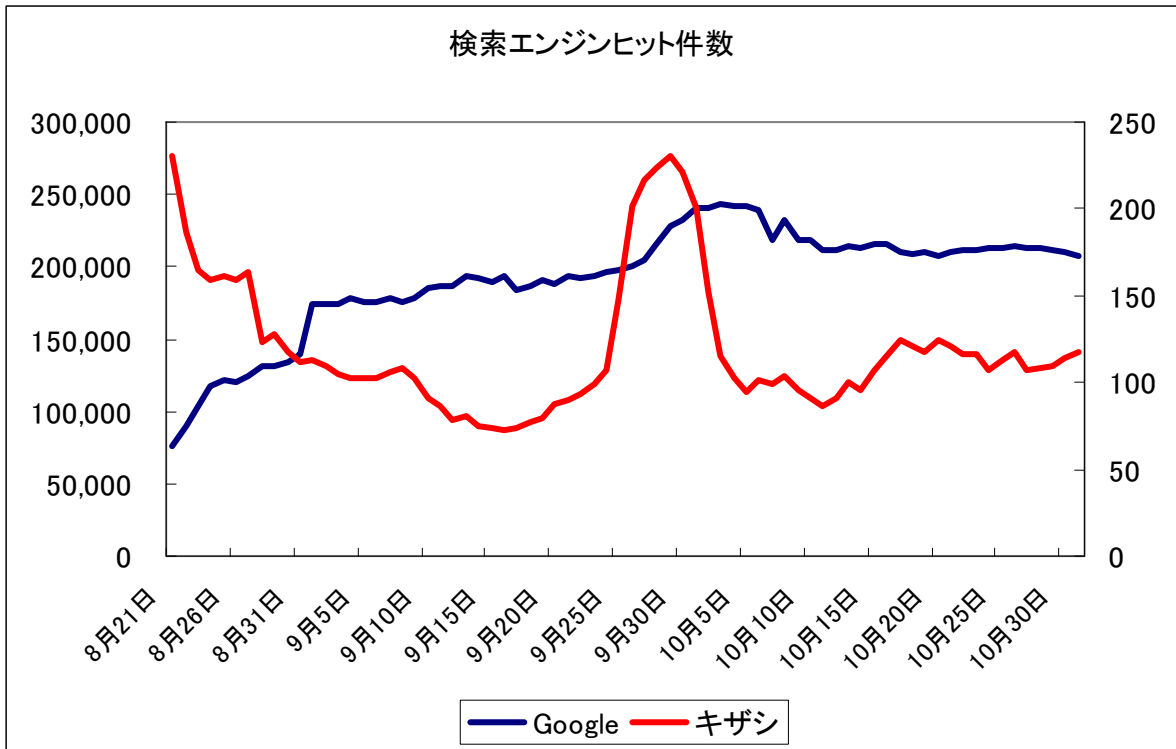
表 4-2-1 パブリシティ効果の算出結果

種別	件数	合計金額(百万円)
新聞	873件	1,528
テレビ	176件	3,073
ラジオ	12件	11
雑誌等	222件	116
計	1,283件	4,728

4-3 Web等での取り扱い状況

下のグラフは、トリエンナーレ開催1週間前から開催期間中の

- ・googleで「あいちトリエンナーレ」と入力した場合にヒットされた件数
- ・kizasiから検索された「あいちトリエンナーレ」関連のブログ数をまとめたものである。



注:キザシ(<http://kizasi.jp/>)・・・大手ブログサイトを中心に毎日25万のブログエントリーを収集、タイトルと本文に記されたすべての言葉を解析し、約10分おきにデータを更新している。件数は記事の件数だが、「その日以前1週間分の合計数」

第5章 有識者ヒアリングの結果

下表に示す有識者に対し、本芸術祭終了後11月から12月にかけて、ヒアリング調査を実施し評価して頂いた。(五十音順)

氏名	職名
安住恭子	演劇評論家
延藤安弘	愛知産業大学大学院教授
北川フラム	アートディレクター
篠田正浩	元映画監督
高北幸矢	名古屋造形大学学長
南條史生	森美術館館長
西松典宏	元NHK日曜美術館プロデューサー
藤井知昭	愛知芸術文化協会理事長
藤江充	愛知教育大学教育学部教授

■安住恭子 氏

1. 良かった点

- ・首都圏ではみられるが、名古屋では見られなかった「ローザス」「ヤン・フェアブル」が見られた点はよかった。「ローザス」は一つの時代を切り開いたダンスであり、「ヤン・フェアブル」は演劇とダンスと美術の3つの要素を含む作品で、共に世界水準のダンスを見ることができた。またそれらを止揚して、「ニブロール」や「チェルフィッチュ」が生まれてきた流れを確認することができた。
- ・平田オリザ氏のロボット演劇は、ロボットの先端技術を活用した作品で、多くの人の興味を呼び、パフォーミングアーツ全体の呼び水になったと思う。
- ・本芸術祭を劇場のほかに、まちなかでも展開した点は、よかったと思う。

2. 今後の課題とすべき点

- ・美術だけでなく、パフォーミングアーツを取り入れた点はよかったが、美術とダンスの視点が強く、演劇的視点が弱かったように思う。
- ・日本の代表として取り上げられた「ニブロール」と「チェルフィッチュ」は共に先端ではあるものの、似たような方向性のものであった。日本のパフォーミングアーツには、他の領域もあるのではないかと思う。例えば、美術と演劇と音楽の壮大な融合を図った大阪の「維新派」のようなものも取り上げられたらよかったと思う。
- ・愛知県美術館のギャラリーGで上演されたパフォーミングアーツは、少しコンセプト倒れの感じがした。やはり美術的視点からのみ選ばれた作品という感じがする。

- ・祝祭ウィークは、何のウィークだったのかよく理解できない。優れた作品もあったものの、単なる普通の公演の寄せ集めに思えた。予算も付け、コンセプトもしっかり立てて取り組んで欲しかった。
- ・パフォーマンスアートにもっとお金をかけるべきだったと思う。また、愛知発の創造性のある作品を作り、発信する点で弱かったと思う。
- ・初めてのことでやむを得ないことも多かったと思うが、もう少し、地元を巻き込んだ展開を考えるべきだった。例えば瀬戸内では、どこに行っても市民が PR 活動をしていた。愛知でも、広域的に県民、名古屋市と、しっかりタッグを組んで欲しかったと思う。

3. 印象的な芸術作品

ヤン・ファール「またもけだるい灰色のデルタデー」
「ローザス・ダンス・ローザス」

4. 点数

- ・ 75点

5. その他

本芸術祭は、演劇界に限っては、それほど話題にはなっていないようだ。東京などから見に来る人も少なかった。ダンスの人たちは、よく来ていたようであるが。

■延藤安弘 氏

1. 評価できる点：

- ・昨年からの助走期間があった点が良かった。長者町の地元も心の準備ができたと思う。
- ・「KOSUGE 1-16」さんが、お子さんを長者町につれてきたが、この子が呼び水になり、関係者の子供たちが多く集まるようになった。子供がゼロの冷たいまちに、暖かいコミュニティができた。錦二丁目そのものを多様性のまちにするべきだと考えるが、トリエンナーレは、これの先導役であったといえる。
- ・表現としてのまちとアートの融合も大変良かったが、特にトリエンナーレの開催を通じた、人々の交流（プロセス）が、まさにトリエンナーレのアートだったのではないか。
- ・「KOSUGE 1-16」さんが提案した「山車」は、地元のアーティストや地元若手経営者の会が協働で成し遂げた。この協働を産み出した点が、特に良かったと思う。地元若手経営者の会は、当初まちづくりに興味がなかったようだが、トリエンナーレでのイベント準備を通じて、“まちに顔を向ける”ようになった。これこそが、アートの効果だと思う。
- ・まちとアートの効果は、人と人の対立を融和し、意識変化をもたらす効果があると思う。アートは「まちづくりのビタミン剤」だと思う。
- ・トリエンナーレによって、「長者町に人が集まる→土日も店を開ける→トリエンナーレがなくても休日にもぎわうまちに衣替えする」といったまちの変化が表れるといいと思う。
- ・帽子を売る、帽子屋さん前で、アーティストが絵を描くのは、まちの日常活動とアートを融合した、このまちならではのアートであった。

2. 改善・修正すべき点：

- ・土日も飲食店等の店を開く、おもてなしのまちに変化することが大事。今回は、あけていないお店が多かった（飲食でなく「卸系」も含めて。土日にアウトレット衣料を売るとか・・・）。
- ・恐ろしいほど、レストスペースが不足していた。道端で休んでいる人等も一杯いた。16ha にベンチが3つしかないのは問題だ。日常のビジネスマンのためにも必要だと思う。

3. 素晴らしかった作品：

- ・KOSUGE1-16
- ・ナウイン・ラワンチャイクン
- ・ナタリア・リボヴィッチ&藤田央
 - ストリート・パフォーマンスに参加者も自らかかわり生きる夢を共に表現した
- ・トロロスタジオ+栗本設計事務所（企画展、光のインスタレーション）
 - 光線の遊び的表現を通してまちのしゅみをあらわした
- ・浅井悠介→まちにワイルド感覚をの呼びかけ
- ・渡辺英司→常識をくつがえす発想のユニークさ
- ・山本高之→子どもの想像力を触発するアート

4. 成功/失敗、もしくは100点満点とした時の点数：

- ・120点つけたい。
- ・地元が、「トリエンナーレでいくら儲かった」でなく、「いくら出資した、貢献した」という発想をもってもらえるようにすべき。トリエンナーレのために、場所や制作費等を地元が負担し、人々も参加する仕組みができたことは「長者町」モデルといえるのではないかな。

以上

■北川フラム 氏

1. 評価できる点

- ・特に二美術館での展示が「丁寧」で、作品の質も総じてレベルが高かった。予算を使った美術館の展覧会として（北川さんはいつも低予算で苦しめられている由）大変興味深く、「都市美術愛好家」が好むものとなった。
- ・オペラ等見るチャンスがなかったが、パフォーマンスアートを積極的に取り入れた点は良かったと思う。

2. 改善・修正すべき点

- ・改善すべき点でもなく、ましてや批判でもないが、あいちトリエンナーレと称している割には、名古屋だけの祭典だったという印象を持った。
- ・トヨタ、焼物に代表される愛知特有のクラフトマンシップ、あるいは人の手のかかった物だけが持つ文化性のようなものが、アートにうまくリンクしてくるともっと良かったかもしれない。

- ・長者町は評判が良かったようだが、自分ではさほどとは感じなかった。点在する空家を利用した展開だったが、繊維の町としての長者町の性格が伝わってこなかった。他の会場と較べキュレーションの力が明らかに不足しているとの印象を持った。
- ・町全体の祝祭的雰囲気期待していた程伝わってこなかった。

3. すばらしかった作品

A09：三沢厚彦＋豊嶋秀樹→空間の作り方がとても面白かった。
長者町のカフェ：作品ではないが雰囲気がとても良かった。

4. 成功/失敗、もしくは100点満点とした時の点数

- ・点数をつけるというのはなじまないが、第1回目としては大成功と思う。

以上

■篠田正浩 氏

少年時代の私にとって、名古屋は芸術と出会うことのできる刺激的な場所だった。戦後焼野原のなかでみた急造のバラックの家や御園座の歌舞伎は相当刺激的なものであったが、今回のトリエンナーレはこれに相通じるものがあった。

あいちトリエンナーレは、壁にかかった美術でなく、フュージョンの世界であり、ジャンクアートだと思った。これが、少年時代の体験に近いものであり、大変面白かった。特に、来場者が、まちなかでアートと出会える仕掛けは、本当によかったと思う。

印象的だったのは、名古屋市美術館に展示されていた島袋道浩さんのものだ。港町の光景を美術としてとらえて大変印象的に表現された。

トリエンナーレは、「鑑賞」でなく「発見」の場であること、焼野原のなかで「美」を「見出す」感覚が、先の少年時代の体験に大変似ていて、私自身がウキウキしながらみさせてもらった。特に長者町は大変印象深かった。長者町は、戦後日本の盛衰の記憶であり、そこでアートを展開することが素晴らしいと感じた。チェンマイのナウイン・ラワンチャイクンは特によかった。長者町だからこそ、アジアアートとの出会いが絵になる。日本でほとんど知られていない、アジアの前衛作家が長者町に集結して出現したことが、今回のトリエンナーレの特徴だったと思う。

以前、友人であり、建築家で名古屋市美術館を設計した黒川記章氏が固定しないアートを考えていたことがある。今回のトリエンナーレを是非黒川氏がみせたかった、喜んだであろう……。

名古屋の活性という観点だけでなく、世の中は栄枯盛衰を繰り返すもの。今回のトリエンナーレは、名古屋の埋もれた焼け跡、歴史、そして現在のアートが交錯しており、私自身、今回のトリエンナーレのなかに何か焼け跡の匂いを感じた気がした。

若者たちがこんなに集まり、芸術を凝視している姿をみて、私自身本当に感動した。戦後の少年時代の私と同じ感覚だったのではないだろうか。

納屋橋会場で中国作家、孫原＋彭禹の本が飛んでくるテラス、あれもよかった。美術見学なのに「近寄らないで下さい」というユーモアあふれるアナウンスメントがあったのは、よかったね(笑)

僕は、あれをみて倦怠期の「ロミオとジュリエット」を思い描いた（笑）。アートを通じて、中国の現在がどうなっているかわかると思う。国家の一極体制の限界が近づいていることをアートが教えてくれていて、面白い。

トリエンナーレは、東京のような権威的なアートでなく、大衆のアートである。このクロスロードが長者町であると考えている。

長者町の人の住まなくなったビルの壁の剥落に描かれた絵こそ一瞬の美だと思う。私は、銀行の応接室の壁に掛かった高価な絵画が美術だとは思わない。生きている間の一瞬の美を私は大事にするべきだと思う。今回の長者町のトリエンナーレは、そんな点でも象徴的であったと思う。

ソニーの盛田会長、黒川記章等多くのイノベーションが名古屋からはじまり、名古屋は近代化の拠点だったと思う。アジアと日本のアートの出会う場所が、トリエンナーレであり、トリエンナーレはとてもいい出会いができたと思う。名古屋で有名な建築家や芸術家が現れたのは、名古屋にそのような度量があったからだと思う。インダストリアルアートとファインアートの境界はない。このなかで、生活や産業とアートが融合することで新しいアートが生まれるであろう、そこにトリエンナーレの意義があるのではないか。草間弥生さんの水玉の人力車もそのような点で象徴していたと思う。

トリエンナーレは、死体（Body）を蘇生させることだろう。都市という Body を蘇生するのがトリエンナーレだ。

次回トリエンナーレに向け、あまり継続性を意識するのではなく、若い世代に訴え続けることを考えることが大事。トリエンナーレをやったことで、今までの箱もの行政から、ソフトウェアへの大きな転換がはかられたと思う。

今後、トリエンナーレが扱う芸術をクラシックアートに戻す必要はないし、西洋化の美を求める必要もない。これからは新しい「アジアアート」という切り口を大事にするべきであろう。

次のトリエンナーレは、もっと音楽家とのコミットが必要だろう。音楽と光のインスタレーションができる。音はいつか消えるのものだから、仮想の時間のなかで音と光とアートの融合ができると思う。

以上

■高北幸矢 氏

1. 評価できる点：

- ・当初、トリエンナーレは、「アートのロックフェスティバル」となることを期待していた。長者町は、その期待に十分応えてくれた。すなわち、「ドアを叩き破るようなアート」、「みんながみたことのないアート」。今現在、美術館の入場者数が減っている。これは、補助金等の問題でなく、感動するアートがないからだ。
- ・美術館のアートは、「クラシック音楽」と同じ。みんな、構えてみに来る。だから、それ以上の期待はない。県立美術館は、まさにこれだった。これまで通りの方法であれば、トリエンナーレの必要性は全くなかったであろう・・・
- ・長者町は、ボランティアを立たせ、案内に加えて目立たせたことが良かった。ボランティアは、トリエンナーレの広告塔みたいなもの。来訪者もボランティアをみて、心の準備ができたので

はないか。(横浜トリエンナーレは、ボランティアも少なく、どこに行ってもいいか、わからなかった。)

- ・美術館のパフォーミングアートも、ギャラリーGで行ったのが良かった。展示空間でやることで、椅子に座ってみるパフォーミングアートでないことが示された。これもホールのみでやっていたら、トリエンナーレの意味は少なかったであろう。
- ・パフォーミングアーツは、今日しかみられないという点がおもしろい。

2. 改善・修正すべき点：

- ・メイン会場をなくし、長者町のような非日常性のところだけでやるのも可能性があると思う。
- ・公園を活用するアートがもっとあっても良かったのではないかな。
- ・瀬戸内芸術祭は助走期間が十分であったが、あいちの助走が足りない気がした。開催説明に時間がとられすぎていた気がする。そのため、アーティストの確保が遅すぎたのではないかな。次回は、もっとアーティストを集める時間を確保すべきだ。(2年前の越後妻有トリエンナーレの時には、既に瀬戸内芸術祭は準備をしていた。北川フラム氏の力かもしれない・・・)
- ・作品の写真撮影を許可すべきだった。外国の美術館は殆ど撮影が許されている。モナリザは複写を介し、広まり、誰もが「本物」を見たいと思うようになる。音楽が普及したのも、レコード等の「複写」の力。次回は、撮影許可をスタートラインとし、協議を開始すべき。アーティストが、それでも「撮影不可」といった場合にのみ撮影禁止にすればいい。

3. 素晴らしかった作品：

- ・松井紫朗：美術館のなかではよかった。
- ・平山素子：予想通りのすごさ。
- ・アーヒム・シュティアーアマン+ローランド・ラウシュマイアー
- ・宮永愛子

4. 成功/失敗、もしくは100点満点とした時の点数：

- ・80点
当初、私自身の予想は70点だったから、合格といえる。
- ・都市の「イメージ」と「力」を創るのがトリエンナーレだ。これからは、トリエンナーレがなくても、ワクワクさせられる街になるようにしなくてはいけない。

以上

■南條史生 氏

質問に入る前に、南條館長から「(既存作品の図版が掲載されている)公式カタログとは別に、実際に出展された作品の記録写真集のようなものがあるといいですね」、との前置きがあった。

※事務局注：ヒアリング当時の出版物は公式ガイドブックのみで、カタログ(平成23年1月に発売)はまだ完成していなかった。

1. 評価できる点：

- ・多ジャンルにわたり、特にパフォーマンスに重きが置かれていたのが良かった。いままでの芸術祭では見られない新機軸だった。
- ・時代は、モダニズム、ポストモダンを経て協働の時代に入った。その点、コラボレーション・シェアリングの方向性が意識されていて良かった。
- ・長者町の展開は、美術館の枠を超えた印象深いものだった。また、ボランティア、町の人などのローカルコミュニティの参加が実感され、評価できる。
- ・ふだん見られないような大規模のインスタレーションは、まさにトリエンナーレにふさわしく、楽しめた。

2. 改善・修正すべき点：

- ・パフォーマンスのプログラムが充実していたのは良かったが、どれを見ればいいのかかわからず、ガイダンスのような判断の材料が欲しかった。
- ・動く作品のうち、稼働していなかったものがいくつか目についた。
- ・美術館を使用するのも良し悪しで、印象としてよくある美術館の現代美術展と大差ないものになってしまう。トリエンナーレは美術館展とは、一線を画すべきものであるだろう。
- ・「都市の祝祭」というだけでなく、もっとテーマを絞ってもいいかも知れない。
- ・欧米人が芸術祭企画の際によくやるような「ネガティブな」「批判的」テーマ・メッセージではなく、アジアならではの世界に向けたポジティブなメッセージを発することができればいいのではないかと思う。
- ・たとえばアジアの祭典に、欧米も参加してもらおうというアピールをもっとしてもいい。キュレーションのチーム構成は、それだけでメッセージ性があるので、たとえばアジア人のみによるキュレーションチームが、欧米の作家を含めた人選をするという時代かも知れない。
- ・キュレーション、プロモーションにおいて実績を積んできた日本が主導権を持って、アジアの美術を牽引することが出来ると思う。
- ・自分が関わった、シンガポールビエンナーレでは世界中に40名程の「ネットワークキュレーター」を置き、作家の推薦をしてもらった。このことで、各地の参加意識が高まった。

3. すばらしかった作品：

- ・強烈な印象を残す作品は少なかったが、その中で

A08：ジャン・ホアン

A09：三沢厚彦＋豊嶋秀樹

A14：宮永愛子

A20：ヘマ・ウパディヤイ

A24：ツァン・キンワ

が面白かった。池田亮二のインスタレーションは評判が良かったようだが、見逃した。

4. 成功/失敗、もしくは100点満点とした時の点数：

- ・文化事業は、規模が大きい程効果が高く安易に縮小しないことが大切。

- ・最低3回、10年は継続しないと、アイデンティティも獲得できないし、経済的なものを含めた効果もわからない。
- ・従って、成功/失敗の判断は最低でも10年後に下すべきものだろう。
- ・それを前提に、1. で指摘した様々な成果により、第1回目としては100点満点では足りないぐらいの素晴らしい芸術祭だったと思う。

以上

■西松典宏 氏

1. 評価できる点：

- ・まちのなかにアートを創った点は大変よかった。特に長者町という廃れた場所、寂しいまちとアートとのコントラストはすばらしい。
- ・同時に、カフェ（クラウン）のおばさんと来訪者のつながり、お祭りを介した地域住民とのつながりなど、人間的なつながりが演出されている点も面白かった。

2. 改善・修正すべき点：

- ・瀬戸内との比較をされることを認識する必要がある。
瀬戸内は、民間主体ということもあり、島と広いエリアを活用し、今までと全く異なった展開をみせた。あいちは、従来型のアートでまちと美術館を結ぶことで、“従来のものを改良した”とのイメージが強く、損をしている。そのため、瀬戸内の方が、わざわざ来る価値があると考えられる。3年後は、「新しさ」をもっと出すべき。核となる「基地」を構えるといいかもしれない。

3. 素晴らしかった作品：

- ・平田オリザ+石黒浩研究室：演劇と音楽の融合は垣根を越えた芸術活動の第一歩だといえる。
個別を極めるだけでなく、交流を図る点がすばらしい。
- ・蔡國強（ツァイ・グォチャン）：今まで多くのプロジェクトをやっているが、二番煎じでなく、トリエンナーレのオリジナルを出し、歴史に残すものを行った点で評価ができる。
ああいうのが、もっとあってもいい。

4. 成功/失敗、もしくは100点満点とした時の点数：

- ・95点
- ・アートの提示の仕方が本当に丁寧だった。
- ・長い目で見て、まちの歴史に名を残すことが重要だ。それによって、市民に誇りが産まれる。ベネチアのビエンナーレは100年やっている。アートの心を持つだけでなく、まちのありようを記憶させていくことが重要。後世の人に喜んでもらえることが大事だ。100年続ける覚悟が必要。「あの時から、愛知が変わった」といわれることを目指してほしい。
- ・これから各地で芸術祭が起きるだろうが。そのなかで愛知らしさを出すことを考えてほしい。エリアを広げるだけでなく、深みを出すことに尽力すべきであろう。愛知は、日本を代表する芸術祭として、東京、横浜と同じように構えていけばよい、地方の芸術祭とは位置づけが違う

だろう。

以上

■藤井知昭 氏

1. 良かった点

- ・本芸術祭は、県民参加も多く、芸術の視野を高める極めて貴重な機会だった。

2. 今後の課題とすべき点

- ・祝祭ウィークの期間が短すぎた。2週間は欲しかった。
- ・「国際化」を取り違えていた感じがある。海外アートばかりに目が向いていたと思う。「愛知と世界をつなぐ」仕掛けがもっと欲しかった（例えば、からくりとロボットの融合等、愛知のモノづくり技能と芸術を融合するなど・・・）。さらに、この点とも関係するが、県内市町村の巻き込みが足らなかったと思う。
- ・名古屋の4芸術大学の連携もできていなかった。県芸の学生が、あいちでなく、瀬戸で頑張っていたのは、大変残念だった。
- ・陶磁器センターを中心に、地場産業と芸術の融合を目指すことを提案していたが、実現されていなかったことも残念だった。産業への効果をもう少し意識したほうが良かった。
- ・名古屋は東京に次いで、バレエの盛んな地域。また名フィルという楽団等も有しているが、これらが活用されなかったことも残念だ。
- ・参加した芸術家達の間で、「愛知でやった」、「また愛知でやりたい」の意識はあまりなく、愛知は彼らにとって、単なる「展示場」でしかなかったと思う。もっと上手い戦術を考えるべきだったと思う。
- ・同時開催されていた COP10 や開府 400 年との連携が弱かったと思う。芸術家等をいれてもっと議論するべきだったと思う。
- ・準備時間も十分ではなかったと思う。次の開催が決まっているなら、早速、今からでも準備に入るべきである。
- ・マスコミの巻き込み方に今一つ不足していた。

3. 印象的な芸術作品

- ・美術以外では、ホフマン物語。普段、芸文センターの使われていない施設機能がフル活用されている点も含めて好舞台だった。
- ・祝祭ウィークは、日本舞踊の色々な会派の融合や愛知の芸術家たちも参加できたのはよかった。
- ・長者町の空間も大変良かった。市民をきちんと巻き込めていた。

4. 点数

- ・ 80点

5. その他

- ・福岡の戦略は大変うまい。トリエンナーレを開催した昨年度に既に3年先のトリエンナーレの

準備に移っていた。1か月間アジアマンスをおくなど、アジアとのかかわりをうまくみせ、これによって福岡トリエンナーレのアジアでの位置づけを高めている。

- ・開催の成否を予算の大小に帰着させる傾向が見受けられるが、私は予算の大小は関係なく、やり方だと思う。海外では、「国際ファンド」を使う方法もある。イタリアでは、国際基金を活用している。堺芸術祭では、80か国を招集しているが、このうち自前持出しは50か国のみ、残り30か国はファンドを活用し、自国負担していた。ただ、この方法は、最低でも2年前の申請が必要。民間では助成可能な財団等も色々あるので、これを活用することを考えるべき。長者町など、街の活性化の視点での展開で考えられるのではないかな？

以上

■藤江充 氏

質問に入る前に、「あいちトリエンナーレには、教え子や知合いを通じて様々な場面で協力してきたので、半分は当事者であるような気もする。それを前提にお話ししたい」、「あくまで「教育」的立場からのコメントが主体となるかもしれない」とのご発言があった。

1. 評価できる点：

- ・オープンの日ほとんど長者町で過ごした。若者が多数集まり、いつになくまちに活気があふれていた。これが芸術祭の力と思った。大いに評価できる。
- ・長者町の道案内の人々が親切で、とても感じがよく、大変評判が良かった。

2. 改善・修正すべき点：

- ・記録・ビデオなど、会場に単発的に展示するだけでなく、ふさわしい場所（たとえば芸文センターの視聴覚ブース）で常時公表すれば、一層アプローチしやすかったろう。
- ・今後、地元作家との関わりが問題になってくる予感がする。もう少し協力を仰ぐような体制が取れないだろうか？
- ・映像作品の内容と展示の場所とのつながりが実感できるものが美術館外の長者町などでは必要ではないか。
- ・海・山に開催現場を拡げてみてもいい。今年の瀬戸内のような芸術祭を長年開催してきた佐久島との連携を検討すべき。
- ・特に近年重要性を増してきた、環境・自然とのかかわりの点でも、普段は見られない、行けない場所（交通の便の良くない）を会場にすることも意義がある。
- ・名鉄なども巻き込み、一層地域的な広がりを持たせることを考えてもいい。
- ・子供の活動場面が芸文センターの8階に集中していたが、一箇所に押し込められた感じがした。企画の趣旨からいっても、子供の活躍の場をもっと広げてもいい。
- ・作家は、十分な制作フィーを得ているのだろうか？コストのために凶らずもチープな作りとなってしまうような作品もあった。
- ・長者町で有料/無料の区別があったが、基準がわかりにくく一考を要すると思った。

3. すばらしかった作品：

- ・ C22：ナウイン・ラワンチャイクン
- ・ A05：蔡國強

4. 成功/失敗、もしくは100点満点とした時の点数：

- ・ デザイン博でまちはきれいになり、効果をすぐに実感することができた。トリエンナーレは、継続しないと見る人を変えることはできない。
- ・ 従って、一回のみの開催で成功/失敗を論じることはできないが、以上指摘した点を総合して、合格点の75点。

以上

卷末資料

アンケート調査票

あいちトリエンナーレ 2010 来場者アンケート調査票

以下の質問について、**■**のついた選択肢に○をつける、または**■**の空欄に回答をご記入ください。

問1: あいちトリエンナーレを何で知りましたか? (複数回答可)

- ①テレビ・ラジオ ②新聞 ③雑誌 ④駅・車内ポスター ⑤その他ポスター
⑥チラシ ⑦インターネット ⑧知人・友人から ⑨学校の先生から ⑩偶然通りかかって
⑪国際会議・イベントで紹介 ⑫その他()

問2: 上記媒体のうちで、「あなたが本日来場しよう」と思った効果的な媒体はどれでしたか。上記のなかから、最大2つまで該当するものの数字を記入してください。

(**■** , **■**) 【記入例】 (① , ⑨)

問3: あいちトリエンナーレに来た理由を教えてください。(複数回答可)

- ①美術に関心がある ②好きな作家の作品がある ③国際的な文化交流に関心がある
④マスコミで知って関心をもったから ⑤チケットをもらったから ⑥仕事・学校行事で
⑦偶然通りかかって ⑧名古屋観光のついで ⑨国際会議のついで
⑩その他()

問4: あいちトリエンナーレの感想をお聞かせ下さい。

(1) 今まで見た会場を全て教えて下さい。

- ①愛知芸術文化センター ②名古屋市美術館 ③長者町会場 ④納屋橋会場
⑤中央広小路ビル ⑥オアシス21 ⑦名古屋城 ⑧その他()

(2) 最も面白かった会場はどこでしたか? (複数ある場合は複数回答可)

- ①愛知芸術文化センター ②名古屋市美術館 ③長者町会場 ④納屋橋会場
⑤中央広小路ビル ⑥オアシス21 ⑦名古屋城 ⑧その他()

(3) 美術展の展示作品の感想をお聞かせください。

| 大変良かった 良かった 普通 良くなかった

(4) 芸術文化センター8階ギャラリーGやまちなかでのパフォーミング・アーツについて、感想をお聞かせください。

| 大変良かった 良かった 普通 良くなかった まだ見ていない

(5) 美術館や劇場の外で展示や公演があることについて、感想をお聞かせください。

| 大変良かった 良かった 普通 良くなかった

(6)会場スタッフの対応についてどう思われましたか。

大変良かった 良かった 普通 良くなかった

(7)入場料金についてどう思われましたか。

安い 適切 高い どちらともいえない

(8)開催時期についてどう思われましたか。

早い方がよい(春～夏) 今の時期でよい 遅い方がよい(秋～冬) わからない

(9)あいちトリエンナーレについて、全体的な感想をお聞かせください。

大変良かった 良かった 普通 良くなかった

(10)あいちトリエンナーレに来て、芸術・文化に対する興味・認識は高まりましたか？

大変高まった 高まった 普通 高まらなかった

問5:(1)あいちトリエンナーレには、今日で、何回目の来訪となりますか？

- ①はじめて ②2回目 ③3回目 ④4回目 ⑤5回目以上(具体的に 回)

(2)また今度あいちトリエンナーレ 2010 に来ようと思いますか？

- ①はい (→ あと 回来ようと思う) ②いいえ

問6:トリエンナーレにあわせてあなたが行なった都心での買い物・飲食行動を教えてください。

(1)トリエンナーレ会場及び周辺で立ち寄った場所と滞在時間を全てお聞かせ下さい。

(2) 買い物・飲食等立ち寄り先で、あなた自身が使った費用を教えてください。(お金を使わなかった時は、使ったお金の欄には“ゼロ”と記入)。

	立ち寄った場所・施設名	滞在時間(分)	使ったお金(円)	目的(①～④より選ぶ)
最初				①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()
次に				①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()
3 番目				①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()
4 番目				①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()
5 番目				①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()
6 番目				①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()

【記入例】

	立ち寄った場所・施設名	滞在時間(分)	使ったお金(円)	目的(①～④より選ぶ)
最初	愛知芸術文化センター	120	1800	①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()
次に	名古屋市美術館	90	500	①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他(おみやげ)
3 番目	松坂屋	110	4200	①飲食 ②買い物 ③入場料 ④その他()

(3)今日は、いつも遊びに来るときより、栄・伏見周辺を“歩き回った”方だと思いますか？

(①はい ②いいえ ③どちらでもない)

(4)今日は、いつも遊びに来るときより、栄・伏見周辺で“お金を使った”方だと思いますか？

(①はい ②いいえ ③どちらでもない)

(5)トリエンナーレの参加を通じて、栄・伏見周辺の魅力が“再発見”できたと思いますか？

(①はい ②いいえ ③どちらでもない)

・どのような点で、そう思いましたか？ ←

問7:あなた自身にとって、あいちトリエンナーレは、どんな効果があったと思いますか。(複数回答可)
何の効果もなかったと思う場合は無記入で結構です。

- ①芸術への関心が高まった ②諸外国の美術にもっと触れてみたいと思った
- ③自分自身も創作活動をはじめようと思った ④愛知県内の美術館巡りをしようと思った
- ⑤栄・伏見周辺の面白さを知った

・その他に感じた「効果」があれば、何でも結構ですので、自由にご記入ください。

問8:あいちトリエンナーレには、どんな効果があると思いますか？(複数回答可)

- ①文化芸術の振興 ②教育効果 ③国際交流の促進 ④文化面での国際貢献
- ⑤海外から観光客誘致 ⑥海外からのイベントや会議の誘致 ⑦愛知・名古屋のPR
- ⑧都心や地域の活性化

・その他に感じた「効果」があれば、何でも結構ですので、自由にご記入ください。

問9:次回3年後のあいちトリエンナーレに行きたいと思いますか？

- ①絶対行く ②たぶん行く ③わからない ④行かない

問10:次回のあいちトリエンナーレが、より良いものとなるためのご意見等、何でも結構ですのでご自由にご記入ください。

★ あなたのことを教えてください。

Q1;性 (①男 ②女)

Q2;年齢 (①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上)

Q3;お住まい (_____ 県 _____ 市・区 _____ 丁目)

Q4;美術に関する仕事の経験の有無等

(①美術に関する仕事に従事・したことがある ②美術の勉強をしたことがある ③特になし)

Q5;過去1年間の美術館来訪頻度

(①はじめて ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回 ⑥それ以上 (_____ 回))

Q6;本日同伴者数

(①自分1人 ②家族で来た(合計: _____ 人) ③友人・知人と来た(合計: _____ 人))

Q7;チケットの入手方法

(①当日券購入 ②前売り券購入 ③知人からもらった ④職場・学校でもらった)

Q8:今回ご覧になった会場はどこでしたか? (今日1日で複数会場をみた場合は全て回答)

(①愛知芸術文化センター ②名古屋市美術館 ③長者町会場 ④納屋橋会場
⑤中央広小路ビル ⑥オアシス21 ⑦名古屋城 ⑧その他(_____))

Q9;来訪交通手段

(①鉄道 ②バス ③自家用車 ④自転車 ⑤タクシー ⑥徒歩 ⑦その他(_____))

Q10;普段、仕事以外の買い物・飲食等で、栄・伏見周辺に来る来訪頻度

(_____ 回/ 週・月・年 程度) ← 週・月・年の何れかに○を付す

Q11;普段、仕事以外の買い物・飲食等で、栄・伏見周辺での滞在時間と施設立ち寄り箇所数

(滞在時間: _____ 分程度、 立ち寄り箇所数 _____ 箇所程度)

Q12;普段、仕事以外の買い物・飲食等で、栄・伏見周辺に来た時の平均的な消費金額

(だいたい _____ 円 位)

Q13;このアンケートにお答え頂くのは何回目ですか?

①はじめて ②2回目 ③3回目 ④それ以上

ご協力ありがとうございました。

調査日 _____ 月 _____ 日 調査会場 ①芸文 ②市美 ③長者町 ④納屋橋

あいちトリエンナーレ 2010 ^こ子ども来場者アンケート

しつもん1 ^{なんねんせい}あなたは何年生ですか？

- ^{しょうがっこう} 小学校 ①^{ねんせい}1年生 ②^{ねんせい}2年生 ③^{ねんせい}3年生 ④^{ねんせい}4年生 ⑤^{ねんせい}5年生 ⑥^{ねんせい}6年生
^{ちゅうがっこう} 中学校 ①^{ねんせい}1年生 ②^{ねんせい}2年生 ③^{ねんせい}3年生

しつもん2 ^{せいべつ}性別は？ (①^こおとこの子 ②^こおんなの子)

しつもん3 ^すどこに住んでいますか？ (_____ 県 _____ 市・郡)

しつもん4 ^{なに し}トリエンナーレを何で知りましたか？ (いくつでも)

- ①^{がっこう}学校で ②^{とう}お父さん・^{かあ}お母さんから ③^{とも}友だちから^き聞いた ④^{じどうかん}児童館 ⑤^{としよかん}図書館
 ⑥^{ちらし}チラシ ⑦^{ホームページ}ホームページ ⑧^{ポスター}ポスター ⑨^{テレビ・ラジオ}テレビ・ラジオ ⑩^{しんぶん}新聞 ⑪^{ざっし}雑誌
 ⑫^{その他}そのほか(_____)

しつもん5 ^{きょう たの}今日は楽しかったですか？

- (①^{たの}とても楽しかった ②^{たの}楽しかった ③^{ふつう}ふつう ④^{たの}楽しくなかった)

か
うらも書いてね！！

しつもん6 よかった作品や、感想を聞かせてください。

しつもん7 ^{いま たの かいじょう} 今まで楽しい会場はありましたか？

(①あつた ②なかつた ③まだ他の会場に行っていない)

↓
・「①あつた」の人は、どの会場が楽しかったですか？(いくつでも)

①愛知芸術文化センター ②名古屋市美術館 ③長者町会場 ④納屋橋会場

⑤名古屋城 ⑥オアシス 21 ⑦中央広小路ビル ⑧その他

()

しつもん8 またトリエンナーレに来たり、作品を見たいと思いますか？

(①すごく思う ②思う ③わからない ④思わない)

ありがとうございました

調査日 _____ 月 _____ 日 プログラム名 _____

キッズトリエンナーレ アンケート

あてはまる^{こた}答えにマルをつけてください。

しつもん1 あなたは何年生ですか？

- しょうがっこう ねんせい ①1年生 ねんせい ②2年生 ねんせい ③3年生 ねんせい ④4年生 ねんせい ⑤5年生 ねんせい ⑥6年生
- ちゅうがっこう ねんせい ①1年生 ねんせい ②2年生 ねんせい ③3年生

しつもん2 性別は？ (①おとこの子 ②おんなの子)

しつもん3 どこに住んでいますか？ (_____ 県 _____ 市・郡)

しつもん4 今日のことは、何で知りましたか？ (いくつでも)

- ①学校で ②お父さん・お母さんから ③友だちから聞いた ④児童館 ⑤図書館
- ⑥チラシ ⑦ホームページ ⑧ポスター ⑨テレビ・ラジオ ⑩新聞 ⑪雑誌
- ⑫そのほか(_____)

しつもん5 今日、参加してくれた理由は？

- ①学校ですすすめられた ②お父さん・お母さんにすすめられた ③お友だちにさそわれた
- ④じぶんで行ってみたいと思った ⑤そのほか(_____)

か
うらも書いてね！！

しつもん6 きょう たの 今日楽しかったですか？

(①とても楽しかった ②楽しかった ③ふつう ④楽しなかった)

(感想を書いてね) ※ダンススタジオの部屋の感想や参加した感想など

しつもん7 えをかいたり、ものをつくったりすることは前から好きでしたか？ (①はい ②いいえ)

しつもん8 これからも、自分で絵をかいたり、ものをつくったりしようと思いましたが？

(①すごく思った ②思った ③わからない ④思わなかった)

しつもん9 またトリエンナーレに来たり、作品を見たいと思いますか？

(①すごく思う ②思う ③わからない ④思わない)

しつもん 10 またキッズトリエンナーレに来るとしたら、どんなことがしたいですか？

ありがとうございました



アンケート

本日はお越しいただき誠にありがとうございました。今後の参考にさせていただきますので、お手数ですが、アンケートにご協力をお願いいたします。なお、アンケートの結果は出演者にもお伝えします。

年齢	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60以上	性別	(男・女)
お住まい	名古屋市内	名古屋市外愛知県内			岐阜県	三重県	その他()	
職業	学生	会社員	公務員	自営業	主婦	無職	その他()	

1 本日の催しはどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

- 積み置きや配布されたチラシ(チラシを手に入れた場所は))
- 新聞() 雑誌() ダイレクトメール
- インターネット(差し支えなければ掲示板名やサイト名を教えてください))
- 知人・友人から 出演者・スタッフから その他()

2 本日の催しをご覧になった動機は何ですか。(複数回答可)

- 出演者・作品への興味・関心
(ロボット 青年団 ロボット版「森の奥」 その他【)
- あいちトリエンナーレの催しに興味があるから
- 知人・友人に誘われて
- その他()

3 本日の催しはいかがでしたか。

- 大変良かった 良かった 普通 あまり良くなかった 良くなかった
- 印象に残ったのは
- ロボット 俳優() 舞台美術 その他()
- 本日の催しの感想や、今後取り上げてほしい企画等があればお書きください。

4 あいちトリエンナーレ実行委員会事務局からのDMが届いていますか。(いる・いない)

新たにDMの送付を希望される方、ご住所などの変更のあった方は下記もご記入ください。
(新規・変更)

既に届いている方で、継続してDM送付を希望される方は、お名前と郵便番号をご記入ください。

ふりがな お名前	年齢	ご職業
ご住所 〒 -		
E-Mail		

5 から今後DMなどを送付してもよろしいですか。(口はい 口いいえ)

※ ご記入いただいた個人情報は、上記目的以外では使用せず、あいちトリエンナーレ実行委員会事務局と愛知芸術文化センターにて厳重に管理します。

ご協力ありがとうございました。アンケートは回収箱にお入れください。



あいちトリエンナーレに関するアンケート調査（長者町の皆様へ）

あいちトリエンナーレ2010もお陰様で無事に終わることができまして、開催に当たりましては多大なご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回への取組に向けた参考とするため、長者町の皆様に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートにご協力を頂きたく、よろしくお願い致します。

なお、用紙は記入後、 月 日（ ）までに、FAX（ — — ）
でお送りいただくか、又は同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

平成22年11月

愛知県県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

● 事業者名、団体名またはご氏名をご記入ください。→

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問1. 最初に国際芸術祭の構想を知った際、長者町でのあいちトリエンナーレの開催に賛成でしたか。

- ① 賛成だった ② どちらともいえない ③ 反対だった

問2. 今現在は、長者町でのあいちトリエンナーレを開催してよかったと思われませんか。

- ① よかったと思う ② どちらともいえない ③ よかったとは思わない

問3. あいちトリエンナーレに対する評価をお聞かせください。

(1) 長者町の展示作品

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 悪い

(2) その他会場の展示作品

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 悪い

(3) ボランティアスタッフの対応

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 悪い

(4) 8月～10月の開催時期の設定

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 悪い

(5) 長者町を会場としたことについて

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 悪い

(6) トリエンナーレ期間中は、長者町が賑わったと思われませんか。

- ① 大変賑う ② 賑う ③ どちらともいえない ④ 賑わない

(7) トリエナーレは、長者町の活性化や、好ましい意識の変化に貢献したと思われますか。

- ① 大変貢献 ② 貢献 ③ どちらともいえない ④ 貢献なし

→・どのような点で、貢献したと思われましたか？

(8) トリエナーレは、長者町の売り上げ向上に繋がったと思われますか。

- ① 大変繋がる ② 繋がる ③ どちらともいえない ④ 繋がらない

(9) トリエナーレの総合評価

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 悪い

問4. あいちトリエンナーレ2010は成功だったと思えますか。

- ① 大成功 ② 成功 ③ どちらともいえない ④ 失敗

・どのような点で、「失敗」だと思われましたか？←

問5. 長者町の作品のなかで、特にすばらしかったと思う作品があれば、教えてください。

問6. あいちトリエンナーレの良かった点を教えてください。

問7. あいちトリエンナーレについて、次回に向けて改善すべきだと思った点を教えてください。

問8. 次回開催に向け、「長者町がご自身で改善すべき」だと思った点を教えてください。

ありがとうございました。

あいちトリエンナーレに関するアンケート調査（祝祭ウィーク関係者の皆様へ）

あいちトリエンナーレ2010の開催に当たりましては多大なご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回への取組に向けた参考とするため、参加団体に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートに御協力を頂きますよう、よろしくお願い致します。

なお、用紙は記入後、 月 日（ ）までに、FAX（ _____ ）
でお送りいただくか、又は同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

平成22年12月

愛知県県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

● 団体名称を御記入ください。→ _____

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問1：あいちトリエンナーレ2010「祝祭ウィーク」での公演を踏まえ、評価をお聞かせください。

(1) 選定以後本番までの準備はしやすかったですか？

- ①大変しやすかった ②しやすかった ③どちらともいえない ④しにくかった

(2) 実行委員会のサポート体制はどうでしたか？

- ①大変満足 ②満足 ③どちらともいえない ④不満

(3) 来場者の反応は良かったと思いますか？

- ①大変良かった ②よかった ③どちらともいえない ④悪かった

(4) もぎり、案内等当日の会場スタッフの運営状態は良かったですか？

- ①大変良かった ②よかった ③どちらともいえない ④悪かった

(6) 全体的な満足度をお聞かせください

- ①大変満足 ②満足 ③どちらともいえない ④不満

(7) 「祝祭ウィーク」全体又は個々の公演について、良かった点を教えてください。

(8) 次回トリエンナーレ（2013年）に向け、改善すべき点がありましたら教えてください。

問2：2013年の次回トリエンナーレにおいて公募・選考による共催事業があれば、参加しようと思いませんか？

①次回も参加したい ②わからない ③参加しない

・「参加しない」理由を教えてください。 ←

問3：あいちトリエンナーレ2010について、その他ご意見がありましたら、ご記入ください。

ありがとうございました。

あいちトリエンナーレに関するアンケート調査（ボランティアの皆様へ）

あいちトリエンナーレ2010の運営に当たりましては、多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回への取組に向けた参考とするため、ボランティアの皆様に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートにご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、用紙は記入後、 月 日（ ）までに、ご記入いただいたうえ

- ・メールでお送りしている場合はご返信いただくか（ @ ）
- ・FAX（ - - ）にてお送りいただくか、
- ・同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

平成22年12月

愛知県県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

- ID及びお名前を御記入ください。→ ID : お名前 :

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問1. 「あいちトリエンナーレ 2010」のボランティアに参加する前にボランティア活動に参加した経験がありますか。

- ① ある ② ない(この活動が初めて)→【問3へ】

(問1で①を選んだ方にお聞きします。)

問2. これまで、どのような活動に参加されましたか。(複数回答可)

- ① あいちトリエンナーレプレイベント展(2009年)
② 愛・地球博ボランティア(2005年)
③ 美術館でのボランティア ⇒美術館名:()
④ 博物館・文化施設でのボランティア ⇒施設名:()
⑤ イベントボランティア ⇒イベント名:()
⑥ その他 ()

(以降問6まで、すべての方にお聞きします。)

問3. 今回、「あいちトリエンナーレ 2010」のボランティア募集について、何でお知りになりましたか。

- ① 公共施設でボランティア募集チラシをもらった ⇒公共施設名:()
② 学校でボランティア募集チラシをもらった ⇒学校名:()
③ その他でボランティア募集チラシをもらった ⇒場所:()
④ 「あいちトリエンナーレ 2010」公式ホームページ
⑤ 知人に誘われて
⑥ その他 ()

問4. 今回、「あいちトリエンナーレ 2010」のボランティアに参加した理由をお聞かせください。(複数回答可)

- ① あいちトリエンナーレに興味があったから
- ② 現代芸術に興味があったから
- ③ 作家・アーティストに近づけるから
- ④ この地域の一大イベントだから
- ⑤ ボランティア活動に興味があるから
- ⑥ 社会や人のためになりたいから
- ⑦ 自分の能力や経験をいかしたいから
- ⑧ 人との交流が好きだから
- ⑨ 余暇を有効に活用したいから
- ⑩ その他 ()

問5. 今回、「あいちトリエンナーレ 2010」ではどのような活動に参加されましたか。(複数回答可)

またその中で、主として活動したものを1つお聞かせください。

- ① ボランティアリーダー
- ② 会場運営
- ③ アーティストサポート
- ④ ガイドツアー
- ⑤ 事務局サポート

○主として参加したものの1～5のうち1つ ()

問6. 今回、「あいちトリエンナーレ 2010」のボランティアに参加されてどうでしたか。

- ① とても良かった
- ② 良かった
- ③ 普通
- ④ 良くなかった

(問6で①②を選んだ方にお聞きします。)

問7. どのような面でよかったと思いますか。(複数回答可)

- ① 現代芸術の知識を身につけることができたから
- ② 活動中または活動の前後に出展作品を見ることができたから
- ③ 作家・アーティストに近づくことができたから
- ④ 自分の能力・経験を生かすことができたから
- ⑤ 来場者と交流することができたから
- ⑥ ボランティア同士の交流ができたから
- ⑦ 余暇を有効に活用できたから
- ⑧ 待遇(控室や特典など)が良かったから
- ⑨ スタッフの対応が良かったから
- ⑩ その他 ()

(問6で④を選んだ方にお聞きします。)

問8. どのような面で良くなかったと思いますか。(複数回答可)

- ① 現代芸術の知識を身につけることができなかったから
- ② 活動中または活動の前後に出展作品を見ることができなかったから
- ③ 作家・アーティストに近づくことができなかったから
- ④ 自分の能力・経験を生かすことができなかったから
- ⑤ 来場者と交流することができなかったから
- ⑥ ボランティア同士の交流ができなかったから
- ⑦ 余暇を有効に活用できなかったから
- ⑧ 待遇(控室や特典など)が良くなかったから
- ⑨ スタッフの対応が良くなかったから

(以降すべての方にお聞きします。)

問9. 登録の手続きやシフトなどの事務手続きについてお聞きします。

(1)登録の手続きについて

- ① とてもわかりやすい ② わかりやすい ③ 普通 ④ わかりにくい

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(2)活動シフトの割り付けについてはいかがでしたか。

- ① とても満足 ② 満足 ③ 普通 ④ 不満

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(3)ボランティア事務局の対応について(メール・電話等)

- ① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

問10. 研修の内容はいかがでしたか。

- ① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

問11. 活動や待遇についてお伺いします。

(1)会場スタッフからの指示や情報提供についてはいかがでしたか。

- ① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(2)ボランティアマニュアル(赤色の冊子)についてはいかがでしたか。

- ① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(3)あいちトリエンナーレ公式ホームページ内の「あいちトリエンナーレ 2010 ボランティア」のコーナーはいかがでしたか。

- ① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(4) 会場運営の活動時間について

最適と思われる活動時間をお聞かせください。半日活動の場合と1日活動の場合とで、それぞれ数字でご記入ください。

半日()時間 1日()時間 その他()

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(5) 控室などの待遇はいかがでしたか。

① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(6) 特典の「ユリカ・オリジナルグッズ」についてはいかがでしたか。

① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

(7) 会場運営ボランティアをされた方にお伺いします。会場運営用のユニフォームについてはいかがでしたか。

① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ 良くなかった

具体的な理由があればご記入ください

⇒

問12. 次回のあいちトリエンナーレなど、今後このような芸術イベントにボランティアとして参加したいとお考えですか。

① 参加したい ② 参加を検討したい ③ 今の時点ではわからない ④ 参加できない

⑤ 参加したくない

問13. あいちトリエンナーレ 2010 のボランティア活動を終えての感想やご意見・ご提案などがございましたら、ご記入ください。

問14. 今後のあいちトリエンナーレに関する情報提供について

「あいちトリエンナーレ 2010」に関するボランティア活動は 11 月末日をもって終了となりますが、次回のあいちトリエンナーレ開催に向けて、皆様にはあいちトリエンナーレ実行委員会から、トリエンナーレに関する情報等を提供させていただきたいと考えております。お送りしてよい情報を下からお選びください。(複数回答可)

- ① あいちトリエンナーレ全般に関する情報
- ② あいちトリエンナーレのボランティアに関する情報
- ③ 愛知県美術館などでのガイドツアーボランティア活動に関する情報(※検討中)
- ④ 愛知県または名古屋市が主催で行う芸術関係イベントのボランティアに関する情報
- ⑤ 情報は全ていない

問15. あなた自身についてお答えください。

(1)年代 19 歳以下 ・ 20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳代 ・ 70 歳以上

(2)職業 会社員 ・ 公務員 ・ 団体職員 ・ 自営業 ・ 大学・専門学校生

高校生 ・ 主婦 ・ 無職 ・ その他 ()

あいちトリエンナーレに関するアンケート調査（パートナーシップ事業の皆様へ）

あいちトリエンナーレ2010もの開催に当たりましては多大なご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回への取組に向けた参考とするため、参加団体に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートにご協力を頂きますよう、よろしくお願い致します。

なお、用紙は記入後、 月 日（ ）までに、FAX（ _____ - _____ - _____ ）
でお送りいただくか、又は同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

平成22年11月

愛知県県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

● 事業者名・団体名をご記入ください。→ _____

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問3. パートナーシップ事業に参加された理由をお聞かせください。（複数回答可）

- ① トリエンナーレの広報に協力するため
- ② 相互PR効果で入場者数又は入場料収入を増やすため
- ③ 勧誘されたから
- ④ その他（ _____ ）

問2. パートナーシップ事業によって、どのような効果があったと感じられていますか。（複数回答可）

- ① 自らの事業の知名度があがった
- ② ブランド力が高まった
- ③ 入場者数の増加につながった
- ④ 入場料収入の増加につながった
- ⑤ 特になかった
- ⑥ その他（ _____ ）

問3. パートナーシップ事業に対する満足度をお聞かせください。

- ① 大変満足
- ② 満足
- ③ どちらともいえない
- ④ 不満

・どのような点で、「不満」でしたか？←

問4. 次回2013年のあいちトリエンナーレに今回と同様のパートナーシップ事業があれば、参加しようと思いますか？

- ① 是非参加したい ② 可能であれば参加したい
③ どちらともいえない ④ 参加しない



・「参加しない」理由を教えてください。

問5. あいちトリエンナーレ2010について、その他ご意見がありましたら、お聞かせください。

ありがとうございました。

あいちトリエンナーレに関するアンケート調査（教育機関の皆様へ）

あいちトリエンナーレ2010の開催に当たりましては多大なご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回への取組に向けた参考とするため、教育機関の皆様に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートにご協力を頂きますよう、よろしく申し上げます。

なお、用紙は記入後、 月 日（ ）までに、FAX（ - - ）
でお送りいただくか、又は同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

平成22年11月

愛知県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

● 教育機関名を御記入ください。→

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問4. あいちトリエンナーレ2010にお越しいただけましたか。

- ① 行った→【問2へ】
- ② 行っていない→【問6へ】

（問1で①を選んだ方にお聞きします。）

問2. 本トリエンナーレについて、ご意見をお聞かせください。

（1）総合評価

- ①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

（2）現代芸術の先端的な動向を紹介する国際芸術祭としての評価

- ①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

（3）祝祭的なイベントとしての評価

- ①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

（4）パフォーミング・アーツを積極的に取り込む複合性についての評価

- ①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

（5）芸術の普及啓発に貢献したと思いますか。

- ①大きく貢献 ②貢献 ③どちらともいえない ④貢献していない

（6）わが国の芸術水準の向上に貢献したと思いますか。

- ①大きく貢献 ②貢献 ③どちらともいえない ④貢献していない

（7）横浜・瀬戸内など他の芸術祭と比較した時の当芸術祭のレベルはどうでしたか。

- ①大変高い ②高い ③同じくらい ④低い ⑤わからない

（8）学生やアーティストへの刺激や、創作活動の活発化等に貢献していると思いますか。

- ①大きく貢献 ②貢献 ③どちらともいえない ④貢献していない

(9) (1) ~ (8) のご回答について、その理由等をお聞かせください。

問4. 特によかったと思う展示・公演があれば教えてください。

問5. 今後に向けて、このまま継続、あるいは改善していくべきと思われる点があれば、お聞かせください。

(問1で②を選んだ方にお聞きします。)

問6. 差し支えなければ、お越しいただけなかった理由や、どのような条件が整備されていればお越し
いただけたかをお聞かせください。

(すべての方にお聞きします。)

問7. その他、トリエンナーレに関してご意見がありましたら、どんなことでもけっこうですので、お
聞かせください。

ありがとうございました。

あいちトリエンナーレに関するアンケート調査(中部芸術文化記者クラブの皆様へ)

あいちトリエンナーレ2010の開催に当たりましては、多数の取材をしていただくとともに各種媒体で広く御紹介をいただき、厚く御礼申し上げます。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回の実施に向けた参考とするため、中部芸術文化記者クラブの皆様に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートにご協力を頂きたく、よろしくお願い致します。

なお、用紙は記入後、 月 日 () までに、FAX (- -)
でお送りいただくか、又は同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

平成22年11月

愛知県県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

● 社名及びお名前を御記入ください。→

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問1. 本トリエンナーレについて、ご意見をお聞かせください。

(1) 総合評価

①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

(2) 現代芸術の先端的な動向を紹介する国際芸術祭としての評価

①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

(3) 祝祭的なイベントとしての評価

①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

(4) パフォーミング・アーツを積極的に取り込む複合性についての評価

①大変良い ②良い ③どちらともいえない ④良くない

(5) 芸術の普及啓発に貢献したと思いますか。

①大きく貢献した ②貢献した ③どちらともいえない ④貢献していない

(6) わが国の芸術水準の向上に貢献したと思いますか。

①大きく貢献した ②貢献した ③どちらともいえない ④貢献していない

(7) 地域の芸術水準の向上に貢献したと思いますか。

①大きく貢献した ②貢献した ③どちらともいえない ④貢献していない

(8) 横浜・瀬戸内など他の芸術祭と比較した時の当芸術祭のレベルはどうでしたか。

- ①大変高い ②高い ③同じくらい ④低い ⑤いちがいにいえない

(9) (1)～(8)のご回答について、その理由等をお聞かせください。

(10) 特によかったと思う展示・公演があれば教えてください。

(11) 今後に向けて、このまま継続、あるいは改善していくべきと思われる点があれば、お聞かせください。

問2. あいちトリエンナーレ事務局のプレス対応についてどう思われましたか？

- ① 大変良い ② 良い ③ どちらともいえない ④ 良くない

・どのような点で良い、あるいは良くないと思われましたか。

問3. その他、トリエンナーレに関してご意見がありましたら、どんなことでもけっこうですので、お聞かせください。

ありがとうございました。

あいちトリエンナーレに関するアンケート調査（学校関係者の皆様へ）

あいちトリエンナーレ2010の開催に当たりましては多大なご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

愛知県では、あいちトリエンナーレ2010の成果を検証し、次回の実施に向けた参考とするため、県内学校に向けてアンケート調査を実施いたします。

御多忙のなか大変恐縮ですが、アンケートに御協力を頂きますよう、よろしくお願い致します。

なお、用紙は御記入後、 月 日（ ）までに、FAX、又はメールでご返送ください。（各学校について1通御回答をいただければ結構です。）

ご返送先 FAX — —
メール @

平成22年12月

愛知県県民生活部 文化芸術課 国際芸術祭推進室

ご質問等は下記までお問合せください。

〔アンケート調査票について〕

あいちトリエンナーレ2010 アンケート事務局
(.)

電 話: - - (受付時間 10:00~18:00)

〔調査全般について〕

愛知県県民生活部文化芸術課 国際芸術祭推進室
(岡田・陣内)

電 話: - - (ダイヤルイン)

- 市町村名及び学校名を御記入ください。→ 市町村: _____
学校名: _____

※ 御回答は統計的に処理し、個々の回答は公表いたしません。

問5. あいちトリエンナーレ2010の情報を何で得ておられましたか？（複数回答可）

- ①パンフレット ②新聞 ③雑誌 ④テレビ・ラジオ ⑤インターネット
⑥その他 ()

問6. 当方からお配りしました、あいちトリエンナーレ2010のパンフレットは、どのような方法で配られましたか？（複数回答可）

- ① 児童・生徒に教室で配り、持ち帰ってもらった
② P T A, 保護者会等の保護者が集まる場所で配った
③ その他 ()

当方から計3回トリエンナーレのパンフレットをお送りしたことについてお聞かせください。

(1) 回数や頻度については、どのように思われますか？

- ① より増やした方がよい ② 同じ程度は必要 ③ より減らしてもよい ④ 不要

・具体的な理由があればご記入ください。

(2) お送りした時期についてご意見をお聞かせください。

- ① 開催年度の前年度から必要 ② 今回と同じ時期位から必要 ③ 会期直前でよい

・具体的な理由があればご記入ください。

問7. 貴校は、あいちトリエンナーレ2010に学校として御参加いただけましたか？（複数回答可）

- ① 学校向け教育プログラムとして会場を見学（美術部の活動として参加した場合なども含む。）

→【問5にお答えください】

- ② トリエンナーレの現代アーティスト等に学校に来てもらった（現代アーティスト派遣）

→【問6にお答えください】

- ③ トリエンナーレには参加しなかった→【問7へ】

（問4で①を選んだ方にお聞きします。）

問5. トリエンナーレに参加されてのご意見をお聞かせください。

(1) 総合評価をお聞かせください。

- ① 大変良かった ② 良かった ③ 良くなかった

④ その他 ()

(2) スタッフの説明

- ① 大変良かった ② 良かった ③ 良くなかった

④ その他 ()

(3) 児童・生徒の芸術・情操教育面への効果

- ① 大変有効 ② やや有効 ③ 有効でない

④ その他 ()

(4) (3) で①・②を選んだ方にお聞きします。児童・生徒への教育上、どんな効果があったと思いますか？(複数回答可)

- ①美しさ等への感性が育まれる
- ②他者の気持ちを理解したり、想像したりするようになる
- ③ものづくりの喜びを味わうきっかけとなる
- ④他国の人々や文化への関心が高まる
- ⑤いちがいに言えない
- ⑥その他 ()

(5) 2013年の次回トリエンナーレで、学校向け教育プログラムがあれば、参加したいと思いますか？

- ①是非参加する
- ②多分参加する
- ③わからない
- ④参加しない

・次回、参加されない理由を具体的に教えてください。

(6) 参加されてのご感想やお気づきの点がありましたらお聞かせください。

(問4で②を選んだ方にお聞きします。)

問6. 現代アーティストの派遣を受けてのご意見をお聞かせください。

(1) 総合評価をお聞かせください。

- ①大変よかった
- ②良かった
- ③良くなかった
- ④その他 ()

(2) アーティストの児童・生徒への指導

- ①大変良かった
- ②良かった
- ③良くなかった
- ④その他 ()

(3) スタッフの児童・生徒への対応

- ①大変良かった
- ②良かった
- ③良くなかった
- ④その他 ()

(4) 児童・生徒の芸術・情操教育面への効果

①大変有効 ②やや有効 ③有効でない

④その他 ()

(5) (4) で①・②を選んだ方にお聞きします。児童・生徒への教育上、どんな効果があったと思いますか？(複数回答可)

①美しさ等への感性が育まれる

②他者の気持ちを理解したり、想像したりするようになる

③ものづくりの喜びを味わうきっかけとなる

④他国の人々や文化への関心が高まる

⑤デザインや創造的な工作の能力が伸びる

⑥いちがいに言えない

⑦その他 ()

(6) 2013年の次回トリエンナーレで、アーティストの派遣があれば、受けたと思いますか？

①是非受けたい ②多分受けたい ③わからない ④受けたくない

・次回、受けたくない理由を具体的に教えてください。

(7) 派遣を受けてのご感想やお気づきの点がありましたらお聞かせください。

(問4で③を選んだ方にお聞きします。)

問7. 差し支えなければ、貴校が参加されなかった理由や、どのような条件が整備されていれば参加していただけたかを教えてください。

(以下、すべての方にお聞きします。)

問8. 貴校では、正規の授業に加えて、今まで児童・生徒にどのような文化芸術体験を行ってきましたか？

(複数回答可)

- ①校内における公演等の鑑賞体験
- ②校内における演劇等の創作体験
- ③校内における絵画等作品の創作体験
- ④音楽・舞蹈・茶道・華道・書道等の習い事
- ⑤ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における鑑賞や学習
- ⑥地域の芸能や祭りへの参加
- ⑦歴史的な建物や遺跡等の見学
- ⑧特に行っていない
- ⑨その他 ()

問9. その他、本トリエンナーレに関して、お気づきの点がありましたら、どんなことでも結構ですので御記入ください。

ご協力ありがとうございました。